

予期せぬ妊娠等による支援が必要な妊産婦の効果的な
支援プロセス等に関する調査研究報告書

有限責任監査法人トーマツ

令和7年3月

目次

第1章 本調査研究の概要.....	1
1. 調査研究の背景・目的.....	1
(1)背景.....	1
(2)目的.....	1
(3)用語の定義.....	2
2. 調査研究の全体像.....	2
(1)検討委員会.....	3
(2)調査研究スケジュール.....	3
第2章 調査分析.....	4
1. アンケート調査の概要.....	4
(1)調査対象(支援機関・支援対象者).....	4
(2)調査手法.....	5
(3)調査実施時期.....	5
(4)調査項目.....	5
(5)調査回答数(支援機関・支援対象者).....	5
(6)集計・統計分析における4つのグループ.....	6
(7)除外基準.....	7
(8)集計・分析手法.....	8
2. ヒアリング調査の概要.....	11
(1)調査目的.....	11
(2)調査手法.....	11
(3)調査実施時期.....	11
(4)調査対象.....	11
3. 単純集計・クロス集計結果.....	12
(1) 基礎調査(支援機関の情報)単純集計結果.....	12
(2)本調査(支援対象者の情報)クロス集計結果.....	15
4. 調査結果に基づく分析.....	67
(1)目的:妊娠に葛藤を抱える妊産婦の背景や特性.....	67
(2)サブ目的1:支援につながっていない人の傾向の把握.....	90
(3)サブ目的2:支援機関の連携の在り方の把握.....	95
(4)サブ目的3:特定妊婦以外の特性・背景の把握.....	101
(5)サブ目的4:本調査研究の目的・サブ目的1～3の結果を踏まえた詳細検討.....	102
第3章 考察.....	108
参考資料.....	113

第1章 本調査研究の概要

1. 調査研究の背景・目的

(1) 背景

いわゆる、予期せぬ妊娠等により、悩み葛藤を抱える妊産婦については、妊娠に至った背景として、①自身が育った家庭環境（被虐待経験や実親の不存在等）、②パートナーからの暴力、③貧困、④周囲からの孤立、⑤本人の特性（障害、境界域含む）等の要因が複雑に絡み合っている場合が多く、妊娠後に、必要な支援者から適切に支援を受けにくい状況にある可能性が高いと考えられる。

(2) 目的

妊産婦への支援を行う関係機関（市区町村、児童相談所、女性自立支援施設、母子生活支援施設、妊産婦等生活援助事業実施事業者、養子縁組民間あっせん機関、にんしんSOS相談窓口。以下「支援機関」という。）の支援の実態を探ることで、主目的を「妊娠に葛藤を抱える妊産婦の背景や特性を捉えて、妊産婦それぞれに応じた効果的な支援の方法について示唆を得ること」とし、サブ目的を4つ設定した。

サブ目的1	支援につながっていない人の傾向の把握
- 支援につながっていない人は、孤立出産に至るリスクが高いと思われるため、そのような状態に至る背景を明らかにする。 - 支援につながっていない人と支援につながった人との間には、①対象者の背景・属性（年齢や家庭環境等）及び②支援内容に差異があると考えられ、両者間の違いをもたらす理由を明らかにする。	
サブ目的2	支援機関の連携の在り方の把握
- 支援対象者への支援の全体像を把握しながら、より効果的な支援を検討するために、支援機関の間での連携について、どこから連携がきて、またどこに連携をつないでいくのかを見える化する。 - 民間支援機関から行政の支援へつながる場合と、行政の支援へつながらない場合があり、それぞれの場合について、特性を明らかにする。	
サブ目的3	特定妊婦以外の特性・背景の把握
特定妊婦以外で出産する人（行政の支援につながらずに出産する人）もいる。その理由を明らかにする。	
サブ目的4	本調査研究の目的・サブ目的1～3の結果を踏まえた詳細検討
目的・サブ目的1～3の結果をもとに、支援対象者への理解を深めるために、分析の観点として挙げた項目を対象に、項目間での傾向を明らかにする。	

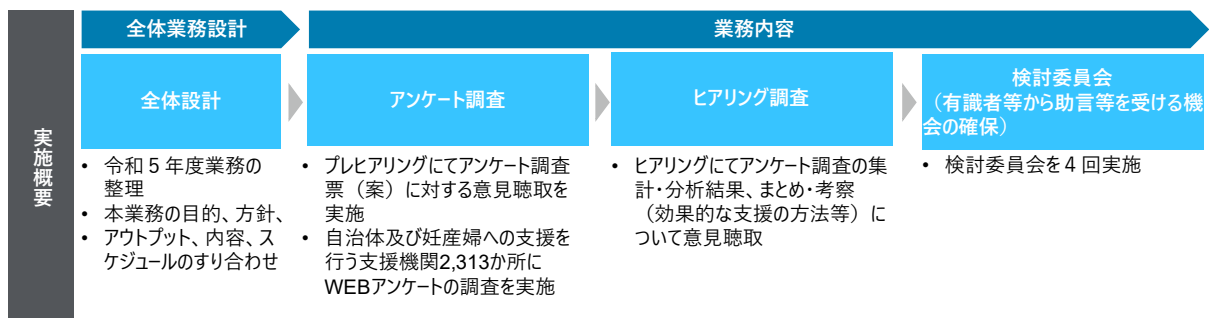
(3) 用語の定義

本調査研究においては、以下のとおり用語の意味・範囲・表現の整理をしている。

用語	説明
予期せぬ妊娠等により支援が必要な妊産婦	特定妊婦及び特定妊婦以外の人であっても支援が必要にも関わらず、妊娠したことを誰にも相談等できない状態である妊婦、又は、妊娠中に支援が必要であるにも関わらず、必要な支援が受けられず出産をした産婦（以下「支援対象者」という。）
特定妊婦	妊娠中に市区町村がアセスメントを行い、特定妊婦と判断された人
孤立出産	予期せぬ妊娠等のうち、医療による援助がない出産
妊娠期間中に支援機関が把握できなかった産婦	予期せぬ妊娠等のうち、支援機関のどこにもつながらないまま出産した人。分析に当たっては、出産したこどもを支援対象者若しくは家族が養育している人、出産したこどもが施設入所等に至った人に分けて検討を行った
その他民間支援機関等	民間支援機関等につながった妊産婦のうち、支援開始当時、民間支援機関等として特定妊婦と把握していなかった人

2. 調査研究の全体像

本調査研究では、令和5年度の調査研究「予期せぬ妊娠等による支援が必要な妊産婦の効果的な支援プロセス等に関する調査研究業務」で検討された内容を引き継ぎ、目的、方針、アウトプット、内容及びスケジュールについて改めて全体設計のフェーズで整理を行った。内容としては、アンケート調査を中心に据え、アンケート調査票作成に向けて有識者や支援機関にプレヒアリングを実施し、また、アンケート調査の集計・統計分析結果（定量分析）に対して支援機関からヒアリング調査にて意見聴取を行った。



(1) 検討委員会

本調査研究を進めるに当たり、有識者から助言を受ける機会として検討委員会を全4回開催した。

【検討委員会委員】 座長◎

	氏名（敬称略）	ご所属等
◎	姜 恩和	目白大学 人間学部人間福祉学科 教授
	佐藤 拓代	一般社団法人全国妊娠SOSネットワーク 代表理事
	笠原 麻里	医療法人財団青溪会 駒木野病院 副院長
	稲田 直彦	兵庫県姫路こども家庭センター（児童相談所） 所長
	伊藤 美樹子	滋賀医科大学医学部看護学科公衆衛生看護学講座 教授
	山田 勝美	山梨県立大学 人間福祉学部福祉コミュニティ学科 教授
	堀米 史一	目白大学 人間学部人間福祉学科 准教授
	小林 千夏	社会福祉法人敬老園 うえだみなみ乳児院 常盤城事務所 統括主任

※順不同

【検討委員会】

回	時期	議題
第1回	令和6年11月1日（金）	・調査研究事業の調査目的・実施内容報告 ・アンケート調査の方法・項目の検討
第2回 （書面開催）	令和6年12月3日（火）	・アンケート調査票（案）の構成について ・調査研究説明資料及びアンケート調査票の検討
第3回	令和7年2月27日（木）	・アンケート調査について ・ヒアリング調査について
第4回	令和7年3月10日（月）	・アンケート調査集計・統計分析結果について

(2) 調査研究スケジュール

スケジュールは以下のとおり進めた。



第2章 調査分析

1. アンケート調査の概要

(1) 調査対象（支援機関・支援対象者）

本調査研究は、妊産婦への支援を行う関係機関（市区町村（要保護児童対策地域協議会（以下「要対協」という。）調整機関）、児童相談所、女性自立支援施設、母子生活支援施設、妊産婦等生活援助事業実施事業者、養子縁組民間あっせん機関、にんしんＳＯＳ相談窓口）全2,313支援機関を対象に、当該支援機関が支援を行った事例の背景や特性に係るアンケート調査を実施した。

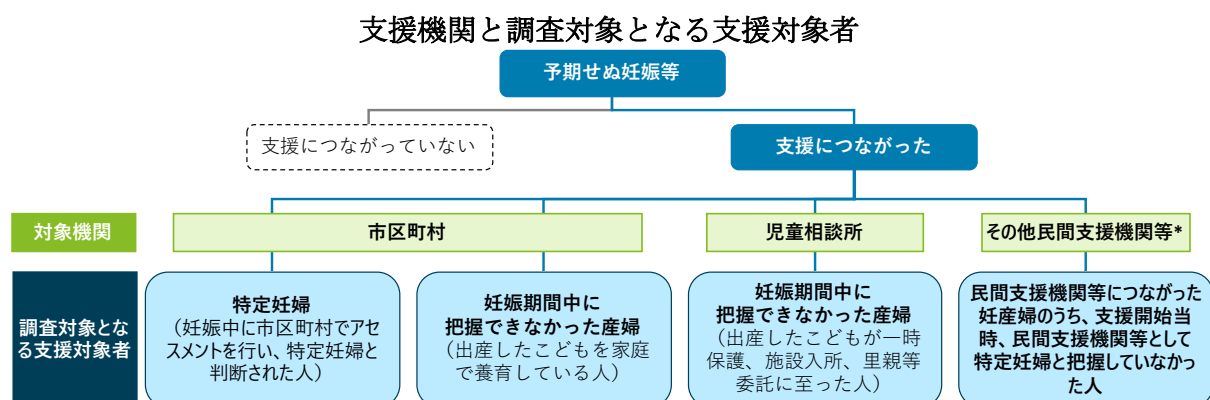
支援機関名称		配布数
市区町村		1,741
児童相談所		234
その他民間支援機関等		
	女性自立支援施設	47
	母子生活支援施設	213
	妊産婦等生活援助事業実施事業者	23
	養子縁組民間あっせん機関	22
	にんしんＳＯＳ相談窓口	33
その他民間支援機関等 計		338
総 計		2,313

支援機関には、支援を行った支援対象者を定めて調査を実施した。

市区町村には、特定妊婦又は妊娠期間中に把握できなかった産婦のうち、出産したこともを家庭で養育している人に該当する支援対象者の回答を依頼した。

児童相談所には、妊娠期間中に把握できなかった産婦のうち、出産したこともが一時保護、施設入所、里親等委託に至った人に該当する支援対象者の回答を依頼した。

その他民間支援機関等には、民間支援機関等につながった妊産婦のうち、支援開始当時、民間支援機関等として特定妊婦と把握していなかった人に該当する支援対象者の回答を依頼した。



* その他民間支援機関等（一部公立を含む）：女性自立支援施設、母子生活支援施設、妊産婦等生活援助事業実施事業者、養子縁組民間あっせん機関、にんしんＳＯＳ相談窓口

(2) 調査手法

支援機関に依頼若しくは支援機関の代表団体に調査協力の依頼を行い、各支援機関からの回答は、本調査研究専用のWEBアンケートフォームにて行った。

なお、WEBアンケートフォームにアクセスが困難な支援機関には、事務局よりアンケート回答ファイルをメールにて配布し、回答を得た。

(3) 調査実施時期

令和7年1月20日（月）～2月12日（水）

(4) 調査項目

調査項目は、支援機関の基本情報を回答する基礎調査（11問）と支援対象者の情報を回答する本調査（55問）に分かれている。本調査における回答事例数の上限は10とした。

設問数	調査項目
11 問	【基礎調査】支援機関の基本情報を回答 ■ 主な項目 施設分類、運営主体、施設名称、支援機関における支援対象者数（市区町村は特定妊婦の人数）等
55 問	【本調査】各支援対象者の情報を回答 ■ 主な項目 妊婦自身の特性 設問 1～21 家庭環境・成育歴等 設問 22～40 周囲とのつながりの状況 設問 41～46 支援者や支援機関とのつながり・経過等 設問 47～55

(5) 調査回答数（支援機関・支援対象者）

配布数、基礎調査及び本調査の回答機関数並びに配布数に対する本調査回答機関の割合は下記のとおり。

なお、基礎調査回答機関数と本調査回答機関数の差分は、回答対象となる支援対象者がいなかった、基礎調査のみ回答し諸事情により本調査に回答しなかった、若しくは回答期間中に本調査を最後の設問まで回答できなかった（しなかった）といったケースが考えられる。

支援機関種別	配布数	基礎調査 回答機関 数	本調査 回答機関 数	配布数に対する本調査回答 機関の割合
市区町村	1,741	668	556	31.9%
児童相談所	234	111	63	26.9%
その他民間支援機関等				
女性自立支援施設	47	11	2	4.3%
母子生活支援施設	213	88	13	6.1%
妊産婦等生活援助事業実施事業者	23	17	10	43.5%
養子縁組民間あっせん機関	22	16	10	45.5%
にんしんSOS相談窓口	33	22	12	36.4%
その他民間支援機関等 計	338	154	47	13.9%
総 計	2,313	933	666	28.8%

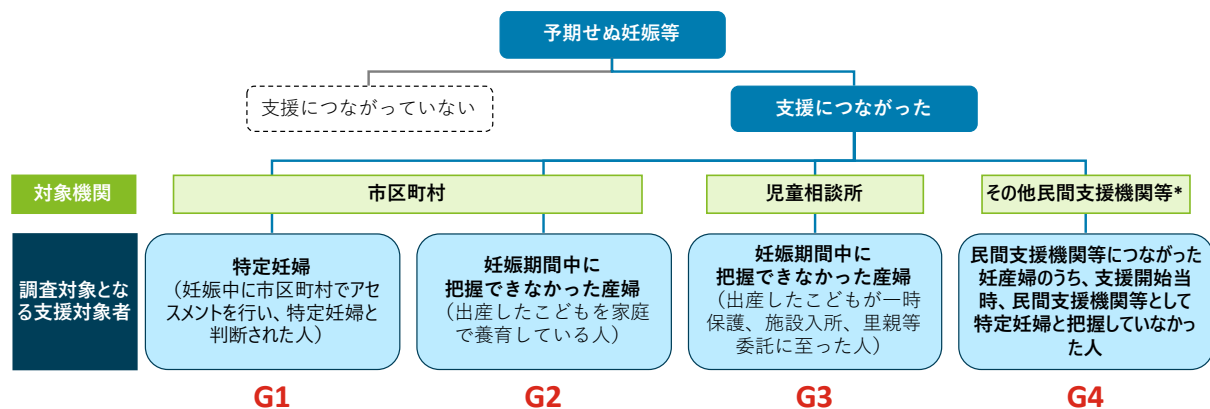
次に、上述した本調査回答機関が回答した支援対象者の事例数を示す。後述の除外基準に基づき除外後の数を有効回答数に示した。本調査研究の集計・分析は、有効回答数に基づき実施した。

支援機関種別	回答件数	除外数	有効回答数
市区町村	1, 224	38	1, 186
児童相談所	141	16	125
その他民間支援機関等			
女性自立支援施設	10	7	3
母子生活支援施設	44	26	18
妊産婦等生活援助事業実施事業者	53	8	45
養子縁組あっせん機関	36	3	33
にんしんＳＯＳ相談窓口	50	18	32
その他民間支援機関等 計	193	62	131
総 計	1, 558	116	1, 442

（６）集計・統計分析における４つのグループ

本調査研究では、妊娠に葛藤を抱える妊産婦の背景や特性を捉えて、妊産婦それぞれに応じた効果的な支援の方法について示唆を得ることを目的としている。そのため、支援機関・支援対象者を４つのグループに分類して集計・統計分析を行うことで、妊娠に葛藤を抱える妊産婦の背景や特性を捉えることとした。

グループ	支援機関・支援対象者
グループ１：Ｇ１	市区町村 特定妊婦
グループ２：Ｇ２	市区町村 妊娠期間中に把握できなかった産婦のうち、出産したこどもを家庭で養育している人
グループ３：Ｇ３	児童相談所 妊娠期間中に把握できなかった産婦のうち、出産したこどもが一時保護、施設入所、里親等委託に至った人
グループ４：Ｇ４	その他民間支援機関等 民間支援機関等につながった妊産婦のうち、支援開始当時、民間支援機関等として特定妊婦と把握していなかった人



(7) 除外基準

本調査研究では、上述のとおり支援機関・支援対象者を4つのグループに分類して集計・統計分析を行うことで、妊娠に葛藤を抱える妊産婦の背景や特性を捉えることとしている。そのため、各グループの分類において回答の整合性が取れなかった回答について、下記の除外基準を設けて回答数から除外した。

結果として回答数 1,558 件のうち、除外基準の 116 件を除外し、1,442 件を有効回答とした。

回答数からの除外基準

グループ	除外内容
G 1 市区町村 特定妊婦（妊娠中に市区町村でアセスメントを行い、特定妊婦と判断された人）	設問 1※1 で「1【市区町村】妊娠期間中に把握できなかった産婦（予期せぬ妊娠等のうち、支援機関のどこにもつながらないまま出産）で、出産したこどもを支援対象者もしくは家族が養育している人」以外を選択している場合 設問 4※2 で「3 出産後」を選択している場合
G 2 市区町村 妊娠期間中に把握できなかった産婦のうち、出産したこどもを家庭で養育している人	・設問 1※1 で「2 市区町村】妊娠期間中に把握できなかった産婦（予期せぬ妊娠等のうち、支援機関のどこにもつながらないまま出産）で、出産したこどもを支援対象者もしくは家族が養育している人」以外を選択している場合 ・設問 4※2 で「1 妊娠中（28 週未満）」または「2 妊娠中（詳細不明）」と回答しておりかつ、設問 53 で「5 飛び込み出産だった」以外を選択している場合
G 3 児童相談所 妊娠期間中に把握できなかった産婦のうち、出産したこどもが一時保護、施設入所、里親等委託に至った人	・設問 4※2 で「1 妊娠中（28 週未満）」または「2 妊娠中（詳細不明）」と回答しておりかつ、設問 53 で「5 飛び込み出産だった」以外を選択している場合
G 4 その他民間支援機関等 民間支援機関等につがった妊産婦のうち、支援開始当時、民間支援機関等	設問 1※1 で「4【民間支援機関】支援開始当時、貴機関が特定妊婦と把握していなかった人」または「5 わからない」以

	として特定妊婦と把握していなかった人	外を選択している場合
--	--------------------	------------

※1 「【支援開始時】支援対象者の状態に該当するものを1つお選びください」

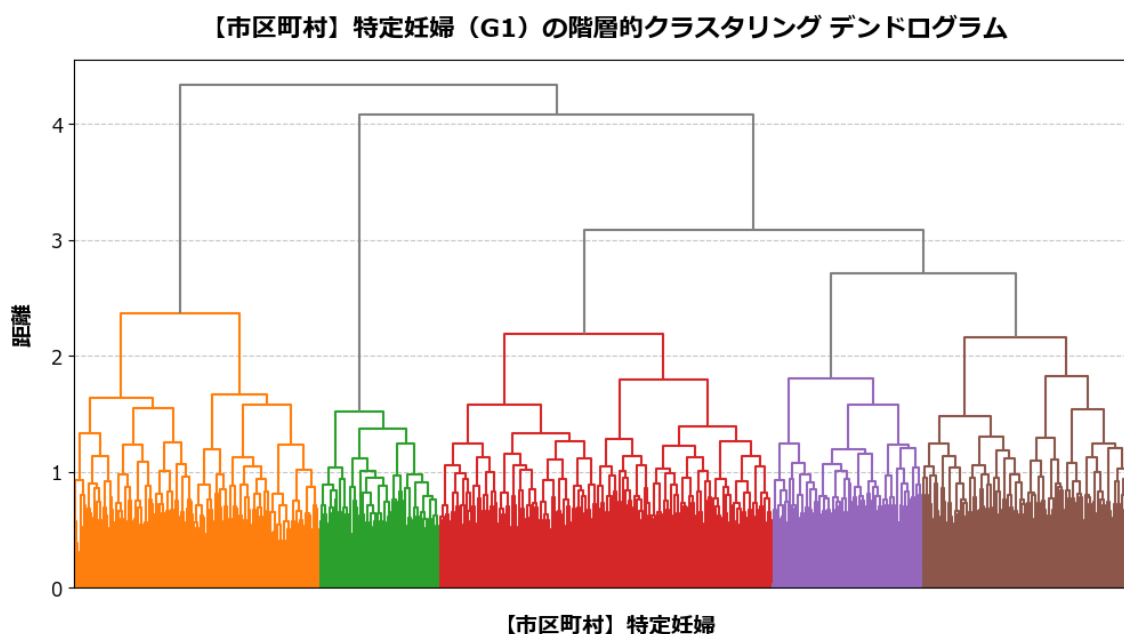
※2 「【支援開始時】支援対象者の妊娠状況を教えてください ※病院の診断がない場合、本人申告でも問題ありません」

(8) 集計・分析手法

単純集計及びクロス集計とともに、以下に説明する統計分析手法を用いて集計・分析を実施した。

(ア) 階層的クラスタリング分析

階層的クラスタリングは、データの類似度に基づいて階層構造を持つクラスタを形成するクラスタリング手法の一種である。各データを個別のクラスタとしてスタートし、類似度の高いもの同士を順次統合（又は分割）することで、ツリー状の「デンドログラム」を生成する。下記の図は、実際にG1の市区町村における特定妊婦のデータに対して階層的クラスタリングを適用したデンドログラムであり、似た特徴を持つ市区町村の特定妊婦が統合されていく様子を示している。このデンドログラムを分析することで、似た傾向を持つクラスタを把握し、共通の支援策が適用できるグループを特定することが可能となる。統合されていくグループ間の距離は、それぞれの市区町村の特定妊婦の特徴がどの程度類似しているかを示している。分岐が低いほどデータの類似度が高く、同じグループに属する市区町村間の特定妊婦の状況が似ていることを意味する。一方で、分岐が高いほどデータの違いが大きく、異なる特性を持つグループが形成されていることを示唆している。



(イ) カイ二乗検定

カイ二乗検定は、カテゴリカルデータの間に関連性があるかどうかを検定する手法の一種である。この検定は、観測データと期待値の間の差異を評価し、その差異が偶然によるものか、統計的に有意な関係があるかを判断するために使用される。アンケート結果の中には反応割合が0若しくは少数となるケースも存在し、通常そのようなケースにおいての2×2分割表のカイ二乗検定では、期待数が5未満のマスの存在する

場合、コ克蘭・ルールを適用し、フィッシャーの正確確率検定を採用することが多い。しかし、本報告書では、朝倉・濱崎（2015）の検証結果も踏まえて、①各グループのサンプル数が 90 以上であり、カイ二乗を採用するに十分とはいえないものの、一定の検出精度を期待できるだけのサンプル数であること、②本調査の趣旨を踏まえて、フィッシャーの正確確率検定により保守的に差異を検出するよりも、検出性能に優れるカイ二乗検定を採用して、幅広く差異を検証できる方が望ましいこと、③反応割合が 0 や 1 といった極端な値をとる場合に、カイ二乗検定を適用しても検定結果に一定の信頼性が担保できること、の 3 つの理由により、コ克蘭・ルールを適用せず、全てカイ二乗検定を用いてグループ間の差異の検証を行っている。

（ウ）決定木分析

決定木分析は、データを条件に基づいて分岐させながら分類や回帰を行う手法である。この手法では、特徴量の値に応じてデータを順次分割し、ツリー構造を形成していく。具体的には、情報利得やジニ不純度といった評価指標を用いて、どの特徴量のどの閾値で分割するのが最適かを決定する。木の構造は、ルートノード（根ノード）から始まり、各ノードで条件を満たすデータを左右に振り分けながら作成される。最終的に、分類タスクでは各リーフノードにクラスラベルが割り当てられる。決定木は解釈性が高く、ルールベースの意思決定に適していることから様々なタスクで使用されている。本調査では、目的変数の分類にあたって、どのような説明変数がどのような条件で選択されたかを確認し、各グループを特徴付ける要因について検討する目的で使用している。

(エ) サンキーダイアグラム（データ可視化手法）

サンキーダイアグラムは、複数カテゴリ間のフローやデータ流量、関係性を表すことができるデータ可視化手法である。本報告書では、支援のきっかけから支援機関につながるまでの過程について、支援対象者の数を線の太さで表現している。

本調査研究の目的・サブ目的1～4において用いた集計・分析手法は以下のとおりである。

本調査研究の目的・サブ目的1～4において用いた集計・統計分析手法の一覧

目的	妊娠に葛藤を抱える妊産婦の背景や特性を捉えて、妊産婦それぞれに応じた効果的な支援の方法について示唆を得ること
• 妊娠に葛藤を抱える妊産婦の特性や家庭環境、周囲とのつながりの概観を捉えつつ、グループごとに似た傾向を持つ妊産婦のグループに分類しながら、妊産婦の背景・属性について傾向分析を実施する。	
集計・統計手法：クロス集計、決定木分析、階層的クラスタリング分析	
サブ目的1	支援につながっていない人の傾向の把握
• 支援につながっていない人は、孤立出産に至るリスクが高いと思われるため、そのような状態に至る背景を明らかにする。	
集計・統計手法：決定木分析、カイ二乗検定	
• 支援につながっていない人と支援につながった人との間には、①対象者の背景・属性（年齢や家庭環境等）及び②支援内容に差異があると考えられ、両者間の違いをもたらす理由を明らかにする。	
集計・統計手法：カイ二乗検定	
サブ目的2	支援機関の連携の在り方の把握
• 支援対象者への支援の全体像を把握しながら、より効果的な支援を検討するために、支援機関の間での連携について、どこから連携がきて、またどこに連携をつないでいくのかを見える化する。	
集計・統計手法：サンキーダイアグラム、単純集計	
• 民間支援機関から行政の支援へつながる場合と、行政の支援へつながらない場合があり、それぞれの場合について、特性を明らかにする。	
集計・統計手法：クロス集計	
サブ目的3	特定妊婦以外の特性・背景の把握
• 特定妊婦以外で出産する人（行政の支援につながらずに出産する人）もいる。その理由を明らかにする。	
集計・統計手法：単純集計	
サブ目的4	本調査研究の目的・サブ目的1～3の結果を踏まえた詳細検討
• 目的・サブ目的1～3の結果をもとに、支援対象者への理解を深めるために、分析の観点として挙げた項目を対象に、項目間での傾向を明らかにする。	
集計・統計手法：クロス集計、カイ二乗検定	

2. ヒアリング調査の概要

(1) 調査目的

アンケート集計調査結果について考察を深めるため、定量データから読み取ることができない定性情報を得ることを目的として、集計結果の所感と現場感との違いについて下記3点を中心に支援機関5か所へヒアリング調査を実施した。

①妊産婦の特性、背景・要因

②支援機関へのつながり

③支援機関間との連携

なお、ヒアリング調査の結果については、「4. 調査結果に基づく分析」において、アンケートの分析のみでは読み取れなかった部分を補足する形で記載した。

(2) 調査手法

WEB会議システムによるオンラインヒアリング調査

(3) 調査実施時期

令和7年2月下旬～3月上旬

(4) 調査対象

支援機関種別	支援機関名	所在地
市区町村	横浜市こども青少年局こども福祉保健部 こどもの権利擁護課	神奈川県横浜市
児童相談所	栃木県中央児童相談所	栃木県宇都宮市
母子生活支援施設	社会福祉法人みおつくし福祉会リアン東 さくら	大阪府大阪市
妊産婦等生活援助 事業実施事業者	NPO法人妊娠しえるとSOS	岡山県岡山市
にんしんSOS相談 窓口	認定NPO法人ピッコラーレ	東京都豊島区

3. 単純集計・クロス集計結果

(1) 基礎調査（支援機関の情報）単純集計結果

設問文中のSA：単回答の設問

設問文中のMA：複数回答の設問

※単純集計、クロス集計中の割合は、小数点第1位を四捨五入しているため、全体（合計）が必ずしも100.0%にならない場合があるが、全体の表記は100.0%としている。

※支援機関の名称を尋ねる設問等、記述式の設問は除いて結果を掲載している。

SQ1 【SA】あなたが回答する機関（以下、「貴機関」という）をお選びください。※同一法人で2つ以上の機関がある場合（例、母子生活支援施設と妊産婦等生活援助事業所等）は、このアンケートを機関ごとに回答してください。

	N (配布数)	N (回答数)	% (支援機関 の割合)	% (回収率)
1 市区町村	1,741	668	71.6	38.3
2 児童相談所	234	111	11.9	47.4
3 女性自立支援施設	47	11	1.2	23.4
4 母子生活支援施設	213	88	9.4	40.3
5 妊産婦等生活援助事業実施事業者	23	17	1.8	73.9
6 養子縁組あっせん機関	22	16	1.7	72.7
7 にんしんSOS相談窓口	33	22	2.4	66.6
全体	-	933	100.0	-

回答機関数（括弧内は回収率）は、「市区町村」が668か所（38.3%）、「児童相談所」が111か所（47.4%）、「女性自立支援施設」が11か所（23.4%）、「母子生活支援施設」が88か所（40.3%）、「妊産婦等生活援助事業実施事業者」が17か所（73.9%）、「養子縁組民間あっせん機関」が16か所（72.7%）、「にんしんSOS相談窓口」が22か所（66.6%）であった。

SQ2 【SA・SQ1で「3」、「4」、「6」、「7」を選択した方】貴機関では、妊産婦等生活援助事業を実施していますか。

	N	%
1 実施している	21	15.3
2 実施していない	116	84.7
全体	137	100.0

回答した女性自立支援施設、母子生活支援施設、養子縁組民間あっせん機関、にんしんSOS相談窓口のうち、妊産婦等生活援助事業を「実施している」のは、137か所機関中21か所機関（15.3%）であり、「実施していない」のは116か所機関（84.7%）であった。

SQ3 【SA・SQ1で「3」～「7」を選択した方】貴機関の経営主体の形態について該当するものをお選びください。

		N	%
1	都道府県・市区町村	12	7.8
2	営利法人（株式会社、合同会社等）	0	0.0
3	特定非営利活動法人	16	10.4
4	社会福祉法人（社会福祉協議会）	18	11.7
5	社会福祉法人（社会福祉協議会以外）	86	55.8
6	社団法人・財団法人	7	4.5
7	その他	15	9.7
	全体	154	100.0

回答した女性自立支援施設、母子生活支援施設、妊産婦等生活援助事業実施事業者、養子縁組民間あっせん機関、にんしんSOS相談窓口のうち、経営主体の形態は、「社会福祉法人（社会福祉協議会以外）」が86か所（55.8%）と最も多く、続いて「社会福祉法人（社会福祉協議会）」が18か所（11.7%）、「特定非営利活動法人」が16か所（10.4%）であった。

SQ6 【SA】貴機関の所在地を教えてください。

	都道府県名	N	%
1	北海道	17	1.8
2	青森県	33	3.5
3	岩手県	21	2.3
4	宮城県	24	2.6
5	秋田県	29	3.1
6	山形県	22	2.4
7	福島県	29	3.1
8	茨城県	2	0.2
9	栃木県	21	2.3
10	群馬県	32	3.4
11	埼玉県	8	0.9
12	千葉県	60	6.4
13	東京都	47	5.0
14	神奈川県	22	2.4
15	新潟県	1	0.1
16	富山県	0	-
17	石川県	16	1.7
18	福井県	13	1.4

	都道府県名	N	%
19	山梨県	23	2.5
20	長野県	25	2.7
21	岐阜県	29	3.1
22	静岡県	24	2.6
23	愛知県	48	5.1
24	三重県	4	0.4
25	滋賀県	9	1.0
26	京都府	11	1.2
27	大阪府	38	4.1
28	兵庫県	31	3.3
29	奈良県	3	0.3
30	和歌山県	31	3.3
31	鳥取県	11	1.2
32	島根県	11	1.2
33	岡山県	19	2.0
34	広島県	16	1.7
35	山口県	18	1.9

	都道府県名	N	%
36	徳島県	16	1.7
37	香川県	11	1.2
38	愛媛県	16	1.7
39	高知県	11	1.2
40	福岡県	51	5.5
41	佐賀県	16	1.7
42	長崎県	5	0.5
43	熊本県	6	0.6
44	大分県	15	1.6
45	宮崎県	25	2.7
46	鹿児島県	6	0.6
47	沖縄県	6	0.6
	無回答	1	0.1
	全体	933	100.0

都道府県別の回答状況では、千葉県が最も多く60か所（6.4%）で、続いて福岡県が51か所（5.5%）、愛知県が48か所（5.1%）、東京都が47か所（5.0%）であった。

SQ10 【SQ1で「1」を選択した方】「貴機関が所属している自治体の令和3年度から令和6年度までの特定妊婦数を教えてください。※令和3年度から令和5年度は、各年度の4月1日～3月31日の期間に要保護児童対策地域協議会（以下、「要対協」という。）に登録された実人数をご回答ください。※令和6年度は、4月1日～10月31日の期間に要保護児童対策地域協議会に登録された実人数をご回答ください。

	機関数	無回答 機関数	人数
令和3年度	668	24	7,047
令和4年度	668	18	7,379
令和5年度	668	14	7,825
令和6年度	668	23	4,650

特定妊婦数は令和3年度は合計7,047人、令和4年度は7,379人、令和5年度は計7,825人、令和6年度（4月1日から10月31日までの期間）は4,650人であった。

SQ11 【SQ1で「3」～「7」を選択した方】貴機関の令和4年度から令和5年度の過去2年間の支援実績の中から、支援対象者が妊娠期から産後1年までの期間に支援した人について、支援対象者数の実人数を教えてください。そのうち、特定妊婦に該当する支援対象者数の実人数をお聞かせください。※年をまたぐ同一支援対象者は「1人」として回答ください。

	機関数	無回答 機関数	人数
支援対象者数の実人数の合計数	154	7	9,858
支援対象者実数のうち、特定妊婦の実人数	154	22	1,880

令和4年度～令和5年度の2年間で、妊娠期から産後1年までの期間の支援対象者実人数は、計9,858人であった。支援対象者実数のうち、特定妊婦の実人数は計1,880人であった。

(2) 本調査（支援対象者の情報）クロス集計結果

Q1 【SA】以降の設問は、令和5年9月1日から令和6年8月31日までに出産した妊産婦で、貴機関で支援した対象者（以下、「支援対象者」という）1名について回答してください。【支援開始時】支援対象者の状態に該当するものを1つお選びください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n
1	【市区町村】特定妊婦	1,091	75.7	1,091	0	0	0	0
2	【市区町村】妊娠期間中に把握できなかった産婦で、出産したこどもを支援対象者もしくは家族が養育している人	94	6.5	0	94	0	0	0
3	【児童相談所】妊娠期間中に把握できなかった産婦で、出産したこどもが一時保護、施設入所、里親等委託になった人	124	8.6	0	0	124	0	0
4	【民間支援機関】支援開始当時、貴機関が特定妊婦と把握していなかった人	113	7.8	0	0	0	113	0
5	わからない	20	1.4	0	0	0	0	20
6	当該期間中に支援対象者となる妊産婦の対応はなかった	0	-	0	0	0	0	0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20
	全体 %	100.0	—	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4

注)「わからない」は、回答するケースが選択肢1から4に該当するかわからない場合に選択。特に民間支援機関においては、支援開始当時、特定妊婦として把握していなかった人かどうか不明な場合も想定されるため、「わからない」を選択したと考えられる。

支援開始時の支援対象者の状態は、グループ1の「【市区町村】が回答した特定妊婦」が1,091人(75.7%)で最も多く、続いてグループ3の「【児童相談所】が回答した妊娠期間中に把握できなかった産婦で出産したこどもが一時保護、施設入所、里親等委託になった人」が124人(8.6%)、続いてグループ4の「【民間支援機関】支援開始当時、貴機関が特定妊婦と把握していなかった人」が113人(7.8%)、グループ2の「【市区町村】妊娠期間中に把握できなかった産婦で、出産したこどもを支援対象者もしくは家族が養育している人」が94人(6.5%)であった。

Q2_1 【MA・SQ1で「1」を選択した方】特定妊婦と判断した理由について、あてはまるものをすべてお選びください。

		N	%	G1 (n=1,091) n	G2 (n=94) n	G3 n	G4 n	わから ない (n=1) n	G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	18歳未満の若年妊娠である	108	9.1	100	8	-	-	0	9.2	8.5	-	-	0.0
2	障がいがあるまたは障がい疑われる	349	29.4	336	13	-	-	0	30.8	13.8	-	-	0.0
3	妊娠届出週数が22週以降である	195	16.4	175	20	-	-	0	16.0	21.3	-	-	0.0
4	妊婦健診未受診である	201	16.9	144	57	-	-	0	13.2	60.6	-	-	0.0
5	妊娠の受け止めが否定的である	200	16.9	189	10	-	-	1	17.3	10.6	-	-	100.0
6	性的虐待または性被害による妊娠である	18	1.5	18	0	-	-	0	1.6	0.0	-	-	0.0
7	配偶者・パートナーとの関係性に課題がある	561	47.3	532	29	-	-	0	48.8	30.9	-	-	0.0
8	配偶者・パートナー以外の生物学的父親との関係性に課題がある	70	5.9	65	5	-	-	0	6.0	5.3	-	-	0.0
9	家庭環境に課題がある	734	61.9	702	31	-	-	1	64.3	33.0	-	-	100.0
10	経済状況に課題がある	631	53.2	604	27	-	-	0	55.4	28.7	-	-	0.0
11	居所及び住所が不定である	117	9.9	111	6	-	-	0	10.2	6.4	-	-	0.0
12	その他	393	33.1	359	34	-	-	0	32.9	36.2	-	-	0.0
	未回答	3	0.3	0	3	-	-	0	0.0	3.2	-	-	0.0
	全体	1,186	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

特定妊婦と判断した理由は、グループ1は、「家庭環境に課題がある」が64.3%（702人）と最も多く、続いて「経済状況に課題がある」が55.4%（604人）、「配偶者・パートナーとの関係性に課題がある」が48.8%（532人）であった。グループ2は、「妊婦健診未受診である」が60.6%（57人）と最も多く、続いて「家庭環境に課題がある」が33.0%（31人）、「配偶者・パートナーとの関係性に課題がある」が30.9%（29人）、であった。

Q2_2 【MA・SQ1で「1」を選択した方】特定妊婦への支援が必要と判断した理由についてあてはまるものをすべてお選びください。

				G1 (n=1,091)	G2 (n=94)	G3	G4	わから ない (n=1)		G1	G2	G3	G4	わから ない
		N	%	n	n	n	n	n		%	%	%	%	%
1	18歳未満の若年妊娠である	103	8.7	95	8	-	-	0		8.7	8.5	-	-	0.0
2	障がいがあるまたは障がい疑われる	360	30.4	345	15	-	-	0		31.6	16.0	-	-	0.0
3	妊娠届出週数が22週以降である	183	15.4	162	21	-	-	0		14.8	22.3	-	-	0.0
4	妊婦健診未受診である	205	17.3	148	57	-	-	0		13.6	60.6	-	-	0.0
5	妊娠の受け止めが否定的である	209	17.6	195	13	-	-	1		17.9	13.8	-	-	100.0
6	性的虐待または性被害による妊娠である	17	1.4	17	0	-	-	0		1.6	0.0	-	-	0.0
7	配偶者・パートナーとの関係性に課題がある	551	46.5	516	34	-	-	1		47.3	36.2	-	-	100.0
8	配偶者・パートナー以外の生物学的父親との関係性に課題がある	69	5.8	65	4	-	-	0		6.0	4.3	-	-	0.0
9	家庭環境に課題がある	754	63.6	720	33	-	-	1		66.0	35.1	-	-	100.0
10	経済状況に課題がある	629	53.0	598	31	-	-	0		54.8	33.0	-	-	0.0
11	居所及び住所が不定である	116	9.8	110	6	-	-	0		10.1	6.4	-	-	0.0
12	その他	380	32.0	346	34	-	-	0		31.7	36.2	-	-	0.0
	未回答	3	0.3	0	3	-	-	0		0.0	3.2	-	-	0.0
	全体	1,186	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-

特定妊婦への支援が必要と判断した理由は、グループ1は、「家庭環境に課題がある」が66.0%（720人）と最も多く、続いて「経済状況に課題がある」が54.8%（598人）、「配偶者・パートナーとの関係性に課題がある」が47.3%（516人）であった。グループ2は、「妊婦健診未受診である」が60.6%（57人）と最も多く、続いて「配偶者・パートナーとの関係性に課題がある」が36.2%（34人）、「家庭環境に課題がある」が35.1%（33人）であった。

Q3 【SA】【支援開始時】支援対象者の年齢を教えてください。

年齢(歳)	N	%	G1 (n=1,080) n	G2 (n=94) n	G3 (n=123) n	G4 (n=111) n	わからない (n=18) n	G1 (n=1,080) %	G2 (n=94) %	G3 (n=123) %	G4 (n=111) %	わからない (n=18) %
10	1	0.1	1	0	0	0	0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
11	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13	2	0.1	1	0	0	1	0	0.1	0.0	0.0	0.9	0.0
14	6	0.4	6	0	0	0	0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0
15	15	1.1	9	1	2	1	2	0.8	1.1	1.6	0.9	11.1
16	37	2.6	27	3	3	3	1	2.5	3.2	2.4	2.7	5.6
17	45	3.2	32	5	2	6	0	3.0	5.3	1.6	5.4	0.0
18	54	3.8	46	2	1	5	0	4.3	2.1	0.8	4.5	0.0
19	71	5.0	54	3	3	11	0	5.0	3.2	2.4	9.9	0.0
20	74	5.2	37	10	14	10	3	3.4	10.6	11.4	9.0	16.7
21	80	5.6	56	8	2	13	1	5.2	8.5	1.6	11.7	5.6
22	75	5.3	55	3	10	6	1	5.1	3.2	8.1	5.4	5.6
23	64	4.5	40	6	9	6	3	3.7	6.4	7.3	5.4	16.7
24	67	4.7	45	3	13	5	1	4.2	3.2	10.6	4.5	5.6
25	67	4.7	45	6	9	5	2	4.2	6.4	7.3	4.5	11.1
26	71	5.0	56	4	6	5	0	5.2	4.3	4.9	4.5	0.0
27	60	4.2	47	2	6	5	0	4.4	2.1	4.9	4.5	0.0
28	62	4.3	46	3	8	5	0	4.3	3.2	6.5	4.5	0.0
29	58	4.1	51	2	4	1	0	4.7	2.1	3.3	0.9	0.0
30	58	4.1	49	2	4	2	1	4.5	2.1	3.3	1.8	5.6
31	50	3.5	44	3	2	1	0	4.1	3.2	1.6	0.9	0.0
32	51	3.6	46	2	2	1	0	4.3	2.1	1.6	0.9	0.0
33	53	3.7	45	4	3	0	1	4.2	4.3	2.4	0.0	5.6
34	33	2.3	26	2	2	2	1	2.4	2.1	1.6	1.8	5.6
35	48	3.4	39	3	4	2	0	3.6	3.2	3.3	1.8	0.0
36	46	3.2	36	3	1	6	0	3.3	3.2	0.8	5.4	0.0
37	55	3.9	44	5	4	2	0	4.1	5.3	3.3	1.8	0.0
38	25	1.8	23	1	1	0	0	2.1	1.1	0.8	0.0	0.0
39	22	1.5	17	3	1	1	0	1.6	3.2	0.8	0.9	0.0
40	21	1.5	20	0	1	0	0	1.9	0.0	0.8	0.0	0.0
41	18	1.3	13	1	3	1	0	1.2	1.1	2.4	0.9	0.0
42	17	1.2	13	3	0	1	0	1.2	3.2	0.0	0.9	0.0
43	6	0.4	3	1	0	2	0	0.3	1.1	0.0	1.8	0.0
44	8	0.6	5	0	1	2	0	0.5	0.0	0.8	1.8	0.0
45	1	0.1	0	0	1	0	0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0
46	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
47	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
48	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
49	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
51	1	0.1	1	0	0	0	0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	4	0.3	2	0	1	0	1	0.2	0.0	0.8	0.0	5.6
全体	1,426	100.0	1,080	94	123	111	18	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

支援開始時の支援対象者の年齢について、グループ1は21歳と26歳が5.2%（56人）で最も多く、続いて22歳が5.1%（55人）、19歳が5.9%（54人）であった。グループ2は20歳が10.6%（10人）が最も多く、続いて21歳が8.5%（8人）、25歳が6.4%（6人）であった。グループ3は20歳が11.4%（14人）が最も多く、続いて24歳が10.6%（13人）、22歳が8.1%（10人）であった。グループ4は21歳が11.7%（13人）が最も多く、続いて19歳が9.9%（11人）、20歳が9.0%（10人）であった。

Q4 【SA】【支援開始時】支援対象者の妊娠状況を教えてください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	妊娠中	1,052	73.0	949	1	8	84	10		87.0	1.1	6.5	74.3	50.0
2	妊娠中（詳細不明）	155	10.7	132	4	1	13	5		12.1	4.3	0.8	11.5	25.0
3	出産後	224	15.5	0	89	114	16	5		0.0	94.7	91.9	14.2	25.0
4	わからない	11	0.8	10	0	1	0	0		0.9	0.0	0.8	0.0	0.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援開始時の支援対象者の妊娠状況で最も多かったのは、グループ1は、「妊娠中」が87.0%（949人）、グループ2は、「出産後」が94.7%（89人）、グループ3は「出産後」が91.9%（114人）、グループ4は「妊娠中」74.3%（84人）であった。

Q4_1 【Q4で「1」を選択した方】【支援開始時】支援対象者の妊娠週数

週数	N	%	G1 (n=949) n	G2 (n=1) n	G3 (n=8) n	G4 (n=84) n	わからない (n=10) n	G1 (n=949) %	G2 (n=1) %	G3 (n=8) %	G4 (n=84) %	わからない (n=10) %
0	1	0.1	1	0	0	0	0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
1	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	5	0.5	3	0	0	2	0	0.3	0.0	0.0	2.4	0.0
5	6	0.6	5	0	0	1	0	0.5	0.0	0.0	1.2	0.0
6	30	2.9	25	0	0	5	0	2.6	0.0	0.0	6.0	0.0
7	36	3.4	35	0	0	1	0	3.7	0.0	0.0	1.2	0.0
8	83	7.9	82	0	0	1	0	8.6	0.0	0.0	1.2	0.0
9	142	13.5	138	0	0	4	0	14.5	0.0	0.0	4.8	0.0
10	99	9.4	99	0	0	0	0	10.4	0.0	0.0	0.0	0.0
11	63	6.0	62	0	0	1	0	6.5	0.0	0.0	1.2	0.0
12	31	2.9	30	0	0	1	0	3.2	0.0	0.0	1.2	0.0
13	28	2.7	28	0	0	0	0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0
14	13	1.2	13	0	0	0	0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
15	15	1.4	14	0	0	1	0	1.5	0.0	0.0	1.2	0.0
16	23	2.2	23	0	0	0	0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
17	14	1.3	11	0	0	3	0	1.2	0.0	0.0	3.6	0.0
18	21	2.0	19	0	0	1	1	2.0	0.0	0.0	1.2	10.0
19	15	1.4	15	0	0	0	0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0
20	37	3.5	34	0	0	3	0	3.6	0.0	0.0	3.6	0.0
21	14	1.3	9	0	0	5	0	0.9	0.0	0.0	6.0	0.0
22	21	2.0	21	0	0	0	0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0
23	32	3.0	26	0	0	6	0	2.7	0.0	0.0	7.1	0.0
24	33	3.1	30	0	0	3	0	3.2	0.0	0.0	3.6	0.0
25	21	2.0	16	0	0	4	1	1.7	0.0	0.0	4.8	10.0
26	20	1.9	19	0	0	1	0	2.0	0.0	0.0	1.2	0.0
27	21	2.0	14	0	0	6	1	1.5	0.0	0.0	7.1	10.0
28	26	2.5	19	0	0	6	1	2.0	0.0	0.0	7.1	10.0
29	15	1.4	14	0	0	0	1	1.5	0.0	0.0	0.0	10.0
30	20	1.9	16	0	0	4	0	1.7	0.0	0.0	4.8	0.0
31	22	2.1	16	0	0	5	1	1.7	0.0	0.0	6.0	10.0
32	21	2.0	14	0	0	6	1	1.5	0.0	0.0	7.1	10.0
33	18	1.7	15	0	0	2	1	1.6	0.0	0.0	2.4	10.0
34	22	2.1	21	0	0	0	1	2.2	0.0	0.0	0.0	10.0
35	31	2.9	26	0	1	4	0	2.7	0.0	12.5	4.8	0.0
36	19	1.8	15	0	1	2	1	1.6	0.0	12.5	2.4	10.0
37	15	1.4	12	0	2	1	0	1.3	0.0	25.0	1.2	0.0
38	12	1.1	6	0	2	4	0	0.6	0.0	25.0	4.8	0.0
39	4	0.4	3	0	0	1	0	0.3	0.0	0.0	1.2	0.0
40	2	0.2	0	0	2	0	0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
41	1	0.1	0	1	0	0	0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
全体	1,052	100.0	949	1	8	84	10	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

前問Q4で「1」の「妊娠中」と回答のうち、支援開始時の支援対象者の妊娠週数について、グループ1は妊娠9週が14.5%（138人）が最も多く、続いて妊娠10週が10.4%（99人）、妊娠8週が9.6%（92人）であった。グループ2は、妊娠41週が100.0%（1人）であった。グループ3は、妊娠37週と妊娠38週が25.0%（2人）で同率で最も多かった。グループ4は、27週、妊娠28週、妊娠32週が7.1%（6人）で同率で最も多く、続いて妊娠6週、妊娠21週、31週が6.0%（5人）で同率、妊娠9週、妊娠30週、妊娠25週が4.8%（4人）であった。

Q5 【SA】【支援開始時】 支援対象者の妊娠中または出産したこどもは何人目のお子さんですか。

人目 (人)	N	%	G1 (n=1,088) n	G2 (n=94) n	G3 (n=123) n	G4 (n=110) n	わからない (n=20) n	G1 (n=1,08) %	G2 (n=94) %	G3 (n=123) %	G4 (n=110) %	わからない (n=20) %
1	700	48.5	471	49	85	81	14	43.2	52.1	68.5	71.7	70.0
2	277	19.2	235	12	14	14	2	21.5	12.8	11.3	12.4	10.0
3	201	13.9	169	12	11	8	1	15.5	12.8	8.9	7.1	5.0
4	146	10.1	122	11	6	4	3	11.2	11.7	4.8	3.5	15.0
5	46	3.2	36	4	4	2	0	3.3	4.3	3.2	1.8	0.0
6	36	2.5	31	2	2	1	0	2.8	2.1	1.6	0.9	0.0
7	15	1.0	11	3	1	0	0	1.0	3.2	0.8	0.0	0.0
8	4	0.3	4	0	0	0	0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
9	5	0.3	4	1	0	0	0	0.4	1.1	0.0	0.0	0.0
10	1	0.1	1	0	0	0	0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
11	2	0.1	2	0	0	0	0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
12	2	0.1	2	0	0	0	0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
わからない	7	0.5	3	0	1	3	0	0.3	0.0	0.8	2.7	0.0
全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

支援開始時の支援対象者の妊娠中または出産したこどもは何人目かについては、グループ1は、1人目が43.2% (471人)と最も多く、続いて2人目が21.5% (235人)、3人目が15.5% (169人)であった。グループ2は、1人目が52.1% (49人)と最も多く、続いて2人目と3人目が12.8% (12人)と同率であった。グループ3は、1人目が68.5% (85人)と最も多く、続いて2人目が11.3% (14人)、3人目が8.9% (11人)であった。グループ4は、1人目が71.7% (81人)と最も多く、続いて2人目が12.4% (14人)、3人目が7.1% (8人)であった。

Q6 【SA】【支援開始時】 支援対象者の職業を教えてください。

	N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わからない n	G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わからない %
1 正規	182	12.6	138	20	15	9	0	12.6	21.3	12.1	8.0	0.0
2 非正規	399	27.7	298	29	41	28	3	27.3	30.9	33.1	24.8	15.0
3 無職 (学生ではない)	645	44.7	512	25	39	57	12	46.9	26.6	31.5	50.4	60.0
4 学生	114	7.9	77	12	15	8	2	7.1	12.8	12.1	7.1	10.0
5 その他	102	7.1	66	8	14	11	3	6.0	8.5	11.3	9.7	15.0
全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4				

支援開始時の支援対象者の職業は、グループ1は、「無職」が46.9% (512人)と最も多く、続いて「非正規」が27.3% (298人)、「正規」が12.6% (138人)であった。グループ2は、「非正規」が30.9% (29人)と最も多く、続いて「無職」が26.6% (25人)、「正規」が21.3% (20人)であった。グループ3は、「非正規」が33.1% (41人)と最も多く、続いて「無職」31.5% (29人)、「正規」が12.1% (15人)であった。グループ4は、「無職」が50.4% (57人)と最も多く、続いて「非正規」が24.8% (28人)、「正規」が8.0% (9人)であった。

Q7_1 【SA・Q6で「4」を選択した方】【支援開始時】支援対象者が学生を選択した方にお聞きします。支援開始時の所属としてあてはまるものをお選びください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n	G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	小学校	0	-	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	小学校（特別支援学級所属）	0	-	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	特別支援学校の小学部	0	-	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	中学校	17	14.9	12	0	2	2	1	15.6	0.0	13.3	25.0	50.0
5	中学校（特別支援学級所属）	1	0.9	1	0	0	0	0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
6	特別支援学校の中等部	0	-	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7	高等学校	68	59.6	47	8	7	5	1	61.0	66.7	46.7	62.5	50.0
8	特別支援学校の高等部	2	1.8	2	0	0	0	0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
9	専門学校	10	8.8	5	1	4	0	0	6.5	8.3	26.7	0.0	0.0
10	高等専修学校	0	-	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11	高等専門学校	0	-	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12	短期大学	1	0.9	1	0	0	0	0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
13	大学	12	10.5	6	3	2	1	0	7.8	25.0	13.3	12.5	0.0
14	大学院	1	0.9	1	0	0	0	0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
15	わからない	0	-	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
16	その他	2	1.8	2	0	0	0	0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	全体	114	100.0	77	12	15	8	2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	67.5	10.5	13.2	7.0	1.8				

支援開始時に支援対象者が「学生」を選択した場合においては、グループ1は、「高等学校」が61.0%（47人）、「中学校」が15.6%（12人）であった。グループ2は、「高等学校」が66.7%（8人）、「大学」が25.0%（3人）であった。グループ3は、「高等学校」が46.7%（7人）、「専門学校」が26.7%（4人）であった。グループ4は、「高等学校」が62.5%（5人）、「中学校」が25.0%（2人）であった。

Q7_2 【SA・Q6で「4」を選択した方】【支援開始時】支援対象者の支援開始時の登校状況としてあてはまるものをお選びください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n	G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	登校中	80	69.6	53	8	13	5	1	68.8	66.7	86.7	62.5	50.0
2	不登校、不登校気味	27	24.3	20	2	2	3	0	26.0	16.7	13.3	37.5	0.0
3	わからない	7	6.1	4	2	0	0	1	5.2	16.7	0.0	0.0	50.0
	全体	114	100.0	77	12	15	8	2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	67.5	10.5	13.2	7.0	1.8				

支援開始時の支援対象者の支援開始時の登校状況は、グループ1は、「登校中」が68.8%（53人）、「不登校、不登校気味」が26.0%（20人）であった。グループ2は、「登校中」が66.7%（8人）、「不登校、不登校気味」と「わからない」が16.7%（2人）と同率であった。グループ3は、「登校中」が86.7%（13人）、「不登校、不登校気味」が13.3%（2人）であった。グループ4は、「登校中」が62.5%（5人）、「不登校、不登校気味」が37.5%（3人）であった。

Q8_1 【SA】【支援開始時】支援対象者の最終学歴（現在通学中・休学中、中退を含む）としてあてはまるものをお選びください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n	G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	小学校	0	-	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	小学校（特別支援学級所属）	0	-	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	特別支援学校の小学部	0	-	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	中学校	122	8.5	100	2	7	10	3	9.2	2.1	5.6	8.8	15.0
5	中学校（特別支援学級所属）	2	0.1	2	0	0	0	0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
6	特別支援学校の中等部	2	0.1	2	0	0	0	0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
7	高等学校	466	32.3	331	25	55	49	6	30.3	26.6	44.4	43.4	30.0
8	特別支援学校の高等部	47	3.3	40	3	2	2	0	3.7	3.2	1.6	1.8	0.0
9	専門学校	94	6.5	55	6	23	9	1	5.0	6.4	18.5	8.0	5.0
10	高等専修学校	7	0.5	2	3	1	1	0	0.2	3.2	0.8	0.9	0.0
11	高等専門学校	4	0.3	3	0	1	0	0	0.3	0.0	0.8	0.0	0.0
12	短期大学	18	1.2	8	3	2	3	2	0.7	3.2	1.6	2.7	10.0
13	大学	61	4.2	38	8	8	5	2	3.5	8.5	6.5	4.4	10.0
14	大学院	2	0.1	2	0	0	0	0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
15	わからない	605	42.0	503	43	23	30	6	46.1	45.7	18.5	26.5	30.0
16	その他	12	0.8	5	1	2	4	0	0.5	1.1	1.6	3.5	0.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4				

支援開始時の支援対象者の最終学歴（現在通学中・休学中、中退を含む）は、グループ1は、「わからない」が46.1%（503人）、「高等学校」が30.1%（331人）であった。グループ2は、「わからない」が45.7%（43人）、「高等学校」が26.6%（25人）であった。グループ3は、「高等学校」が44.4%（55人）、「専門学校」と「わからない」が18.5%（23人）と同率であった。グループ4は、「高等学校」が43.4%（49人）、「わからない」が26.5%（30人）であった。

Q8_2 【SA・Q8_1で「7」～「14」、「16」を選択した方】【支援開始時】支援対象者の最終学歴の教育課程をお選びください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n	G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	全日制課程	418	58.8	273	36	65	39	5	56.4	73.5	69.1	53.4	45.5
2	定時制課程	38	5.3	30	1	5	1	1	6.2	2.0	5.3	1.4	9.1
3	通信制課程	65	9.1	41	3	6	14	1	8.5	6.1	6.4	19.2	9.1
4	わからない	190	26.7	140	9	18	19	4	28.9	18.4	19.1	26.0	36.4
	未回答	0	-	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	全体	711	100.0	484	49	94	73	11	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	68.1	6.9	13.2	10.3	1.5				

支援開始時の支援対象者の最終学歴の教育課程については、グループ1は、「全日制課程」が56.4%（273人）、「わからない」が28.9%（140人）であった。グループ2は、「全日制課程」が73.5%（36人）、「わからない」が18.4%（9人）であった。グループ3は、「全日制課程」が69.1%（65人）、「わからない」が19.1%（18人）であった。グループ4は、「全日制課程」が53.4%（39人）、「わからない」が26.0%（19人）、通信制課程が19.2%（14人）であった。

Q8_3 【SA】【支援開始時】支援対象者の最終学歴としてあてはまるものをお選びください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	卒業	536	37.2	383	29	65	52	7		35.1	30.9	52.4	46.0	35.0
2	中退	184	12.8	128	8	22	21	5		11.7	8.5	17.7	18.6	25.0
3	休学中	13	0.9	11	0	1	1	0		1.0	0.0	0.8	0.9	0.0
4	通学中	74	5.1	41	10	13	8	2		3.8	10.6	10.5	7.1	10.0
5	わからない	634	44.0	527	47	23	31	6		48.3	50.0	18.5	27.4	30.0
	未回答	1	0.1	1	0	0	0	0		0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体		%											

支援開始時の支援対象者の最終学歴については、グループ1は、「わからない」が48.3%（527人）と最も多く、続いて「卒業」が35.1%（383人）、「中退」が11.7%（128人）であった。グループ2は、「わからない」が50.0%（47人）と最も多く、続いて「卒業」が30.9%（29人）、「通学中」が10.6%（10人）であった。グループ3は、「卒業」が52.4%（65人）と最も多く、続いて「わからない」が18.5%（23人）、「中退」が17.7%（22人）であった。グループ4は、卒業が46.0%（52人）と最も多く、続いてわからないが27.4%（31人）、中退が18.6%（21人）であった。

Q9 【SA】【支援開始時】支援対象者の婚姻関係について教えてください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	既婚（初婚）	360	25.0	313	18	17	8	4		28.7	19.1	13.7	7.1	20.0
2	既婚（再婚）	149	10.3	134	9	4	1	1		12.3	9.6	3.2	0.9	5.0
3	既婚（詳細不明）	35	2.4	26	1	1	5	2		2.4	1.1	0.8	4.4	10.0
4	事実婚	115	8.0	93	11	7	4	0		8.5	11.7	5.6	3.5	0.0
5	未婚	690	47.9	456	49	89	84	12		41.8	52.1	71.8	74.3	60.0
6	死別・離婚	48	3.3	38	2	1	6	1		3.5	2.1	0.8	5.3	5.0
7	その他	45	3.1	31	4	5	5	0		2.8	4.3	4.0	4.4	0.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体		%											

支援開始時の支援対象者の婚姻関係については、グループ1は、「未婚」が41.8%（456人）と最も多く、続いて「既婚（初婚）」が28.7%（313人）、「既婚（再婚）」が12.3%（134人）であった。グループ2は、「未婚」が52.1%（49人）と最も多く、続いて「既婚（初婚）」が19.1%（18人）、「事実婚」が11.7%（11人）であった。グループ3は、「未婚」が71.8%（89人）と最も多く、続いて「既婚（初婚）」が13.7%（17人）であった。グループ4は、「未婚」が74.3%（84人）と最も多く、続いて「既婚（初婚）」が7.1%（8人）であった。

Q10 【SA】【支援開始時】支援対象者の生活保護受給歴について教えてください。

				G1	G2	G3	G4	わから ない		G1	G2	G3	G4	わから ない
		N	%	n	n	n	n	n		%	%	%	%	%
1	受給中	149	10.3	113	7	7	16	6		10.4	7.4	5.6	14.2	30.0
2	過去に生活保護を受けていた	102	7.1	84	5	7	6	0		7.7	5.3	5.6	5.3	0.0
3	受給歴なし	974	67.5	740	70	90	73	1		67.8	74.5	72.6	64.6	5.0
4	わからない	204	14.1	142	12	19	18	13		13.0	12.8	15.3	15.9	65.0
5	その他	13	0.9	12	0	1	0	0		1.1	0.0	0.8	0.0	0.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援開始時の支援対象者の生活保護受給歴については、グループ1は、「受給歴なし」が67.8%（740人）と最も多く、続いて「わからない」が13.0%（142人）、「受給中」が10.4%（113人）であった。グループ2は、「受給歴なし」が74.5%（70人）と最も多く、続いて「わからない」が12.8%（12人）、「受給中」が7.4%（7人）であった。グループ3は、「受給歴なし」が72.6%（90人）と最も多く、続いて「わからない」が15.3%（19人）、「受給中」が5.6%（7人）であった。グループ4は、「受給時歴なし」が64.6%（73人）と最も多く、続いて「わからない」が15.9%（18人）、「受給中」が14.2%（16人）であった。

Q11 【SA】【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。

				G1	G2	G3	G4	わから ない		G1	G2	G3	G4	わから ない
		N	%	n	n	n	n	n		%	%	%	%	%
1	自分自身の収入で生計を立てている	258	17.9	157	16	39	39	7		14.4	17.0	31.5	34.5	35.0
2	パートナーの収入で生計を立てている	321	22.3	272	11	19	18	1		24.9	11.7	15.3	15.9	5.0
3	自分自身とパートナーの収入で生計を立てている	287	19.9	237	24	20	6	0		21.7	25.5	16.1	5.3	0.0
4	親等からの支援を受けて生計を立てている	321	22.3	229	31	33	24	4		21.0	33.0	26.6	21.2	20.0
5	わからない	51	3.5	32	5	3	7	4		2.9	5.3	2.4	6.2	20.0
6	その他	204	14.1	164	7	10	19	4		15.0	7.4	8.1	16.8	20.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援開始時の支援対象者の生計の収入源については、グループ1は、「パートナーの収入で生計を立てている」が24.9%（272人）と最も多く、続いて「自分自身とパートナーの収入で生計を立てている」が21.7%（237人）、「親等からの支援を受けて生計を立てている」が21.0%（229人）であった。グループ2は、「親等からの支援を受けて生計を立てている」が33.0%（31人）が最も多く、続いて「自分自身とパートナーの収入で生計を立てている」が25.5%（24人）、「自分自身の収入で生計を立てている」が17.0%（16人）であった。グループ3は、「自分自身の収入で生計を立てている」が31.5%（39人）と最も多く、続いて「親等からの支援を受けて生計を立てている」が26.6%（33人）、「自分自身とパートナーの収入で生計を立てている」が16.1%（20人）であった。グループ4は、「自分自身の収入で生計を立てている」が34.5%（39人）と最も多く、続いて「親等からの支援を受けて生計を立てている」が21.2%（24人）であった。

Q12 【SA】【支援開始時】支援対象者の経済状況について該当するものをお選びください。

				G1	G2	G3	G4	わから ない		G1	G2	G3	G4	わから ない
		N	%	n	n	n	n	n		%	%	%	%	%
1	経済状況に課題がある（借金がある）	308	21.4	246	14	17	26	5		22.5	14.9	13.7	23.0	25.0
2	経済状況に課題がある（借金はない）	499	34.6	374	31	33	54	7		34.3	33.0	26.6	47.8	35.0
3	借金があるが、経済状況に課題はない	13	0.9	7	4	2	0	0		0.6	4.3	1.6	0.0	0.0
4	経済状況に課題はない	339	23.5	253	30	37	16	3		23.2	31.9	29.8	14.2	15.0
5	わからない	192	13.3	135	13	28	12	4		12.4	13.8	22.6	10.6	20.0
6	その他	91	6.3	76	2	7	5	1		7.0	2.1	5.6	4.4	5.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援開始時の支援対象者の経済状況について、グループ1は、「経済状況に課題がある（借金はない）」が34.3%（374人）と最も多く、続いて「経済状況に課題はない」が23.2%（253人）、「経済状況に課題がある（借金がある）」が22.5%（246人）であった。グループ2は、「経済状況に課題がある（借金はない）」が33.0%（31人）と最も多く、続いて「経済状況に課題はない」が31.9%（30人）、「経済状況に課題がある（借金がある）」が14.9%（14人）であった。グループ3は、「経済状況に課題はない」が29.8%（37人）と最も多く、続いて「経済状況に課題がある（借金はない）」が26.6%（33人）、「わからない」が22.6%（28人）であった。グループ4は、「経済状況に課題がある（借金はない）」が47.8%（54人）と最も多く、続いて「経済状況に課題がある（借金がある）」が23.0%（26人）、「経済状況に課題はない」が14.2%（16人）であった。

Q13 【SA・Q10で「2」～「5」を選択した方】【支援開始時】支援対象者の医療保険証の所持状況について該当するものをお選びください。

				G1	G2	G3	G4	わから ない		G1	G2	G3	G4	わから ない
		N	%	n	n	n	n	n		%	%	%	%	%
1	医療保険証をもっていた	1,120	86.6	876	79	86	70	9		89.6	90.8	73.5	72.2	64.3
2	医療保険証をもっていなかった	88	6.8	47	3	17	20	1		4.8	3.4	14.5	20.6	7.1
3	わからない	85	6.6	55	5	14	7	4		5.6	5.7	12.0	7.2	28.6
	全体	1,293	100.0	978	87	117	97	14		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.6	6.7	9.0	7.5	1.1					

支援開始時の支援対象者の医療保険証の所持状況については、グループ1は、「医療保険証をもっていた」が89.6%（876人）、「医療保険証をもっていなかった」が4.8%（47人）であった。グループ2は、「医療保険証をもっていた」が90.8%（79人）、「医療保険証をもっていなかった」が3.4%（3人）であった。グループ3は、「医療保険証をもっていた」が73.5%（86人）、「医療保険証をもっていなかった」が14.5%（17人）であった。グループ4は、「医療保険証をもっていた」が72.2%（70人）、「医療保険証をもっていなかった」が20.6%（20人）であった。

Q14 【SA】【支援開始時】支援対象者の住まいについて教えてください。

				G1	G2	G3	G4	わから ない		G1	G2	G3	G4	わから ない
		N	%	n	n	n	n	n		%	%	%	%	%
1	定まった住居がある	1,288	89.3	993	89	108	83	15		91.0	94.7	87.1	73.5	75.0
2	住居が定まっていない	115	8.0	75	2	15	19	4		6.9	2.1	12.1	16.8	20.0
3	わからない	4	0.3	4	0	0	0	0		0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
4	その他	35	2.4	19	3	1	11	1		1.7	3.2	0.8	9.7	5.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援開始時の支援対象者の住まいについては、グループ1は、「定まった住居がある」が91.0%（993人）、「住居が定まっていない」が6.9%（75人）であった。グループ2は、「定まった住居がある」が94.7%（89人）、「住居が定まっていない」が2.1%（2人）であった。グループ3は、「定まった住居がある」が87.1%（108人）、「住居が定まっていない」が12.1%（15人）であった。グループ4は、「定まった住居がある」が73.5%（83人）、「住居が定まっていない」が16.8%（19人）であった。

Q15 【SA・Q14で「1」を選択した方】【支援開始時】前問で「定まった住居がある」を選択した方にお聞きします。支援対象者が住んでいた場所について教えてください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	自宅	991	76.9	781	73	66	61	10		78.7	82.0	61.1	73.5	66.7
2	学生寮・社員寮等	36	2.8	21	4	8	1	2		2.1	4.5	7.4	1.2	13.3
3	パートナーの家	126	9.8	91	6	17	12	0		9.2	6.7	15.7	14.5	0.0
4	親族、友人等の家	95	7.4	70	5	14	5	1		7.0	5.6	13.0	6.0	6.7
5	母子生活支援施設、シェルター等	5	0.4	1	0	0	2	2		0.1	0.0	0.0	2.4	13.3
6	その他	35	2.7	29	1	3	2	0		2.9	1.1	2.8	2.4	0.0
	全体	1,288	100.0	993	89	108	83	15		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	77.1	6.9	8.4	1.2						

支援開始時の定まった住居のある支援対象者が住んでいた場所については、グループ1は、「自宅」が78.7%（781人）、「パートナーの家」が9.2%（91人）であった。グループ2は、「自宅」が82.0%（73人）、「パートナーの家」が6.7%（6人）であった。グループ3は、「自宅」が61.1%（66人）、「パートナーの家」が15.7%（17人）であった。グループ4は、「自宅」が73.5%（61人）、「パートナーの家」が14.5%（12人）であった。

Q16 【SA・Q14で「2」を選択した方】【支援開始時】前問で「住居が定まっていない」を選択した方にお聞きします。支援対象者はどのように生活していましたか。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	自宅、寮等住居があるが、頻繁に転居を繰り返している	10	8.7	5	0	2	1	2		6.7	0.0	13.3	5.3	50.0
2	特定の住居があるが、パートナー・友人の家等を転々としている	36	31.3	29	0	4	3	0		38.7	0.0	26.7	15.8	0.0
3	特定の住居がなく、パートナー・友人の家等を転々としている	28	24.3	20	0	2	6	0		26.7	0.0	13.3	31.6	0.0
4	複数のパートナー宅を転々としている	0	-	0	0	0	0	0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	ホテル・ネットカフェ等へ宿泊している	18	15.7	8	0	5	4	1		10.7	0.0	33.3	21.1	25.0
6	その他	23	20.0	13	2	2	5	1		17.3	100.0	13.3	26.3	25.0
	全体	115	100.0	75	2	15	19	4		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	65.2	1.7	13.0	3.5						

支援開始時の住居が定まっていない方において支援対象者はどのように生活していたかについては、グループ1は、「特定の住居があるが、パートナー・友人の家等を転々としている」が38.7%（29人）、「特定の住居がなく、パートナー・友人の家等と転々としている」が26.7%（20人）であった。グループ2は、その他が100.0%（2人）であった。グループ3は、「ホテル・ネットカフェ等へ宿泊している」が33.3%（5人）、「特定の住居があるが、パートナー・友人の家等を転々としている」が26.7%（4人）であった。グループ4は、「特定の住居がなく、パートナー・友人の家等と転々としている」が31.6%（6人）、「ホテル・ネットカフェ等へ宿泊している」が21.1%（4人）であった。

Q17 【SA】【支援開始時】支援対象者の住民票について教えてください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	支援対象者の居所の自治体に住民票がある	1,299	90.1	1,019	85	98	84	13		93.4	90.4	79.0	74.3	65.0
2	支援対象者の居所の自治体に住民票がない	125	8.7	63	9	24	23	6		5.8	9.6	19.4	20.4	30.0
3	わからない	5	0.3	0	0	1	3	1		0.0	0.0	0.8	2.7	5.0
4	その他	13	0.9	9	0	1	3	0		0.8	0.0	0.8	2.7	0.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体		%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4				

支援開始時の支援対象者の住民票については、グループ1は、「支援対象者の居所の自治体に住民票がある」が93.4%（1,019人）、「支援対象者の居所の自治体に住民票がない」が5.8%（63人）であった。グループ2は、「支援対象者の居所の自治体に住民票がある」が90.4%（85人）、「支援対象者の居所の自治体に住民票がない」が9.6%（9人）であった。グループ3は、「支援対象者の居所の自治体に住民票がある」が79.0%（98人）、「支援対象者の居所の自治体に住民票がない」が19.4%（24人）であった。グループ4は、「支援対象者の居所の自治体に住民票がある」が74.3%（84人）、「支援対象者の居所の自治体に住民票がない」が20.4%（23人）であった。

Q18 【MA】【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。

		N	%	G1 (n=1,091) n	G2 (n=94) n	G3 (n=124) n	G4 (n=113) n	わから ない (n=20) n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	配偶者・パートナー	793	55.0	676	44	45	23	5		62.0	46.8	36.3	20.4	25.0
2	子ども	649	45.0	529	51	36	26	7		48.5	54.3	29.0	23.0	35.0
3	実父	321	22.3	210	33	33	41	4		19.2	35.1	26.6	36.3	20.0
4	実母	572	39.7	393	43	65	63	8		36.0	45.7	52.4	55.8	40.0
5	兄弟姉妹	408	28.3	273	35	35	56	9		25.0	37.2	28.2	49.6	45.0
6	養父	27	1.9	21	1	1	3	1		1.9	1.1	0.8	2.7	5.0
7	養母	10	0.7	7	0	1	1	1		0.6	0.0	0.8	0.9	5.0
8	継父	35	2.4	23	2	5	4	1		2.1	2.1	4.0	3.5	5.0
9	継母	7	0.5	6	0	0	1	0		0.5	0.0	0.0	0.9	0.0
10	義父	68	4.7	61	3	2	0	2		5.6	3.2	1.6	0.0	10.0
11	義母	90	6.2	79	5	5	1	0		7.2	5.3	4.0	0.9	0.0
12	祖父	65	4.5	46	5	7	7	0		4.2	5.3	5.6	6.2	0.0
13	祖母	128	8.9	90	9	15	14	0		8.2	9.6	12.1	12.4	0.0
14	わからない	24	1.7	8	1	2	9	4		0.7	1.1	1.6	8.0	20.0
15	その他	238	16.5	191	13	21	12	1		17.5	13.8	16.9	10.6	5.0
	未回答	1	0.1	1	0	0	0	0		0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	全体	1,442	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-

支援開始時の支援対象者の家族構成について、グループ1は、「配偶者・パートナー」が62.0%（676人）と最も多く、続いて「子ども」が48.5%（529人）、「実母」が36.0%（393人）であった。グループ2は、「子ども」が54.3%（51人）と最も多く、続いて「配偶者・パートナー」が46.8%（44人）、「実母」が45.7%（43人）であった。グループ3は、「実母」が52.4%（65人）と最も多く、続いて「配偶者・パートナー」が36.3%（45人）、「子ども」が29.0%（36人）であった。グループ4は、「実母」が55.8%（63人）と最も多く、続いて「兄弟姉妹」が49.6%（56人）、「実父」が36.3%（41人）であった。

Q19 【MA】【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。

		N	%	G1 (n=1,091) n	G2 (n=94) n	G3 (n=124) n	G4 (n=113) n	わから ない (n=20) n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	配偶者・パートナー	782	54.2	653	43	50	31	5		59.9	45.7	39.1	27.4	25.0
2	子ども	616	42.7	505	51	29	23	8		46.3	54.3	22.7	20.4	40.0
3	実父	179	12.4	123	27	15	12	2		11.3	28.7	11.7	10.6	10.0
4	実母	321	22.3	229	32	36	22	2		21.0	34.0	28.1	19.5	10.0
5	兄弟姉妹	232	16.1	174	21	18	16	3		15.9	22.3	14.1	14.2	15.0
6	養父	17	1.2	15	0	0	1	1		1.4	0.0	0.0	0.9	5.0
7	養母	8	0.6	6	0	0	1	1		0.5	0.0	0.0	0.9	5.0
8	継父	16	1.1	10	2	1	2	1		0.9	2.1	0.8	1.8	5.0
9	継母	2	0.1	2	0	0	0	0		0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
10	義父	43	3.0	38	1	3	1	0		3.5	1.1	2.3	0.9	0.0
11	義母	60	4.2	50	4	5	1	0		4.6	4.3	3.9	0.9	0.0
12	祖父	41	2.8	35	2	4	0	0		3.2	2.1	3.1	0.0	0.0
13	祖母	72	5.0	57	6	8	1	0		5.2	6.4	6.3	0.9	0.0
14	友人	23	1.6	10	1	5	6	1		0.9	1.1	3.9	5.3	5.0
15	わからない	25	1.7	10	1	3	7	4		0.9	1.1	2.3	6.2	20.0
16	その他	270	18.7	194	10	28	36	2		17.8	10.6	21.9	31.9	10.0
	未回答	1	0.1	1	-	-	-	-		0.1	-	-	-	-
	全体	1,442	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-

支援開始時の支援対象者の同居人について、グループ1は、「配偶者・パートナー」が59.9%（653人）と最も多く、続いて「子ども」が46.3%（505人）、「実母」が21.0%（229人）であった。グループ2は、「子ども」が54.3%（51人）と最も多く、続いて「配偶者・パートナー」が45.7%（43人）、「実母」が34.0%（32人）であった。グループ3は、「配偶者・パートナー」が39.1%（50人）と最も多く、続いて「実母」が28.1%（36人）、「子ども」が22.7%（29人）であった。グループ4は、配偶者・パートナーが27.4%（31人）と最も多く、続いて「子ども」が20.4%（23人）、「実母」が19.5%（22人）であった。

Q20 【SA】【支援開始時】支援対象者は性被害を受けたことがありますか。※親からの性的虐待はここでは除いてお答えください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	はい	81	5.6	55	0	11	14	1		5.0	0.0	8.9	12.4	5.0
2	いいえ	471	32.7	351	30	42	46	2		32.2	31.9	33.9	40.7	10.0
3	わからない	890	61.7	685	64	71	53	17		62.8	68.1	57.3	46.9	85.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8		1.4				

支援開始時の支援対象者は性被害を受けたことがあるかについては、グループ1は、「わからない」が62.8%（685人）、「いいえ」が32.2%（351人）、「はい」が5.0%（55人）であった。グループ2は、「わからない」が68.1%（64人）、「いいえ」が31.9%（30人）、「はい」は0.0%（0人）であった。グループ3は、「わからない」が57.3%（71人）、「いいえ」が33.9%（42人）、「はい」が8.9%（11人）であった。グループ4は、「わからない」が46.9%（53人）、「いいえ」が40.7%（46人）、「はい」が12.4%（14人）であった。

Q21_1 【SA】【支援開始時】支援対象者の国籍を教えてください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	日本	1,367	94.8	1,037	90	115	105	20		95.1	95.7	92.7	92.9	100.0
2	日本以外	66	4.6	46	3	9	8	0		4.2	3.2	7.3	7.1	0.0
3	わからない	9	0.6	8	1	0	0	0		0.7	1.1	0.0	0.0	0.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援開始時の支援対象者の国籍については、グループ1は、「日本」が95.1%（1,037人）、グループ2は、「日本」が95.7%（90人）、グループ3は、「日本」が92.7%（115人）、グループ4は、「日本」が92.9%（105人）であった。

Q21_2 【SA・Q21_1で「2」を選択した方】【支援開始時】支援対象者が日本以外の国籍を選択した方にお聞きします。支援対象者の在留資格を教えてください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	永住者	17	25.8	11	2	1	3	0		23.9	66.7	11.1	37.5	-
2	技能実習	7	10.6	0	1	3	3	0		0.0	33.3	33.3	37.5	-
3	技術・人文知識・国際業務	3	4.5	3	0	0	0	0		6.5	0.0	0.0	0.0	-
4	留学	6	9.1	2	0	4	0	0		4.3	0.0	44.4	0.0	-
5	特別永住者	0	-	0	0	0	0	0		0.0	0.0	0.0	0.0	-
6	家族滞在	5	7.6	5	0	0	0	0		10.9	0.0	0.0	0.0	-
7	わからない	17	25.8	14	0	1	2	0		30.4	0.0	11.1	25.0	-
8	その他	11	16.7	11	0	0	0	0		23.9	0.0	0.0	0.0	-
	全体	66	100.0	46	3	9	8	0		100.0	100.0	100.0	100.0	-
	全体	%	100.0	-	69.7	4.5	13.6	12.1	0.0					

支援開始時の支援対象者が日本以外の国籍の場合における支援対象者の在留資格については、グループ1は、「わからない」が30.4%（14人）と最も多く、続いて「永住者」が23.9%（11人）、「家族滞在」が10.9%（5人）であった。グループ2は、「永住者」が66.7%（2人）と最も多く、続いて「技能実習」が33.3%（1人）であった。グループ3は、「留学」が44.4%（4人）と最も多く、続いて「技能実習」が33.3%（3人）、「永住者」が11.1%（1人）であった。グループ4は、「永住者」と「技能実習」が37.5%（3人）と同率で最も多く、続いて「わからない」が25.0%（2人）であった。

Q21_3 【SA・Q21_1で「2」を選択した方】【支援開始時】支援対象者の日本語の会話能力について教えてください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	日本人とほぼ同様に会話と読み書きができる	24	36.4	17	1	1	5	0		37.0	33.3	11.1	62.5	-
2	読み書きはできないが、会話は十分理解できる	15	22.7	13	1	1	0	0		28.3	33.3	11.1	0.0	-
3	少し日本語がわかる	17	25.8	11	1	4	1	0		23.9	33.3	44.4	12.5	-
4	全然日本語がわからない	7	10.6	5	0	1	1	0		10.9	0.0	11.1	12.5	-
5	その他	3	4.5	0	0	2	1	0		0.0	0.0	22.2	12.5	-
	全体	66	100.0	46	3	9	8	0		100.0	100.0	100.0	100.0	-
	全体	%	100.0	-	69.7	4.5	13.6	12.1	0.0					

支援開始時の支援対象者が日本以外の国籍の場合における支援対象者の日本語の会話能力については、グループ1は、「日本人とほぼ同様に会話と読み書きができる」が37.0%（17人）と最も多く、続いて「読み書きはできないが、会話は十分理解できる」が28.3%（13人）、「少し日本語がわかる」が23.9%（11人）であった。グループ2は、「日本人とほぼ同様に会話と読み書きができる」、「読み書きはできないが、会話は十分理解できる」、「少し日本語がわかる」が33.3%（1人）と同率であった。グループ3は、「少し日本語がわかる」が44.4%（4人）と最も多く、続いて「読み書きはできないが、会話は十分理解できる」、「日本人とほぼ同様に会話と読み書きができる」、「全然日本語がわからない」が11.1%（1人）と同率であった。グループ4は、「日本人とほぼ同様に会話と読み書きができる」が62.5%（5人）と最も多く、続いて「少し日本語がわかる」と「全然日本語がわからない」が12.5%（1人）と同率であった。

Q22 【SA】支援対象者の今回の妊娠における胎児等の生物学的父親となる相手について教えてください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	支援対象者が胎児の生物学的父親となる相手が誰か理解している	1,307	90.6	1,020	83	98	90	16		93.5	88.3	79.0	79.6	80.0
2	支援対象者が胎児の生物学的父親となる相手が特定できていない（複数候補いる）	100	6.9	50	9	21	17	3		4.6	9.6	16.9	15.0	15.0
3	わからない	25	1.7	16	0	3	5	1		1.5	0.0	2.4	4.4	5.0
4	その他	10	0.7	5	2	2	1	0		0.5	2.1	1.6	0.9	0.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援対象者の今回の妊娠における胎児等の生物学的父親となる相手については、グループ1は、「支援対象者が胎児の生物学的父親となる相手が誰か理解している」が93.5%（1,020人）、グループ2は、「支援対象者が胎児の生物学的父親となる相手が誰か理解している」が88.3%（83人）、グループ3は、「支援対象者が胎児の生物学的父親となる相手が誰か理解している」が79.0%（98人）、は、「支援対象者が胎児の生物学的父親となる相手が誰か理解している」が79.6%（90人）であった。

Q23 【SA】支援対象者と胎児等の生物学的父親となる相手との出会いの状況について教えてください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	学校	102	7.1	68	11	12	10	1		6.2	11.7	9.7	8.8	5.0
2	職場	138	9.6	101	9	11	17	0		9.3	9.6	8.9	15.0	0.0
3	上記以外の知人・友人	146	10.1	111	6	15	13	1		10.2	6.4	12.1	11.5	5.0
4	路上や飲食店等	40	2.8	29	1	5	5	0		2.7	1.1	4.0	4.4	0.0
5	SNSやインターネット	170	11.8	117	12	20	18	3		10.7	12.8	16.1	15.9	15.0
6	接待飲食店・風俗店	93	6.4	60	7	14	10	2		5.5	7.4	11.3	8.8	10.0
7	家庭内における性被害	0	-	0	0	0	0	0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8	売春	8	0.6	5	0	2	1	0		0.5	0.0	1.6	0.9	0.0
9	わからない	680	47.2	553	44	34	36	13		50.7	46.8	27.4	31.9	65.0
10	その他	65	4.5	47	4	11	3	0		4.3	4.3	8.9	2.7	0.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体		%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4				

支援対象者と胎児等の生物学的父親となる相手との出会いの状況については、グループ1は、「わからない」が50.7%（553人）と最も多く、続いて「SNSやインターネット」が10.7%（117人）、「上記以外の知人・友人」が10.2%（111人）であった。グループ2は、「わからない」が46.8%（44人）と最も多く、続いて「SNSやインターネット」が12.8%（12人）、「学校」が11.7%（11人）であった。グループ3は、「わからない」が27.4%（34人）と最も多く、続いて「SNSやインターネット」が16.1%（20人）、「上記以外の知人・友人」が12.1%（15人）であった。グループ4は、「わからない」が31.9%（36人）と最も多く、続いて「SNSやインターネット」が15.9%（18人）、「職場」が15.0%（17人）であった。

Q24 【SA】支援対象者と胎児の生物学的父親となる相手との関係について教えてください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	支配的関係性（支援対象者がパートナーのコントロール下にある状況 例：DV等）にある	212	14.7	182	5	7	15	3		16.7	5.3	5.6	13.3	15.0
2	支配的関係性はない	770	53.4	574	56	71	61	8		52.6	59.6	57.3	54.0	40.0
3	わからない	398	27.6	285	32	43	31	7		26.1	34.0	34.7	27.4	35.0
4	その他	62	4.3	50	1	3	6	2		4.6	1.1	2.4	5.3	10.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体		%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4				

支援対象者と胎児等の生物学的父親となる相手との関係については、グループ1は、「支配的関係性はない」が52.6%（574人）と最も多く、続いて「わからない」が26.1%（285人）、「支配的関係（支援対象者がパートナーのコントロール下にある状況）にある」が16.7%（182人）であった。グループ2は、「支配的関係性はない」が59.6%（56人）と最も多く、続いて「わからない」が34.0%（32人）、「支配的関係（支援対象者がパートナーのコントロール下にある状況）にある」が5.3%（5人）であった。グループ3は、「支配的関係性はない」が57.3%（71人）と最も多く、続いて「わからない」が34.7%（43人）、「支配的関係（支援対象者がパートナーのコントロール下にある状況）にある」が5.6%（7人）であった。グループ4は、「支配的関係性はない」が54.0%（61人）と最も多く、続いて「わからない」が27.4%（31人）、「支配的関係（支援対象者がパートナーのコントロール下にあ

る状況)にある」が13.3%(15人)であった。

Q25 【SA】支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	出産を希望していた	1,013	70.2	883	27	35	60	8		80.9	28.7	28.2	53.1	40.0
2	出産を希望していなかった	141	9.8	72	11	20	29	9		6.6	11.7	16.1	25.7	45.0
3	出産の意向は決まっていなかった	138	9.6	80	19	26	13	0		7.3	20.2	21.0	11.5	0.0
4	わからない	150	10.4	56	37	43	11	3		5.1	39.4	34.7	9.7	15.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援開始時の支援対象者の出産の希望については、グループ1は、「出産を希望していた」が80.9%(883人)と最も多く、続いて「出産の意向は決まっていなかった」が7.3%(80人)、「出産を希望していなかった」が6.6%(72人)であった。グループ2は、「わからない」が39.4%(37人)と最も多く、続いて「出産を希望していた」が28.7%(27人)、「出産の意向は決まっていなかった」が20.2%(19人)であった。グループ3は、「わからない」が34.7%(43人)と最も多く、続いて「出産を希望していた」が28.2%(35人)、「出産の意向は決まっていなかった」が21.0%(26人)であった。グループ4は、「出産を希望していた」が53.1%(60人)と最も多く、続いて「出産を希望していなかった」が25.7%(29人)、「出産の意向は決まっていなかった」が11.5%(13人)であった。

Q26 【SA】支援開始時、支援対象者は、養育を希望していましたか。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	養育を希望していた	1,042	72.3	868	58	56	55	5		79.6	61.7	45.2	48.7	25.0
2	養育を希望していなかった	168	11.7	81	5	40	31	11		7.4	5.3	32.3	27.4	55.0
3	養育の意向は決まっていなかった	161	11.2	99	18	21	21	2		9.1	19.1	16.9	18.6	10.0
4	わからない	70	4.9	42	13	7	6	2		3.8	13.8	5.6	5.3	10.0
	未回答	1	0.1	1	0	0	0	0		0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援開始時の支援対象者の養育の希望については、グループ1は、「養育を希望していた」が79.6%(868人)が最も多く、続いて「養育の意向は決まっていなかった」が9.1%(99人)、「養育を希望していなかった」が7.4%(81人)であった。グループ2は、「養育を希望していた」が61.7%(58人)と最も多く、続いて「養育の意向は決まっていなかった」が19.1%(18人)、「わからない」が13.8%(13人)であった。グループ3は、「養育を希望していた」が45.2%(56人)と最も多く、続いて「養育を希望していなかった」が32.3%(40人)、「養育の意向は決まっていなかった」が16.9%(21人)であった。グループ4は、「養育を希望していた」が48.7%(55人)と最も多く、続いて「養育を希望していなかった」が27.4%(31人)、「養育の意向は決まっていなかった」が18.6%(21人)であった。

Q27 【SA】支援対象者にとって、今回の妊娠は予期していない／計画していない妊娠でしたか。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	予期していない／計画していない妊娠であった	1,026	71.2	731	78	105	96	16		67.0	83.0	84.7	85.0	80.0
2	予期していた／計画していた妊娠であった	205	14.2	186	8	4	6	1		17.0	8.5	3.2	5.3	5.0
3	わからない	211	14.6	174	8	15	11	3		15.9	8.5	12.1	9.7	15.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援対象者にとって、今回の妊娠は予期していない／計画していない妊娠であったかについては、グループ1は、「予期していない／計画していない妊娠であった」が67.0%（731人）と最も多く、続いて「予期していた／計画していた妊娠であった」が17.0%（186人）、「わからない」が15.9%（174人）であった。グループ2は、「予期していない／計画していない妊娠であった」が83.0%（78人）と最も多く、続いて「予期していた／計画していた妊娠であった」と「わからない」が8.5%（8人）と同率であった。グループ3は、「予期していない／計画していない妊娠であった」が84.7%（105人）と最も多く、続いて「わからない」が12.1%（15人）、「予期していた／計画していた妊娠であった」が3.2%（4人）であった。グループ4は、「予期していない／計画していない妊娠であった」が85.0%（96人）と最も多く、続いて「わからない」が9.7%（11人）、「予期していた／計画していた妊娠であった」が5.3%（6人）であった。

Q28 【SA・Q27で「2」、「3」を選択した方】支援対象者に「妊娠に至るプロセスに関する知識や避妊の知識」があれば、貴機関で支援が必要な状態になることを防げたと思いますか。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	そう思う	237	19.2	153	23	29	27	5		16.9	26.7	24.2	25.2	26.3
2	そう思わない	606	49.0	457	40	47	58	4		50.5	46.5	39.2	54.2	21.1
3	わからない	391	31.6	293	23	43	22	10		32.4	26.7	35.8	20.6	52.6
	未回答	3	0.2	2	0	1	0	0		0.2	0.0	0.8	0.0	0.0
	全体	1,237	100.0	905	86	120	107	19		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	73.2	7.0	9.7	8.6	1.5					

支援対象者に「妊娠に至るプロセスに関する知識や避妊の知識」があれば、貴機関で支援が必要な状態になることを防げたと思うかについては、グループ1は、「そう思わない」が50.5%（457人）と最も多く、続いて「わからない」が32.4%（293人）、「そう思う」が16.9%（153人）であった。グループ2は、「そう思わない」が46.5%（40人）と最も多く、続いて「そう思う」と「わからない」が26.7%（23人）と同率であった。グループ3は、「そう思わない」が39.2%（47人）と最も多く、続いて「わからない」が35.8%（43人）、「そう思う」が24.2%（29人）であった。グループ4は、「そう思わない」が54.2%（58人）と最も多く、続いて「そう思う」が25.2%（27人）、「わからない」が20.6%（22人）であった。

Q29 【SA・Q27で「2」、「3」を選択した方】支援対象者が人権に関する意識（性行為や妊娠、出産に関連する同意の尊重、選択の自由）を認識する機会があれば、貴機関で支援が必要な状態になることを防げたと思いますか。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	そう思う	199	16.1	142	15	22	17	3		15.7	17.4	18.3	15.9	15.8
2	そう思わない	592	47.9	440	37	46	67	2		48.6	43.0	38.3	62.6	10.5
3	わからない	443	35.8	321	34	51	23	14		35.5	39.5	42.5	21.5	73.7
	未回答	3	0.2	2	0	1	0	0		0.2	0.0	0.8	0.0	0.0
	全体	1,237	100.0	905	86	120	107	19		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	73.2	7.0	9.7	8.6	1.5					

支援対象者が人権に関する意識（性行為や妊娠、出産に関連する同意の尊重、選択の自由）を認識する機会があれば、貴機関で支援が必要な状態になることを防げたと思うかについては、グループ1は、「そう思わない」が48.6%（440人）と最も多く、続いて「わからない」が35.5%（321人）、「そう思う」が15.7%（142人）であった。グループ2は、「そう思わない」が43.0%（37人）と最も多く、続いて「わからない」が39.5%（34人）、「そう思う」が17.4%（15人）であった。グループ3は、「わからない」が42.5%（51人）と最も多く、続いて「そう思わない」が38.3%（46人）、「そう思う」が18.3%（22人）であった。グループ4は、「そう思わない」が62.6%（67人）と最も多く、続いて「わからない」が21.5%（23人）、「そう思う」が15.9%（17人）であった。

Q30 【SA】支援開始時、支援対象者は今回の妊娠において何らかの不安を抱えていましたか。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	不安を感じていた	937	65.0	716	43	63	99	16		65.6	45.7	50.8	87.6	80.0
2	不安は特に感じていなかった	341	23.6	299	14	19	7	2		27.4	14.9	15.3	6.2	10.0
3	わからない	164	11.4	76	37	42	7	2		7.0	39.4	33.9	6.2	10.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援開始時、支援対象者は今回の妊娠において何らかの不安を抱えていたかについては、グループ1は、「不安を感じていた」が65.6%（716人）と最も多く、続いて「不安は特に感じていなかった」が27.4%（299人）、「わからない」が7.0%（76人）であった。グループ2は、「不安を感じていた」が45.7%（43人）と最も多く、続いて「わからない」が39.4%（37人）、「不安は特に感じていなかった」が14.9%（14人）であった。グループ3は、「不安を感じていた」が50.8%（63人）と最も多く、続いて「わからない」が33.9%（42人）、「不安は特に感じていなかった」が15.3%（19人）であった。グループ4は、「不安を感じていた」が87.6%（99人）と最も多く、続いて「不安は特に感じていなかった」と「わからない」が6.2%（7人）と同率であった。

Q31 【SA】支援開始時、支援対象者は自身の支援の必要性を感じていましたか。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	支援の必要性を感じていた	676	46.9	473	30	58	100	15		43.4	31.9	46.8	88.5	75.0
2	支援の必要性を感じていなかった	398	27.6	339	29	22	7	1		31.1	30.9	17.7	6.2	5.0
3	どちらともいえない	368	25.5	279	35	44	6	4		25.6	37.2	35.5	5.3	20.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援開始時、支援対象者は自身の支援の必要性を感じていたかについては、グループ1は、「支援の必要性を感じていた」が43.4%（473人）と最も多く、続いて「支援の必要性を感じていなかった」が31.1%（339人）、「どちらともいえない」が25.6%（279人）であった。グループ2は、「どちらともいえない」が37.2%（35人）と最も多く、続いて「支援の必要性を感じていた」が31.9%（30人）、「支援の必要性を感じていなかった」が30.9%（29人）であった。グループ3は、「支援の必要性を感じていた」が46.8%（58人）と最も多く、続いて「どちらともいえない」が35.5%（44人）、「支援の必要性を感じていなかった」が17.7%（22人）であった。グループ4は、「支援の必要性を感じていた」が88.5%（100人）と最も多く、続いて「支援の必要性を感じていなかった」が6.2%（7人）、「どちらともいえない」が5.3%（6人）であった。

Q32 【SA】支援開始時、支援対象者は自立（経済的・生活的）に向けた取り組みをする意欲はありましたか。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	自立（経済的・生活的）の意欲が高い	447	31.0	323	32	45	44	3		29.6	34.0	36.3	38.9	15.0
2	自立（経済的・生活的）の意欲が低い	431	29.9	341	25	25	33	7		31.3	26.6	20.2	29.2	35.0
3	どちらともいえない	515	35.7	393	36	47	30	9		36.0	38.3	37.9	26.5	45.0
4	その他	49	3.4	34	1	7	6	1		3.1	1.1	5.6	5.3	5.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援開始時、支援対象者は自立（経済的・生活的）に向けた取り組みをする意欲はあったかについては、グループ1は、「どちらともいえない」が36.0%（393人）と最も多く、続いて「自立（経済的・生活的）の意欲が低い」が31.3%（341人）、「自立（経済的・生活的）の意欲が高い」が29.6%（323人）であった。グループ2は、「どちらともいえない」が38.3%（36人）と最も多く、続いて「自立（経済的・生活的）の意欲が高い」が34.0%（32人）、「自立（経済的・生活的）の意欲が低い」が26.6%（25人）であった。グループ3は、「どちらともいえない」が37.9%（47人）と最も多く、続いて「自立（経済的・生活的）の意欲が高い」が36.3%（45人）、「自立（経済的・生活的）の意欲が低い」が20.2%（25人）であった。グループ4は、「自立（経済的・生活的）の意欲が高い」が38.9%（44人）と最も多く、続いて「自立（経済的・生活的）の意欲が低い」が29.2%（33人）、「どちらともいえない」が26.5%（30人）であった。

Q33 【SA】支援対象者に経済面での計画性がみられましたか。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	計画性がみられる	269	18.7	203	21	23	20	2		18.6	22.3	18.5	17.7	10.0
2	計画性が欠如している	809	56.1	620	51	66	63	9		56.8	54.3	53.2	55.8	45.0
3	わからない	364	25.2	268	22	35	30	9		24.6	23.4	28.2	26.5	45.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援対象者に経済面での計画性が見られたかについては、グループ1は、「計画性が欠如している」が56.8%（620人）と最も多く、続いて「わからない」が24.6%（268人）、「計画性がみられる」が18.6%（203人）であった。グループ2は、「計画性が欠如している」が54.3%（51人）と最も多く、続いて「わからない」が23.4%（22人）、「計画性がみられる」が22.3%（21人）であった。グループ3は、「計画性が欠如している」が53.2%（66人）と最も多く、続いて「わからない」が28.2%（35人）、「計画性がみられる」が18.5%（23人）であった。グループ4は、「計画性が欠如している」が55.8%（63人）と最も多く、続いて「わからない」が26.5%（30人）、「計画性がみられる」が17.7%（20人）であった。

Q34 【SA】貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	通院・治療中である	326	22.6	275	11	16	22	2		25.2	11.7	12.9	19.5	10.0
2	通院・治療が必要だが、未受診である	130	9.0	101	2	10	14	3		9.3	2.1	8.1	12.4	15.0
3	通院・治療の必要性について判断がつかない	145	10.1	100	11	21	12	1		9.2	11.7	16.9	10.6	5.0
4	通院・治療の必要はない	653	45.3	495	57	59	40	2		45.4	60.6	47.6	35.4	10.0
5	わからない	146	10.1	89	10	14	22	11		8.2	10.6	11.3	19.5	55.0
6	その他	42	2.9	31	3	4	3	1		2.8	3.2	3.2	2.7	5.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

回答があった機関における支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況については、グループ1は、「通院・治療の必要はない」が45.4%（495人）と最も多く、続いて「通院・治療中である」が25.2%（275人）、「通院・治療が必要だが、未受診である」が9.3%（101人）であった。グループ2は、「通院・治療の必要はない」が60.6%（57人）と最も多く、続いて「通院・治療中である」と「通院・治療の必要性について判断がつかない」が11.7%（11人）と同率であった。グループ3は、「通院・治療の必要はない」が47.6%（59人）と最も多く、続いて「通院・治療の必要性について判断がつかない」が16.9%（21人）、「通院・治療中である」が12.9%（16人）であった。グループ4は、「通院・治療の必要はない」が35.4%（40人）と最も多く、続いて「通院・治療中である」と「わからない」が19.5%（22人）と同率であった。

Q35 【SA】支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について教えてください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	知的障害（精神遅滞）の診断を受けている	147	10.2	127	5	4	11	0		11.6	5.3	3.2	9.7	0.0
2	知的障害（精神遅滞）の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）	229	15.9	174	19	20	14	2		15.9	20.2	16.1	12.4	10.0
3	知的障害（精神遅滞）の特性は見受けられない	809	56.1	603	55	80	65	6		55.3	58.5	64.5	57.5	30.0
4	わからない	257	17.8	187	15	20	23	12		17.1	16.0	16.1	20.4	60.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性については、グループ1は、「知的障害（精神遅滞）の特性は見受けられない」が 55.3%（603 人）と最も多く、続いて「わからない」が 17.1%（187 人）、「知的障害（精神遅滞）の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）」が 15.9%（174 人）であった。グループ2は、「知的障害（精神遅滞）の特性は見受けられない」が 58.5%（55 人）と最も多く、続いて「知的障害（精神遅滞）の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）」が 20.2%（19 人）、「わからない」が 16.0%（15 人）であった。グループ3は、「知的障害（精神遅滞）の特性は見受けられない」が 64.5%（80 人）と最も多く、続いて「知的障害（精神遅滞）の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）」と「わからない」が 16.1%（20 人）と同率であった。グループ4は、「知的障害（精神遅滞）の特性は見受けられない」が 57.5%（65 人）と最も多く、続いて「わからない」が 20.4%（23 人）、「知的障害（精神遅滞）の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）」が 12.4%（14 人）であった。

Q36 【SA】支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について教えてください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	発達障害の診断を受けている	90	6.2	77	2	1	10	0		7.1	2.1	0.8	8.8	0.0
2	発達障害の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）	301	20.9	225	26	22	26	2		20.6	27.7	17.7	23.0	10.0
3	発達障害の特性は見受けられない	635	44.0	475	40	68	47	5		43.5	42.6	54.8	41.6	25.0
4	わからない	416	28.8	314	26	33	30	13		28.8	27.7	26.6	26.5	65.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援対象者の発達障害の特性については、グループ1は、「発達障害の特性は見受けられない」が 43.5%（475 人）と最も多く、続いて「わからない」が 28.8%（314 人）、「発達障害の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）」が 20.6%（225 人）であった。グループ2は、「発達障害の特性は見受けられない」が 42.6%（40 人）と最も多く、続いて「発達障害の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）」と「わからない」が 27.7%（26 人）と同率であった。グループ3は、「発達障害の特性は見受けられない」が 54.8%（68 人）と最も多く、続いて「わからない」が 26.6%（33 人）、「発達障害の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）」が 17.7%（22 人）であった。グループ4は、「発達障害の特性は見受けられない」が 41.6%（47 人）と最も多く、続いて「わからない」が 26.5%（30 人）、「発達障害の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）」が 23.0%（26 人）であった。

Q37 【MA】支援対象者の日常生活の状況について教えてください。傾向がみられたものをすべてお選びください。

		N	%	G1 (n=1,091) n	G2 (n=94) n	G3 (n=124) n	G4 (n=113) n	わから ない (n=20) n		G1 (n=887) %	G2 (n=75) %	G3 (n=94) %	G4 (n=89) %	わから ない (n=16) %
1	時間を守れない、約束を忘れがちである	364	25.2	298	20	23	21	2		33.6	26.7	24.5	23.6	12.5
2	落ち着きがない	83	5.8	65	6	1	11	0		7.3	8.0	1.1	12.4	0.0
3	申請書の記入時、誤字・脱字・文字の大きさが著しくちがうことや、未記入などがある	210	14.6	179	8	10	13	0		20.2	10.7	10.6	14.6	0.0
4	同時に複数の情報を処理することが困難である	422	29.3	344	22	28	25	3		38.8	29.3	29.8	28.1	18.8
5	相手の話の内容がつかめず、うまく伝えることができない	322	22.3	264	15	24	18	1		29.8	20.0	25.5	20.2	6.3
6	複雑な言葉を使ったり、理解することができない	353	24.5	293	16	25	17	2		33.0	21.3	26.6	19.1	12.5
7	コミュニケーションをとることがむずかしい（一方的に話をしたり、言われた言葉を繰り返すなど）	188	13.0	148	13	9	16	2		16.7	17.3	9.6	18.0	12.5
8	事実と異なる言動（虚偽、ごまかし等）がしばしばある	334	23.2	268	24	16	23	3		30.2	32.0	17.0	25.8	18.8
9	他の人との関わりをもつことが苦手である（人を避けるなど）	402	27.9	323	20	30	25	4		36.4	26.7	31.9	28.1	25.0
10	時間や場所などにこだわりを持ち、変更を嫌う	43	3.0	34	0	1	6	2		3.8	0.0	1.1	6.7	12.5
11	片づけるのが苦手である	274	19.0	224	18	10	19	3		25.3	24.0	10.6	21.3	18.8
12	入浴や着替えなど清潔を保つことが苦手である	133	9.2	111	7	3	10	2		12.5	9.3	3.2	11.2	12.5
13	不安が強く、日常生活に支障をきたす	166	11.5	133	8	14	10	1		15.0	10.7	14.9	11.2	6.3
14	意欲が低下し、こどもの面倒をみることができない	168	11.7	136	8	13	10	1		15.3	10.7	13.8	11.2	6.3
15	わからない	109	7.6	60	9	9	21	10		6.8	12.0	9.6	23.6	62.5
16	その他の傾向	207	14.4	161	12	14	20	0		18.2	16.0	14.9	22.5	0.0
17	あてはまるものはない	281	19.5	204	19	30	24	4		-	-	-	-	-
	全体	1,442	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-

支援対象者の日常生活の状況について「あてはまるものはない」を除く選択肢の回答割合では、グループ1は、「同時に複数の情報を処理することが困難である」が38.8%（344人）と最も多く、続いて「他の人と関わりをもつことが苦手である（人を避けるなど）」が36.4%（323人）、「時間を守れない、約束を忘れがちである」が33.6%（298人）であった。グループ2は、「事実と異なる言動（虚偽、ごまかし等）がしばしばある」が32.0%（24人）と最も多く、続いて「同時に複数の情報を処理することが困難である」が29.3%（22人）、「時間を守れない、約束を忘れがちである」と「他の人と関わりをもつことが苦手である（人を避けるなど）」が26.7%（20人）と同率であった。グループ3は、「他の人と関わりをもつことが苦手である（人を避けるなど）」が31.9%（30人）と最も多く、続いて「同時に複数の情報を処理することが困難である」が29.8%（28人）、「複雑な言葉を使ったり、理解することができない」が26.6%（25人）であった。グループ4は、「同時に複数の情報を処理することが困難である」と「他の人と関わりをもつことが苦手である（人を避けるなど）」が28.1%（25人）と同率で最も多く、続いて「事実と異なる言動（虚偽、ごまかし等）がしばしばある」が25.8%（23人）であった。

Q38 【MA】依存症の傾向がみられたものをすべてお選びください。

		N	%	G1 (n=1,091) n	G2 (n=94) n	G3 (n=124) n	G4 (n=113) n	わから ない (n=20) n		G1 (n=535) %	G2 (n=42) %	G3 (n=53) %	G4 (n=67) %	わから ない (n=16) %
1	違法薬物依存（大麻・覚せい剤等）	6	0.4	5	0	0	1	0		0.9	0.0	0.0	1.5	0.0
2	合法薬物依存（アルコール・処方薬・ニコチン等）	73	5.1	59	5	3	6	0		11.0	11.9	5.7	9.0	0.0
3	行為依存（ギャンブル、セックス等）	44	3.1	37	2	0	5	0		6.9	4.8	0.0	7.5	0.0
4	人間関係依存（恋愛依存、共依存、不特定多数の相手等）	230	16.0	178	12	14	26	0		33.3	28.6	26.4	38.8	0.0
5	わからない	398	27.6	287	25	35	36	15		53.6	59.5	66.0	53.7	93.8
6	その他	23	1.6	17	0	1	4	1		3.2	0.0	1.9	6.0	6.3
7	依存症の傾向は見受けられない	729	50.6	556	52	71	46	4		-	-	-	-	-
	全体	1,442	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-

支援対象者の依存症の傾向について「依存症の傾向は見受けられない」を除く選択肢の回答割合では、グループ1は、「わからない」が53.6%（287人）と最も多く、続いて「人間関係依存（恋愛依存、共依存、不特定多数の相手等）」が33.3%（178人）、「合法薬物依存（アルコール・処方薬・ニコチン等）」が11.0%（59人）であった。グループ2は、「わからない」が59.5%（25人）と最も多く、続いて「人間関係依存（恋愛依存、共依存、不特定多数の相手等）」が28.6%（12人）、「合法薬物依存（アルコール・処方薬・ニコチン等）」が11.9%（5人）であった。グループ3は、「わからない」が66.0%（35人）と最も多く、続いて「人間関係依存（恋愛依存、共依存、不特定多数の相手等）」が26.4%（14人）、「合法薬物依存（アルコール・処方薬・ニコチン等）」が5.7%（3人）であった。グループ4は、「わからない」が53.7%（36人）と最も多く、続いて「人間関係依存（恋愛依存、共依存、不特定多数の相手等）」が38.8%（26人）、「合法薬物依存（アルコール・処方薬・ニコチン等）」が9.0%（6人）であった。

Q39 【MA】支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。

		N	%	G1 (n=1,091) n	G2 (n=94) n	G3 (n=124) n	G4 (n=113) n	わから ない (n=20) n		G1 (n=1,030) %	G2 (n=87) %	G3 (n=100) %	G4 (n=105) %	わから ない (n=20) %
1	身体的虐待	215	14.9	167	4	11	27	6		16.2	4.6	11.0	25.7	30.0
2	心理的虐待	252	17.5	193	4	18	31	6		18.7	4.6	18.0	29.5	30.0
3	性的虐待	41	2.8	29	1	5	6	0		2.8	1.1	5.0	5.7	0.0
4	ネグレクト	236	16.4	186	5	13	30	2		18.1	5.7	13.0	28.6	10.0
5	親の離婚・別居	443	30.7	337	19	37	45	5		32.7	21.8	37.0	42.9	25.0
6	親との死別	46	3.2	41	0	0	3	2		4.0	0.0	0.0	2.9	10.0
7	両親の間にDVがあった	85	5.9	60	3	10	10	2		5.8	3.4	10.0	9.5	10.0
8	家族のアルコール・薬物乱用	43	3.0	35	1	1	6	0		3.4	1.1	1.0	5.7	0.0
9	家族の精神疾患・自殺（未遂を含む）	112	7.8	88	4	6	13	1		8.5	4.6	6.0	12.4	5.0
10	家族の服役	14	1.0	11	1	1	1	0		1.1	1.1	1.0	1.0	0.0
11	親からの過干渉	86	6.0	64	5	6	10	1		6.2	5.7	6.0	9.5	5.0
12	学校や職場等でのいじめ・孤立・孤独	135	9.4	97	2	20	13	3		9.4	2.3	20.0	12.4	15.0
13	震災経験	6	0.4	4	2	0	0	0		0.4	2.3	0.0	0.0	0.0
14	経済困窮	174	12.1	140	2	9	21	2		13.6	2.3	9.0	20.0	10.0
15	わからない	529	36.7	406	48	32	33	10		39.4	55.2	32.0	31.4	50.0
16	その他	96	6.7	74	5	6	11	0		7.2	5.7	6.0	10.5	0.0
17	幼少期における逆境体験はない	100	6.9	61	7	24	8	0		-	-	-	-	-
	全体	1,442	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-

支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはあったかについて「幼少期における逆境体験はない」を除く選択肢の回答割合では、グループ1は、「わからない」が39.4%（406人）と最も多く、続いて「親の離婚・別居」が32.7%（337人）、「心理的虐待」が18.7%（193人）であった。グループ2は、「わからない」が55.2%（48人）と最も多く、続いて「親の離婚・別居」が21.8%（19人）、「ネグレクト」と「親からの過干渉」が5.7%（5人）と同率であった。グループ3は、「親の離婚・別居」が37.0%（37人）と最も多く、続いて「わからない」が32.0%（32人）、「学校や職場等でのいじめ・孤立・孤独」が20.0%（20人）であった。グループ4は、「親の離婚・別居」が42.9%（45人）と最も多く、続いて「わからない」が31.4%（33人）、「心理的虐待」が29.5%（31人）であった。

Q40 【MA】支援対象者の主な養育環境について教えてください。

		N	%	G1 (n=1,091) n	G2 (n=94) n	G3 (n=124) n	G4 (n=113) n	わから ない (n=20) n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	実親	1,213	84.1	921	83	109	86	14		84.4	88.3	87.9	76.1	70.0
2	里親	7	0.5	2	1	2	1	1		0.2	1.1	1.6	0.9	5.0
3	養子縁組	9	0.6	7	1	0	1	0		0.6	1.1	0.0	0.9	0.0
4	親族宅	64	4.4	43	5	7	9	0		3.9	5.3	5.6	8.0	0.0
5	知人友人宅	3	0.2	3	0	0	0	0		0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
6	ファミリーホーム	0	-	0	0	0	0	0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7	乳児院	9	0.6	3	0	4	2	0		0.3	0.0	3.2	1.8	0.0
8	児童養護施設	64	4.4	47	3	3	9	2		4.3	3.2	2.4	8.0	10.0
9	児童心理治療施設	5	0.3	3	0	1	1	0		0.3	0.0	0.8	0.9	0.0
10	児童自立支援施設	10	0.7	6	0	2	2	0		0.5	0.0	1.6	1.8	0.0
11	母子生活支援施設	7	0.5	6	0	0	0	1		0.5	0.0	0.0	0.0	5.0
12	自立援助ホーム	6	0.4	1	0	2	3	0		0.1	0.0	1.6	2.7	0.0
13	わからない	116	8.0	90	7	4	12	3		8.2	7.4	3.2	10.6	15.0
14	その他	27	1.9	23	0	0	4	0		2.1	0.0	0.0	3.5	0.0
	全体	1,442	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-

支援対象者の主な養育環境については、グループ1は、「実親」が84.4%（921人）、グループ2は、「実親」が88.3%（83人）、グループ3は、「実親」が87.9%（109人）、グループ4は、「実親」が76.1%（86人）であった。

Q41 【SA】支援対象者の生活（家事・育児・その他生活に関する相談）に関する協力者はいますか。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	協力者がおり、十分な協力が得られる	489	33.9	361	57	47	21	3		33.1	60.6	37.9	18.6	15.0
2	協力者はいるが、十分な協力は得られない	736	51.0	589	33	45	61	8		54.0	35.1	36.3	54.0	40.0
3	協力者はいない	176	12.2	116	3	27	24	6		10.6	3.2	21.8	21.2	30.0
4	わからない	41	2.8	25	1	5	7	3		2.3	1.1	4.0	6.2	15.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援対象者の生活（家事・育児・その他生活に関する相談）に関する協力者はいるかについては、グループ1は、「協力者はいるが、十分な協力は得られない」が54.0%（589人）と最も多く、続いて「協力者がおり、十分な協力が得られる」が33.1%（361人）、「協力者はいない」が10.6%（116人）であった。グループ2は、「協力者がおり、十分な協力が得られる」が60.6%（57人）と最も多く、続いて「協力者はいるが、十分な協力は得られない」が35.1%（33人）、「協力者はいない」が3.2%（3人）であった。グループ3は、「協力者がおり、十分な協力が得られる」が37.9%（47人）と最も多く、続いて「協力者はいるが、十分な協力は得られない」が36.3%（45人）、「協力者はいない」が21.8%（27人）であった。グループ4は、「協力者はいるが、十分な協力は得られない」が54.0%（61人）と最も多く、続いて「協力者はいない」が21.2%（24人）、「協力者がおり、十分な協力が得られる」が18.6%（21人）であった。

Q42 【MA・Q41で「1」を選択した方】支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。

		N	%	G1 (n=361) n	G2 (n=57) n	G3 (n=47) n	G4 (n=21) n	わから ない (n=3) n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	配偶者・パートナー	254	51.9	201	28	14	10	1		55.7	49.1	29.8	47.6	33.3
2	子ども	21	4.3	17	3	1	0	0		4.7	5.3	2.1	0.0	0.0
3	実父	138	28.2	89	24	18	6	1		24.7	42.1	38.3	28.6	33.3
4	実母	330	67.5	244	39	31	13	3		67.6	68.4	66.0	61.9	100.0
5	兄弟姉妹	120	24.5	83	19	14	3	1		23.0	33.3	29.8	14.3	33.3
6	養父	8	1.6	7	1	0	0	0		1.9	1.8	0.0	0.0	0.0
7	養母	6	1.2	6	0	0	0	0		1.7	0.0	0.0	0.0	0.0
8	継父	8	1.6	3	2	2	0	1		0.8	3.5	4.3	0.0	33.3
9	継母	1	0.2	1	0	0	0	0		0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
10	義父	32	6.5	28	2	2	0	0		7.8	3.5	4.3	0.0	0.0
11	義母	59	12.1	47	6	5	1	0		13.0	10.5	10.6	4.8	0.0
12	祖父	26	5.3	17	4	5	0	0		4.7	7.0	10.6	0.0	0.0
13	祖母	53	10.8	34	10	8	1	0		9.4	17.5	17.0	4.8	0.0
14	里親	0	-	0	0	0	0	0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
15	友人	29	5.9	19	8	1	1	0		5.3	14.0	2.1	4.8	0.0
16	児童福祉施設の職員等	7	1.4	6	0	1	0	0		1.7	0.0	2.1	0.0	0.0
17	近隣住民	0	-	0	0	0	0	0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18	わからない	1	0.2	1	0	0	0	0		0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
19	その他	27	5.5	20	4	3	0	0		5.5	7.0	6.4	0.0	0.0
	全体	489	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-

支援対象者の生活（家事・育児・その他生活に関する相談）に関する協力者はいるかについて、「協力者がおり、十分な協力が得られる」と回答した方における支援対象者の生活（家事等）に関する協力者については、グループ1は、「実母」が67.6%（244人）と最も多く、続いて「配偶者・パートナー」が55.7%（201人）、「実父」が24.7%（89人）であった。グループ2は、「実母」が68.4%（39人）と最も多く、続いて「配偶者・パートナー」が49.1%（28人）、「実父」が42.1%（24人）であった。グループ3は、「実母」が66.0%（31人）と最も多く、続いて「実父」が38.3%（18人）、「配偶者・パートナー」が29.8%（14人）であった。グループ4は、「実母」が61.9%（13人）と最も多く、続いて「配偶者・パートナー」が47.6%（10人）、「実父」が28.6%（6人）であった。

Q43 【SA】支援対象者の周囲で、支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる人はいますか。「いいえ」の場合、支援者からみて相談できる人がいるにもかかわらず、支援対象者が援助希求行動をできていないことが要因であると思いますか。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	はい	829	57.5	672	54	50	44	9		61.6	57.4	40.3	38.9	45.0
2	いいえ（支援対象者が援助希求行動ができていない）	217	15.0	142	19	29	23	4		13.0	20.2	23.4	20.4	20.0
3	いいえ（そもそも周囲に援助希求の対象となる人がいない）	138	9.6	95	3	14	25	1		8.7	3.2	11.3	22.1	5.0
4	わからない	258	17.9	182	18	31	21	6		16.7	19.1	25.0	18.6	30.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体 %	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4						

支援対象者の周囲で、支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる人はいるかについては、グループ1は、「はい」が 61.6%（672 人）と最も多く、続いて「わからない」が 16.7%（182 人）、「いいえ（支援対象者が援助希求行動をできていない）」が 13.0%（142 人）であった。グループ2は、「はい」が 57.4%（54 人）と最も多く、続いて「いいえ（支援対象者が援助希求行動をできていない）」が 20.2%（19 人）、「わからない」が 19.1%（18 人）であった。グループ3は、「はい」が 40.3%（50 人）と最も多く、続いて「わからない」が 25.0%（31 人）、「いいえ（支援対象者が援助希求行動をできていない）」が 23.4%（29 人）であった。グループ4は、「はい」が 38.9%（44 人）と最も多く、続いて「いいえ（そもそも周囲に援助希求の対象となる人がいない）」が 22.1%（25 人）、「いいえ（支援対象者が援助希求行動をできていない）」が 20.4%（23 人）であった。

Q44 【MA・Q43で「1」を選択した方】支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。

		N	%	G1 (n=672) n	G2 (n=54) n	G3 (n=50) n	G4 (n=44) n	わから ない (n=9) n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	配偶者・パートナー	418	50.4	346	26	23	20	3		51.5	48.1	46.0	45.5	33.3
2	子ども	14	1.7	12	0	2	0	0		1.8	0.0	4.0	0.0	0.0
3	実父	105	12.7	70	15	13	6	1		10.4	27.8	26.0	13.6	11.1
4	実母	410	49.5	334	31	24	18	3		49.7	57.4	48.0	40.9	33.3
5	兄弟姉妹	177	21.4	144	16	6	10	1		21.4	29.6	12.0	22.7	11.1
6	養父	3	0.4	3	0	0	0	0		0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
7	養母	7	0.8	7	0	0	0	0		1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8	継父	5	0.6	2	1	1	0	1		0.3	1.9	2.0	0.0	11.1
9	継母	2	0.2	2	0	0	0	0		0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
10	義父	14	1.7	11	2	1	0	0		1.6	3.7	2.0	0.0	0.0
11	義母	29	3.5	23	2	2	2	0		3.4	3.7	4.0	4.5	0.0
12	祖父	13	1.6	10	1	2	0	0		1.5	1.9	4.0	0.0	0.0
13	祖母	40	4.8	28	4	3	5	0		4.2	7.4	6.0	11.4	0.0
14	里親	1	0.1	1	0	0	0	0		0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
15	友人	230	27.7	187	16	13	13	1		27.8	29.6	26.0	29.5	11.1
16	児童福祉施設の職員等	46	5.5	40	1	1	3	1		6.0	1.9	2.0	6.8	11.1
17	近隣住民	7	0.8	7	0	0	0	0		1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18	支援対象者の職場関係者	27	3.3	21	2	2	2	0		3.1	3.7	4.0	4.5	0.0
19	役所などの行政の支援者	255	30.8	223	9	9	14	0		33.2	16.7	18.0	31.8	0.0
20	助産師・小児科医・産婦人科 などの医療関係者	93	11.2	75	5	5	7	1		11.2	9.3	10.0	15.9	11.1
21	民間サービスの支援者	47	5.7	36	2	0	8	1		5.4	3.7	0.0	18.2	11.1
22	わからない	9	1.1	7	1	1	0	0		1.0	1.9	2.0	0.0	0.0
23	その他	74	8.9	59	4	6	5	0		8.8	7.4	12.0	11.4	0.0
	全体	829	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-

支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手については、グループ1は、「配偶者・パートナー」が51.5%（346人）と最も多く、続いて「実母」が49.7%（334人）、「役所などの行政の支援者」が33.2%（223人）であった。グループ2は、「実母」が57.4%（31人）と最も多く、続いて「配偶者・パートナー」が48.1%（26人）、「兄弟姉妹」と「友人」が29.6%（16人）の同率であった。グループ3は、「実母」が48.0%（24人）と最も多く、続いて「配偶者・パートナー」が46.0%（23人）、「実父」と「友人」が26.0%（13人）と同率であった。グループ4は、「配偶者・パートナー」が45.5%（20人）と最も多く、続いて「実母」が40.9%（18人）、「役所などの行政の支援者」が31.8%（14人）であった。

Q45 【SA】支援対象者は配偶者またはパートナーに何でも打ち明けることができますか。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	はい	395	27.4	334	21	13	23	4		30.6	22.3	10.5	20.4	20.0
2	いいえ	351	24.3	276	22	28	21	4		25.3	23.4	22.6	18.6	20.0
3	相談できる配偶者・パートナーはいない	322	22.3	192	25	46	50	9		17.6	26.6	37.1	44.2	45.0
4	わからない	374	25.9	289	26	37	19	3		26.5	27.7	29.8	16.8	15.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援対象者は配偶者またはパートナーに何でも打ち明けることができるかについては、グループ1は、「はい」が30.6%（334人）と最も多く、続いて「わからない」が26.5%（289人）、「いいえ」が25.3%（276人）であった。グループ2は、「わからない」が27.7%（26人）と最も多く、続いて「相談できる配偶者・パートナーはいない」が26.6%（25人）、「いいえ」が23.4%（22人）であった。グループ3は、「相談できる配偶者・パートナーはいない」が37.1%（46人）と最も多く、続いて「わからない」が29.8%（37人）、「いいえ」が22.6%（28人）であった。グループ4は、「相談できる配偶者・パートナーはいない」が44.2%（50人）と最も多く、続いて「はい」が20.4%（23人）、「いいえ」が18.6%（21人）であった。

Q46 【SA】支援対象者は家族・親族（実母・実父・祖父母等）に何でも打ち明けることができますか。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	はい	375	26.0	305	30	21	16	3		28.0	31.9	16.9	14.2	15.0
2	いいえ	562	39.0	393	29	66	62	12		36.0	30.9	53.2	54.9	60.0
3	相談できる家族・親族（実母・実父・祖父母等）はいない	86	6.0	66	3	4	12	1		6.0	3.2	3.2	10.6	5.0
4	わからない	419	29.1	327	32	33	23	4		30.0	34.0	26.6	20.4	20.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援対象者は家族・親族（実母・実父・祖父母等）に何でも打ち明けることができるかについては、グループ1は、「いいえ」が36.0%（393人）と最も多く、続いて「わからない」が30.0%（327人）、「はい」が28.0%（305人）であった。グループ2は、「わからない」が34.0%（32人）と最も多く、続いて「はい」が31.9%（30人）、「いいえ」が30.9%（29人）であった。グループ3は、「いいえ」が53.2%（66人）と最も多く、続いて「わからない」が26.6%（33人）、「はい」が16.9%（21人）であった。グループ4は、「いいえ」が54.9%（62人）と最も多く、続いて「わからない」が20.4%（23人）、「はい」が14.2%（16人）であった。

Q47 【SA】支援対象者が支援を受けるにあたって、「最初に」接点をもった機関を1つお選びください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	貴機関へ直接の相談	240	16.6	171	8	3	51	7		15.7	8.5	2.4	45.1	35.0
2	予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）	30	2.1	18	0	2	10	0		1.6	0.0	1.6	8.8	0.0
3	妊産婦等生活援助事業（「予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）」を除く）」	1	0.1	1	0	0	0	0		0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
4	性と健康の相談センター	1	0.1	1	0	0	0	0		0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
5	市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む）	593	41.1	557	14	5	12	5		51.1	14.9	4.0	10.6	25.0
6	市区町村の所管する児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会調整機関、こども家庭センター子ども家庭総合支援拠点を含む）	89	6.2	72	0	9	7	1		6.6	0.0	7.3	6.2	5.0
7	児童相談所	35	2.4	25	3	6	1	0		2.3	3.2	4.8	0.9	0.0
8	行政機関	58	4.0	43	2	6	6	1		3.9	2.1	4.8	5.3	5.0
9	医療機関への相談	269	18.7	139	47	63	18	2		12.7	50.0	50.8	15.9	10.0
10	民間支援機関への相談	33	2.3	19	2	5	5	2		1.7	2.1	4.0	4.4	10.0
11	わからない・不明	13	0.9	7	4	1	0	1		0.6	4.3	0.8	0.0	5.0
12	その他	80	5.5	38	14	24	3	1		3.5	14.9	19.4	2.7	5.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援対象者が支援を受けるにあたって、最初に接点をもった機関については、グループ1は、「市区町村の所管する保健センター（「予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）を除く）」が51.1%（557人）と最も多く、続いて「貴機関への直接の相談」が15.7%（171人）、「医療機関への相談」が12.7%（139人）であった。グループ2は、「医療機関への相談」が50.0%（47人）と最も多く、続いて「市区町村の所管する保健センター（「予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）を除く）」が14.9%（14人）、「貴機関への直接の相談」が8.5%（8人）であった。グループ3は、「医療機関への相談」が50.8%（63人）と最も多く、続いて「市区町村の所管する児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会調整機関、こども家庭センター子ども家庭総合支援拠点を含む）」が7.3%（9人）、「児童相談所」、「行政機関」が4.8%（6人）であった。グループ4は、「貴機関への直接の相談」が45.1%（51人）と最も多く、続いて「医療機関への相談」が15.9%（18人）、「市区町村の所管する児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会調整機関、こども家庭センター子ども家庭総合支援拠点を含む）」が10.6%（12人）であった。

Q48_1 【MA】支援対象者が最初に「貴機関・行政・支援団体など」に相談等つながりを持つに至ったきっかけをすべてお選びください。

		N	%	G1 (n=1,091) n	G2 (n=94) n	G3 (n=124) n	G4 (n=113) n	わから ない (n=20) n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	妊娠したことが不安になり相談	117	8.1	67	0	4	36	10		6.1	0.0	3.2	31.9	50.0
2	出産に関する不安があり相談	153	10.6	99	3	4	42	5		9.1	3.2	3.2	37.2	25.0
3	経済的困窮に陥ったことにより相談	157	10.9	109	2	2	39	5		10.0	2.1	1.6	34.5	25.0
4	住居に困ってしまって相談	46	3.2	22	0	0	21	3		2.0	0.0	0.0	18.6	15.0
5	パートナー（子の父）との離別、連絡がつかないなどの背景があり相談	34	2.4	20	1	0	12	1		1.8	1.1	0.0	10.6	5.0
6	出産直前等にやむを得ずつながった（飛び込み出産含む）	144	10.0	18	44	70	11	1		1.6	46.8	56.5	9.7	5.0
7	子育てに不安を感じ相談	89	6.2	55	3	6	22	3		5.0	3.2	4.8	19.5	15.0
8	虐待への不安を感じ相談（虐待をしてしまう可能性を感じ相談）	16	1.1	8	2	1	5	0		0.7	2.1	0.8	4.4	0.0
9	周囲の人に勧められて相談（本人は特に不安を感じることもなく、相談したいと思っていた）	22	1.5	17	1	0	2	2		1.6	1.1	0.0	1.8	10.0
10	母子健康手帳交付や妊婦健診等の所定の流れの中で病院、行政などが把握（本人から積極的な相談があったわけではない）	848	58.8	787	25	26	8	2		72.1	26.6	21.0	7.1	10.0
11	その他	196	13.6	125	22	23	22	4		11.5	23.4	18.5	19.5	20.0
	全体	1,442	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-

支援対象者が最初に機関・行政・支援団体などに相談等つながりを持つに至ったきっかけについては、グループ1は、「母子健康手帳交付や妊婦健診等の所定の流れの中で病院、行政などが把握（本人から積極的な相談があったわけではない）」が72.1%（787人）と最も多く、続いて「経済的困窮に陥ったことにより相談」が10.0%（109人）、「出産に関する不安があり相談」が9.1%（99人）であった。グループ2は、「出産直前等にやむを得ずつながった（飛び込み出産含む）」が46.8%（44人）と最も多く、続いて「母子健康手帳交付や妊婦健診等の所定の流れの中で病院、行政などが把握（本人から積極的な相談があったわけではない）」が26.6%（25人）、「出産に関する不安があり相談」と「子育てに不安を感じ相談」が3.2%（3人）と同率であった。グループ3は、「出産直前等にやむを得ずつながった（飛び込み出産含む）」が56.5%（70人）と最も多く、続いて「母子健康手帳交付や妊婦健診等の所定の流れの中で病院、行政などが把握（本人から積極的な相談があったわけではない）」が21.0%（26人）、「子育てに不安を感じ相談」が4.8%（6人）であった。グループ4は、「出産に関する不安があり相談」が37.2%（42人）と最も多く、続いて「経済的困窮に陥ったことにより相談」が34.5%（39人）、「妊娠したことが不安になり相談」が31.9%（36人）であった。

Q48_2 【SA】支援対象者が「貴機関・行政・支援団体など」に相談等つながりを持った時期について教えてください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	妊娠初期（13週6日まで）	626	43.4	602	3	1	19	1		55.2	3.2	0.8	16.8	5.0
2	妊娠中期（14週0日～27週6日まで）	322	22.3	276	1	1	37	7		25.3	1.1	0.8	32.7	35.0
3	妊娠後期（28週以降）	247	17.1	172	7	16	43	9		15.8	7.4	12.9	38.1	45.0
4	出産後	212	14.7	10	83	105	12	2		0.9	88.3	84.7	10.6	10.0
5	わからない	35	2.4	31	0	1	2	1		2.8	0.0	0.8	1.8	5.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援対象者が機関・行政・支援団体などに相談等つながりを持った時期については、グループ1は、「妊娠初期（13週6日まで）」が55.2%（602人）と最も多く、続いて「妊娠中期（14週0日～27週6日まで）」が25.3%（276人）、「妊娠後期（28週以降）」が15.8%（172人）であった。グループ2は、「出産後」が88.3%（83人）と最も多く、続いて「妊娠後期（28週以降）」が7.4%（7人）、「妊娠初期（13週6日まで）」が3.2%（3人）であった。グループ3は、「出産後」が84.7%（105人）と最も多く、続いて「妊娠後期（28週以降）」が12.9%（16人）、「妊娠初期（13週6日まで）」と「妊娠中期（14週0日～27週6日まで）」と「わからない」が0.8%（1人）と同率であった。グループ4は、「妊娠後期（28週以降）」が38.1%（43人）と最も多く、続いて「妊娠中期（14週0日～27週6日まで）」が32.7%（37人）、「妊娠初期（13週6日まで）」が16.8%（19人）であった。

Q49_1 【SA】支援対象者が「貴機関に」つながったルートについてお選びください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n	G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	本人から貴機関への電話相談	92	6.4	65	3	2	17	5	6.0	3.2	1.6	15.0	25.0
2	本人から貴機関へのメール相談	36	2.5	3	0	0	28	5	0.3	0.0	0.0	24.8	25.0
3	本人から貴機関へのSNS相談（LINE等）	17	1.2	0	0	0	17	0	0.0	0.0	0.0	15.0	0.0
4	今回の妊娠における胎児等の生物学的父親から貴機関への相談	6	0.4	6	0	0	0	0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
5	家族・友人から貴機関への相談	29	2.0	16	5	4	4	0	1.5	5.3	3.2	3.5	0.0
6	里親から貴機関への相談	0	-	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7	児童福祉施設の職員等から貴機関への相談	5	0.3	4	1	0	0	0	0.4	1.1	0.0	0.0	0.0
8	予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）からの紹介	14	1.0	9	0	1	4	0	0.8	0.0	0.8	3.5	0.0
9	妊産婦等生活援助事業（「予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）」を	2	0.1	0	0	0	2	0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0
10	性と健康の相談センターからの紹介	0	-	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11	市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む）	623	43.2	589	19	3	8	4	54.0	20.2	2.4	7.1	20.0
12	市区町村の所管する児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会調整機関、こども家庭センター子ども家庭総合支援拠点を含む）	108	7.5	59	2	31	13	3	5.4	2.1	25.0	11.5	15.0
13	児童相談所	29	2.0	18	6	3	2	0	1.6	6.4	2.4	1.8	0.0
14	行政機関	85	5.9	72	1	3	6	3	6.6	1.1	2.4	5.3	15.0
15	医療機関からの紹介	242	16.8	113	54	67	8	0	10.4	57.4	54.0	7.1	0.0
16	民間支援機関からの紹介	25	1.7	19	0	4	2	0	1.7	0.0	3.2	1.8	0.0
17	わからない	5	0.3	5	0	0	0	0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
18	その他	124	8.6	113	3	6	2	0	10.4	3.2	4.8	1.8	0.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4				

支援対象者が機関につながったルートについては、グループ1は、「市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む）」が54.0%（589人）と最も多く、続いて「医療機関からの紹介」が10.4%（113人）、「行政機関」が6.6%（72人）であった。グループ2は、「医療機関からの紹介」が57.4%（54人）と最も多く、続いて「市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む）」が20.2%（19人）、「児童相談所」が6.4%（6人）であった。グループ3は、「医療機関からの紹介」が54.0%（67人）と最も多く、続いて「市区町村の所管する児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会調整機関、こども家庭センター子ども家庭総合支援拠点を含む）」が25.0%（31人）、「家族・友人から貴機関への相談」と「民間支援機関からの紹介」が3.2%（4人）と同率であった。グループ4は、「本人から貴機関へのメール相談」が24.8%（28人）と最も多く、続いて「本人から貴機関への電話相談」、「本人から貴機関へのSNS相談（LINE等）」が15.0%（17人）であった。

Q49_3 【MA】貴機関での支援開始後、支援対象者に対して出産時までの継続的な支援の実現のために、〔貴機関から〕連携を依頼した支援機関があれば、該当するものをすべてお選びください。

		N	%	G1 (n=1,091) n	G2 (n=94) n	G3 (n=124) n	G4 (n=113) n	わから ない (n=20) n	G1 (n=1,062) %	G2 (n=66) %	G3 (n=72) %	G4 (n=101) %	わから ない (n=17) %
1	予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）への紹介	14	1.0	14	0	0	0	0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
2	妊産婦等生活援助事業（「予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）」を除く）への紹介	16	1.1	14	0	0	1	1	1.3	0.0	0.0	1.0	5.9
3	性と健康の相談センターへの紹介	1	0.1	0	0	1	0	0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0
4	市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む）	639	44.3	518	23	20	69	9	48.8	34.8	27.8	68.3	52.9
5	市区町村の所管する児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会調整機関、こども家庭センター子ども家庭総合支援拠点を含む）	534	37.0	443	22	36	30	3	41.7	33.3	50.0	29.7	17.6
6	児童相談所	442	30.7	393	25	1	22	1	37.0	37.9	1.4	21.8	5.9
7	行政機関	205	14.2	179	7	5	10	4	16.9	10.6	6.9	9.9	23.5
8	医療機関への紹介	604	41.9	525	16	10	46	7	49.4	24.2	13.9	45.5	41.2
9	民間支援機関への紹介	124	8.6	104	4	3	11	2	9.8	6.1	4.2	10.9	11.8
10	その他	213	14.8	147	13	26	21	6	13.8	19.7	36.1	20.8	35.3
11	他機関との連携はしていない	134	9.3	39	28	52	12	3	-	-	-	-	-
	全体	1,442	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

回答した機関での支援開始後、支援対象者に対して出産時までの継続的な支援の実現のために、回答した機関から連携を依頼した支援機関については、グループ1は、「医療機関への紹介」が49.4%（525人）と最も多く、続いて「市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む）」が48.8%（518人）、「市区町村の所管する児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会調整機関、こども家庭センター子ども家庭総合支援拠点を含む）」が41.7%（443人）であった。グループ2は、「児童相談所」が37.9%（25人）と最も多く、続いて「市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む）」が34.8%（23人）、「市区町村の所管する児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会調整機関、こども家庭センター子ども家庭総合支援拠点を含む）」が33.3%（22人）であった。グループ3は、「市区町村の所管する児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会調整機関、こども家庭センター子ども家庭総合支援拠点を含む）」が50.0%（36人）と最も多く、続いて「市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む）」が27.8%（20人）、「医療機関への紹介」が13.9%（10人）であった。グループ4は、「市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む）」が68.3%（69人）と最も多く、続いて「医療機関への紹介」が45.5%（46人）、「市区町村の所管する児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会調整機関、こども家庭センター子ども家庭総合支援拠点を含む）」が29.7%（30人）であった。

Q50_1 【MA】前問で回答した支援について、支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。

		N	%	G1 (n=1,091) n	G2 (n=94) n	G3 (n=124) n	G4 (n=113) n	わから ない (n=20) n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	相談支援（電話・メール等非 対面型相談）	1,190	82.5	953	78	62	85	12		87.4	83.0	50.0	75.2	60.0
2	相談支援（支援員・施設など での対面型相談）	1,019	70.7	773	64	89	80	13		70.9	68.1	71.8	70.8	65.0
3	通所型支援	85	5.9	62	6	15	2	0		5.7	6.4	12.1	1.8	0.0
4	入所型支援	139	9.6	60	9	26	40	4		5.5	9.6	21.0	35.4	20.0
5	訪問型支援	781	54.2	665	62	29	25	0		61.0	66.0	23.4	22.1	0.0
6	その他	87	6.0	54	3	15	14	1		4.9	3.2	12.1	12.4	5.0
	全体	1,442	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-

Q49_3で回答した支援について、支援対象者が利用している（利用した）支援の利用時期については、グループ1は、「相談支援（電話・メール等非対面型相談）」が87.4%（953人）と最も多く、続いて「相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）」が70.9%（773人）、「訪問型支援」が61.0%（665人）であった。グループ2は、「相談支援（電話・メール等非対面型相談）」が83.0%（78人）と最も多く、続いて「相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）」が68.1%（64人）、「訪問型支援」が66.0%（62人）であった。グループ3は、「相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）」が71.8%（89人）と最も多く、続いて「相談支援（電話・メール等非対面型相談）」が50.0%（62人）、「訪問型支援」が23.4%（29人）であった。グループ4は、「相談支援（電話・メール等非対面型相談）」が75.2%（85人）と最も多く、続いて「相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）」が70.8%（80人）、「入所型支援」が35.4%（40人）であった。

Q50_2 【MA】前問で回答した支援について、支援対象者が利用している（利用した）支援の利用時期をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。

		N	%	G1 (n=1,091) n	G2 (n=94) n	G3 (n=124) n	G4 (n=113) n	わから ない (n=20) n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	妊娠判明前（妊娠への不安等）	62	4.3	58	0	1	3	0		5.3	0.0	0.8	2.7	0.0
2	妊娠判明時（妊娠検査薬等で自身で気づいた時）	95	6.6	80	0	0	14	1		7.3	0.0	0.0	12.4	5.0
3	妊娠判明時（医療機関受診時）	186	12.9	170	0	0	14	2		15.6	0.0	0.0	12.4	10.0
4	妊娠初期（13週6日まで）	455	31.6	437	3	1	12	2		40.1	3.2	0.8	10.6	10.0
5	妊娠中期（14週0日～27週6日まで）	689	47.8	638	3	1	39	8		58.5	3.2	0.8	34.5	40.0
6	妊娠後期（28週以降）	939	65.1	835	5	9	74	16		76.5	5.3	7.3	65.5	80.0
7	産後直後～3か月未満	1,114	77.3	860	86	89	65	14		78.8	91.5	71.8	57.5	70.0
8	産後3か月～半年未満	815	56.5	653	70	43	41	8		59.9	74.5	34.7	36.3	40.0
9	産後半年以上～1年未満	637	44.2	506	46	46	33	6		46.4	48.9	37.1	29.2	30.0
10	産後1年以上	311	21.6	249	22	17	19	4		22.8	23.4	13.7	16.8	20.0
11	時期についてはわからない・不明	32	2.2	26	2	3	1	0		2.4	2.1	2.4	0.9	0.0
12	その他	34	2.4	21	1	8	4	0		1.9	1.1	6.5	3.5	0.0
	全体	1,442	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-

Q50_1 で回答した支援について、支援対象者が利用している（利用した）支援の利用時期については、グループ1は、「産後直後～3か月未満」が78.8%（860人）と最も多く、続いて「妊娠後期（28週以降）」が76.5%（835人）、「産後3か月～半年未満」が59.9%（653人）であった。グループ2は、「産後直後～3か月未満」が91.5%（86人）と最も多く、続いて「産後3か月～半年未満」が74.5%（70人）、「産後半年以上～1年未満」が48.9%（46人）であった。グループ3は、「産後直後～3か月未満」が71.8%（89人）と最も多く、続いて「産後半年以上～1年未満」が37.1%（46人）、「産後3か月～半年未満」が34.7%（43人）であった。グループ4は、「妊娠後期（28週以降）」が65.5%（74人）と最も多く、続いて「産後直後～3か月未満」が57.5%（65人）、「産後3か月～半年未満」が36.3%（41人）であった。

Q51 支援対象者が利用している（利用した）それぞれの支援について、利用頻度をご記入ください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。

全体回答(n=1,442)における支援内容とその利用頻度

			全体 (n=1,442)					
			1	2	3	4	5	6
			ほとんど毎日	週に3回以上	週に3回未満、週に1回以上	週に1回未満、月に1回以上	月に1回未満	未回答
1	相談支援（電話・メール等 非対面型支援）	n	40	55	156	534	404	1
		%	2.8	3.8	10.8	37.0	28.0	0.1
2	相談支援（支援員・施設 などでの対面型支援）	n	21	28	72	413	483	2
		%	1.5	1.9	5.0	28.6	33.5	0.1
3	通所型支援	n	9	6	8	26	35	1
		%	0.6	0.4	0.6	1.8	2.4	0.1
4	入所型支援	n	86	4	1	10	38	0
		%	6.0	0.3	0.1	0.7	2.6	0.0
5	訪問型支援	n	10	20	98	284	368	1
		%	0.7	1.4	6.8	19.7	25.5	0.1
6	その他	n	16	3	6	25	36	1
		%	1.1	0.2	0.4	1.7	2.5	0.1
全体			1,442					

全体回答で支援対象者が利用している（利用した）それぞれの支援内容の利用頻度で最も多かったのは「相談支援（電話・メール等非対面型相談）」は「週に1回未満、月に1回以上」で37.0%（534人）、「相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）」は「月に1回未満」で33.5%（483人）、「通所型支援」は「月に1回未満」で2.4%（35人）、「入所型支援」は「ほとんど毎日」で6.0%（86人）、「訪問型支援」は「月に1回未満」で25.5%（368人）であった。

グループ 1 (n=1,091) における支援内容とその利用頻度

				G1(n=1,091)					
				1	2	3	4	5	6
				ほとんど毎日	週に3回以上	週に3回未満、週に1回以上	週に1回未満、月に1回以上	月に1回未満	未回答
1	相談支援（電話・メール等 非対面型支援）	n	953	20	32	108	440	353	0
		%	87.4	1.8	2.9	9.9	40.3	32.4	0.0
2	相談支援（支援員・施設 などでの対面型支援）	n	773	7	14	46	303	403	0
		%	70.9	0.6	1.3	4.2	27.8	36.9	0.0
3	通所型支援	n	62	5	3	4	20	29	1
		%	5.7	0.5	0.3	0.4	1.8	2.7	0.1
4	入所型支援	n	60	22	2	0	6	30	0
		%	5.5	2.0	0.2	0.0	0.5	2.7	0.0
5	訪問型支援	n	665	9	18	80	235	322	1
		%	61.0	0.8	1.6	7.3	21.5	29.5	0.1
6	その他	n	54	9	3	3	17	21	1
		%	4.9	0.8	0.3	0.3	1.6	1.9	0.1
全体			1,091						

グループ 1 では、支援対象者が利用している（利用した）それぞれの支援内容の利用頻度で最も多かったのは「相談支援（電話・メール等非対面型相談）」は「週に 1 回未満、月に 1 回以上」で 40.3%（440 人）、「相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）」は「月に 1 回未満」で 36.9%（403 人）、「通所型支援」は「月に 1 回未満」で 2.7%（29 人）、「入所型支援」は「月に 1 回未満」で 2.7%（30 人）、「訪問型支援」は「月に 1 回未満」で 29.5%（21 人）であった。

グループ 2 (n=94) における支援内容とその利用頻度

				G2(n=94)					
				1	2	3	4	5	6
				ほとんど毎日	週に3回以上	週に3回未満、週に1回以上	週に1回未満、月に1回以上	月に1回未満	未回答
1	相談支援（電話・メール等 等非対面型支援）	n	78	0	5	13	38	22	0
		%	83.0	0.0	5.3	13.8	40.4	23.4	0.0
2	相談支援（支援員・施設 などでの対面型支援）	n	64	1	2	4	33	24	0
		%	68.1	1.1	2.1	4.3	35.1	25.5	0.0
3	通所型支援	n	6	2	2	1	0	1	0
		%	6.4	2.1	2.1	1.1	0.0	1.1	0.0
4	入所型支援	n	9	2	1	0	1	5	0
		%	9.6	2.1	1.1	0.0	1.1	5.3	0.0
5	訪問型支援	n	62	1	1	7	24	29	0
		%	66.0	1.1	1.1	7.4	25.5	30.9	0.0
6	その他	n	3	1	0	1	0	1	0
		%	3.2	1.1	0.0	1.1	0.0	1.1	0.0
全体			94						

グループ2では、支援対象者が利用している（利用した）それぞれの支援内容の利用頻度は「相談支援（電話・メール等非対面型相談）」は「週に1回未満、月に1回以上」で40.4%（38人）が最も多く、続いて「相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）」は「週に1回未満、月に1回以上」で35.1%（33人）、「通所型支援」は「ほとんど毎日」「週に3回以上」が2.1%（2人）で同率、「入所型支援」は「月に1回未満」で5.3%（5人）、「訪問型支援」は「月に1回未満」で30.9%（29人）であった。

グループ3（n=124）における支援内容とその利用頻度

				G3(n=124)					
				1	2	3	4	5	6
				ほとんど毎日	週に3回以上	週に3回未満、週に1回以上	週に1回未満、月に1回以上	月に1回未満	未回答
1	相談支援（電話・メール等非対面型支援）	n	62	1	1	7	32	20	1
		%	50.0	0.8	0.8	5.6	25.8	16.1	0.8
2	相談支援（支援員・施設などでの対面型支援）	n	89	1	2	9	47	28	2
		%	71.8	0.8	1.6	7.3	37.9	22.6	1.6
3	通所型支援	n	15	2	1	3	6	3	0
		%	12.1	1.6	0.8	2.4	4.8	2.4	0.0
4	入所型支援	n	26	21	0	1	2	2	0
		%	21.0	16.9	0.0	0.8	1.6	1.6	0.0
5	訪問型支援	n	29	0	0	6	13	10	0
		%	23.4	0.0	0.0	4.8	10.5	8.1	0.0
6	その他	n	15	1	0	1	4	9	0
		%	12.1	0.8	0.0	0.8	3.2	7.3	0.0
全体			124						

グループ3では、支援対象者が利用している（利用した）それぞれの支援内容の利用頻度で最も多かったのは、「相談支援（電話・メール等非対面型相談）」は「週に1回未満、月に1回以上」で25.8%（32人）、「相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）」は「週に1回未満、月に1回以上」で37.9%（47人）、「通所型支援」は「週に1回未満、月に1回以上」で4.8%（6人）、「入所型支援」は「ほとんど毎日」で16.9%（21人）、「訪問型支援」は「週に1回未満、月に1回以上」で10.5%（13人）であった。

グループ 4（n=113）における支援内容とその利用頻度

				G4(n=113)					
				1	2	3	4	5	6
				ほとんど毎日	週に3回以上	週に3回未満、週に1回以上	週に1回未満、月に1回以上	月に1回未満	未回答
1	相談支援（電話・メール等 非対面型支援）	n	85	19	17	20	23	6	0
		%	75.2	16.8	15.0	17.7	20.4	5.3	0.0
2	相談支援（支援員・施設 などでの対面型支援）	n	80	9	9	11	25	26	0
		%	70.8	8.0	8.0	9.7	22.1	23.0	0.0
3	通所型支援	n	2	0	0	0	0	2	0
		%	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0
4	入所型支援	n	40	37	1	0	1	1	0
		%	35.4	32.7	0.9	0.0	0.9	0.9	0.0
5	訪問型支援	n	25	0	1	5	12	7	0
		%	22.1	0.0	0.9	4.4	10.6	6.2	0.0
6	その他	n	14	4	0	1	4	5	0
		%	12.4	3.5	0.0	0.9	3.5	4.4	0.0
全体			113						

グループ 4 では、支援対象者が利用している（利用した）それぞれの支援内容の利用頻度で最も多かったのは、「相談支援（電話・メール等非対面型相談）」は「週に 1 回未満、月に 1 回以上」で 20.4%（23 人）、「相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）」は「月に 1 回未満」で 23.0%（26 人）、「通所型支援」は「月に 1 回未満」で 1.8%（2 人）、「入所型支援」は「ほとんど毎日」で 32.7%（37 人）、「訪問型支援」は「週に 1 回未満、月に 1 回以上」で 10.6%（12 人）であった。

わからない（n=20）における支援内容とその利用頻度

				わからない(n=20)					
				1	2	3	4	5	6
				ほとんど毎日	週に3回以上	週に3回未満、週に1回以上	週に1回未満、月に1回以上	月に1回未満	未回答
1	相談支援（電話・メール等非対面型支援）	n	12	0	0	8	1	3	0
		%	60.0	0.0	0.0	40.0	5.0	15.0	0.0
2	相談支援（支援員・施設などでの対面型支援）	n	13	3	1	2	5	2	0
		%	65.0	15.0	5.0	10.0	25.0	10.0	0.0
3	通所型支援	n	0	0	0	0	0	0	0
		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	入所型支援	n	4	4	0	0	0	0	0
		%	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	訪問型支援	n	0	0	0	0	0	0	0
		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	その他	n	1	1	0	0	0	0	0
		%	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全体			20						

Q52 支援対象者が利用している（利用した）支援について、利用した機関をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。

全体回答(n=1,442)における支援内容とその利用した機関

			全体（n=1,442）												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
			貴機関	予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）	妊産婦等生活援助事業（「予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）」の場合を除く）	性と健康の相談センター	市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む）	市区町村の所管する児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会調整機関、こども家庭センター子ども家庭総合支援拠点を含む）	児童相談所（※措置を含む）	行政機関（その他）	医療機関	民間支援施設	ボランティア活動（地域の活動等）	その他	
1	相談支援（電話・メール等非対面型相談）	n	1,190	866	52	10	0	757	410	229	138	202	95	0	34
		%	82.5	60.1	3.6	0.7	-	52.5	28.4	15.9	9.6	14.0	6.6	-	2.4
2	相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）	n	1,019	720	21	10	1	613	402	239	131	373	84	3	36
		%	70.7	49.9	1.5	0.7	0.1	42.5	27.9	16.6	9.1	25.9	5.8	0.2	2.5
3	通所型支援	n	85	26	2	2	0	19	12	13	4	32	16	0	11
		%	5.9	1.8	0.1	0.1	-	1.3	0.8	0.9	0.3	2.2	1.1	-	0.8
4	入所型支援	n	139	57	4	9	0	12	15	43	12	26	27	0	11
		%	9.6	4.0	0.3	0.6	-	0.8	1.0	3.0	0.8	1.8	1.9	-	0.8
5	訪問型支援	n	781	510	14	7	0	504	274	138	73	43	74	4	37
		%	54.2	35.4	1.0	0.5	-	35.0	19.0	9.6	5.1	3.0	5.1	0.3	2.6
6	その他	n	87	38	1	1	0	24	17	18	10	18	7	1	20
		%	6.0	2.6	0.1	0.1	-	1.7	1.2	1.2	0.7	1.2	0.5	0.1	1.4
全体			1,442												

全体では、支援対象者が利用している（利用した）支援の支援内容別の支援機関で最も多かったのは、「相談支援（電話・メール等非対面型相談）」は「貴機関」で 60.1%（866 人）、「相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）」は「貴機関」で 49.9%（720 人）、「通所型支援」は「医療機関」で 2.2%（32 人）、「入所型支援」は「貴機関」で 4.0%（57 人）、「訪問型支援」は「貴機関」で 35.4%（510 人）であった。

グループ 1 (n=1,091) における支援内容とその利用した機関

			G1(n=1,091)												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
			貴機関	予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）	妊産婦等生活援助事業（「予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）」の場合を除く）	性と健康の相談センター	市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む）	市区町村の所管する児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会調整機関、こども家庭センター子ども家庭総合支援拠点を含む）	児童相談所（※措置を含む）	行政機関（その他）	医療機関	民間支援施設	ボランティア活動（地域の活動等）	その他	
1	相談支援（電話・メール等非対面型相談）	n	953	675	37	8	0	621	341	175	113	151	75	0	23
		%	87.4	61.9	3.4	0.7	-	56.9	31.3	16.0	10.4	13.8	6.9	-	2.1
2	相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）	n	773	544	10	7	1	474	313	169	109	274	65	1	28
		%	70.9	49.9	0.9	0.6	0.1	43.4	28.7	15.5	10.0	25.1	6.0	0.1	2.6
3	通所型支援	n	62	16	2	2	0	13	8	4	3	27	12	0	6
		%	5.7	1.5	0.2	0.2	-	1.2	0.7	0.4	0.3	2.5	1.1	-	0.5
4	入所型支援	n	60	6	3	8	0	2	5	21	5	10	16	0	3
		%	5.5	0.5	0.3	0.7	-	0.2	0.5	1.9	0.5	0.9	1.5	-	0.3
5	訪問型支援	n	665	435	11	6	0	430	236	97	62	34	68	4	34
		%	61.0	39.9	1.0	0.5	-	39.4	21.6	8.9	5.7	3.1	6.2	0.4	3.1
6	その他	n	54	21	0	1	0	18	10	11	7	12	7	1	12
		%	4.9	1.9	-	0.1	-	1.6	0.9	1.0	0.6	1.1	0.6	0.1	1.1
全体			1,091												

グループ 1 では、支援対象者が利用している（利用した）支援の支援内容別の支援機関で最も多かったのは、「相談支援（電話・メール等非対面型相談）」は「貴機関」で 61.9%（675 人）、「相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）」は「貴機関」が 49.9%（544 人）、「通所型支援」は「医療機関」で 2.5%（27 人）、「入所型支援」は「児童相談所（※措置を含む）」で 1.9%（21 人）、「訪問型支援」は「貴機関」で 39.9%（435 人）であった。

グループ 2 (n=94) における支援内容とその利用した機関

			G2(n=94)											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			貴機関	予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）	妊産婦等生活援助事業（「予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）」の場合を除く）	性と健康の相談センター	市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む）	市区町村の所管する児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会調整機関、こども家庭センター子ども家庭総合支援拠点を含む）	児童相談所（※措置を含む）	行政機関（その他）	医療機関	民間支援施設	ボランティア活動（地域の活動等）	その他
1	相談支援（電話・メール等非対面型相談）	n	60	0	0	0	52	23	21	4	9	4	0	2
		%	63.8	-	-	-	55.3	24.5	22.3	4.3	9.6	4.3	-	2.1
2	相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）	n	44	0	0	0	45	33	20	3	25	1	0	2
		%	46.8	-	-	-	47.9	35.1	21.3	3.2	26.6	1.1	-	2.1
3	通所型支援	n	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	3
		%	-	-	-	-	1.1	-	-	-	2.1	-	-	3.2
4	入所型支援	n	3	0	0	0	0	0	3	0	3	2	0	1
		%	3.2	-	-	-	-	-	3.2	-	3.2	2.1	-	1.1
5	訪問型支援	n	44	0	0	0	41	17	21	6	4	4	0	2
		%	46.8	-	-	-	43.6	18.1	22.3	6.4	4.3	4.3	-	2.1
6	その他	n	2	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0
		%	2.1	-	-	-	2.1	1.1	-	1.1	-	-	-	-
全体			94											

グループ 2 では、支援対象者が利用している（利用した）支援の支援内容別の支援機関で最も多かったのは、「相談支援（電話・メール等非対面型相談）」は「貴機関」で 63.8%（60 人）、「相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）」は「市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む）」で 47.9%（45 人）、「通所型支援」は「医療機関」で 2.1%（2 人）、「入所型支援」は「貴機関」と「児童相談所（※措置を含む）」と「医療機関」が 3.2%（3 人）と同率、「訪問型支援」は「貴機関」で 46.8%（44 人）であった。

グループ 3 (n=124) における支援内容とその利用した機関

			G3(n=124)											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			貴機関	予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）	妊産婦等生活援助事業（「予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）」の場合を除く）	性と健康の相談センター	市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む）	市区町村の所管する児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会調整機関、こども家庭センター子ども家庭総合支援拠点を含む）	児童相談所（※措置を含む）	行政機関（その他）	医療機関	民間支援施設	ボランティア活動（地域の活動等）	その他
1	相談支援（電話・メール等非対面型相談）	n	41	3	0	0	24	24	20	4	11	5	0	3
		%	33.1	2.4	-	-	19.4	19.4	16.1	3.2	8.9	4.0	-	2.4
2	相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）	n	55	1	0	0	38	31	37	6	22	4	2	4
		%	44.4	0.8	-	-	30.6	25.0	29.8	4.8	17.7	3.2	1.6	3.2
3	通所型支援	n	8	0	0	0	5	4	9	1	3	3	0	2
		%	6.5	-	-	-	4.0	3.2	7.3	0.8	2.4	2.4	-	1.6
4	入所型支援	n	14	1	0	0	3	3	13	1	2	5	0	3
		%	11.3	0.8	-	-	2.4	2.4	10.5	0.8	1.6	4.0	-	2.4
5	訪問型支援	n	16	0	0	0	17	15	14	2	1	1	0	0
		%	12.9	-	-	-	13.7	12.1	11.3	1.6	0.8	0.8	-	-
6	その他	n	6	0	0	0	1	2	3	1	1	0	0	6
		%	4.8	-	-	-	0.8	1.6	2.4	0.8	0.8	-	-	4.8
全体			124											

グループ 3 では、支援対象者が利用している（利用した）支援の支援内容別の支援機関で最も多かったのは、「相談支援（電話・メール等非対面型相談）」は「貴機関」で 33.1%（41 人）、「相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）」は「貴機関」で 44.4%（55 人）、「通所型支援」は「児童相談所（※措置を含む）」で 7.3%（9 人）、「入所型支援」は「貴機関」で 11.3%（14 人）、「訪問型支援」は「市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む）」で 13.7%（17 人）であった。

グループ 4 (n=113) における支援内容とその利用した機関

			G4(n=113)											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			貴機関	予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）	妊産婦等生活援助事業（「予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）」の場合を除く）	性と健康の相談センター	市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む）	市区町村の所管する児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会調整機関、こども家庭センター子ども家庭総合支援拠点を含む）	児童相談所（※措置を含む）	行政機関（その他）	医療機関	民間支援施設	ボランティア活動（地域の活動等）	その他
1	相談支援（電話・メール等非対面型相談）	n	79	12	2	0	54	19	12	16	28	11	0	5
		%	69.9	10.6	1.8	-	47.8	16.8	10.6	14.2	24.8	9.7	-	4.4
2	相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）	n	68	8	2	0	49	21	11	10	42	14	0	2
		%	60.2	7.1	1.8	-	43.4	18.6	9.7	8.8	37.2	12.4	-	1.8
3	通所型支援	n	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		%	1.8	-	-	-	-	-	-	-	-	0.9	-	-
4	入所型支援	n	31	0	1	0	7	5	5	4	8	3	0	4
		%	27.4	-	0.9	-	6.2	4.4	4.4	3.5	7.1	2.7	-	3.5
5	訪問型支援	n	15	3	1	0	16	6	6	3	4	1	0	1
		%	13.3	2.7	0.9	-	14.2	5.3	5.3	2.7	3.5	0.9	-	0.9
6	その他	n	8	1	0	0	3	4	3	0	4	0	0	2
		%	7.1	0.9	-	-	2.7	3.5	2.7	-	3.5	-	-	1.8
全体		113												

グループ 4 では、支援対象者が利用している（利用した）支援の支援内容別の支援機関で最も多かったのは、「相談支援（電話・メール等非対面型相談）」は「貴機関」で 69.9%（79 人）、「相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）」は「貴機関」で 60.2%（68 人）、「通所型支援」は「貴機関」で 1.8%（2 人）、「入所型支援」は「貴機関」で 27.4%（31 人）、「訪問型支援」は「市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む）」で 14.2%（16 人）であった。

わからない (n=20) における支援内容とその利用した機関

			わからない(n=20)												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
			貴機関	予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）	妊産婦等生活援助事業（「予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）」の場合を除く）	性と健康の相談センター	市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む）	市区町村の所管する児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会調整機関、こども家庭センター子ども家庭総合支援拠点を含む）	児童相談所（※措置を含む）	行政機関（その他）	医療機関	民間支援施設	ボランティア活動（地域の活動等）	その他	
1	相談支援（電話・メール等非対面型相談）	n	12	11	0	0	0	6	3	1	1	3	0	0	1
		%	60.0	55.0	-	-	-	30.0	15.0	5.0	5.0	15.0	-	-	5.0
2	相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）	n	13	9	2	1	0	7	4	2	3	10	0	0	0
		%	65.0	45.0	10.0	5.0	-	35.0	20.0	10.0	15.0	50.0	-	-	-
3	通所型支援	n	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		%	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	入所型支援	n	4	3	0	0	0	0	2	1	2	3	1	0	0
		%	20.0	15.0	-	-	-	-	10.0	5.0	10.0	15.0	5.0	-	-
5	訪問型支援	n	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		%	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	その他	n	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0
		%	5.0	5.0	-	-	-	-	-	5.0	5.0	5.0	-	-	-
全体		20													

Q53 【MA】支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。

		N	%	G1 (n=1,091) n	G2 (n=94) n	G3 (n=124) n	G4 (n=113) n	わから ない (n=20) n		G1 (n=661) %	G2 (n=86) %	G3 (n=116) %	G4 (n=84) %	わから ない (n=10) %
1	支援機関につながった時期が遅かった	246	17.1	136	24	49	32	5		20.6	27.9	42.2	38.1	50.0
2	妊婦健診がほぼ未受診だった	240	16.6	112	29	64	28	7		17.0	33.7	55.2	33.3	70.0
3	連絡が付かないことがあった	514	35.6	430	15	34	33	2		65.2	17.4	29.3	39.3	20.0
4	居場所が分からなくなることがあった	123	8.5	90	3	14	14	2		13.6	3.5	12.1	16.7	20.0
5	飛び込み出産だった	145	10.1	8	59	73	5	0		1.2	68.6	62.9	6.0	0.0
6	孤立出産（予期せぬ妊娠等のうち、医療による援助がない出産）だった	56	3.9	7	15	30	4	0		1.1	17.4	25.9	4.8	0.0
7	その他	257	17.8	198	15	9	34	1		30.0	17.4	7.8	40.5	10.0
8	支援が困難になる状況はなかった	486	33.7	431	8	8	29	10		-	-	-	-	-
	全体	1,442	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-

支援対象者について、支援が困難になるような状況があったかについて、「支援が困難になる状況はなかった」を除く選択肢の回答割合では、グループ1は、「連絡が付かないことがあった」が65.2%（430人）と最も多く、続いて「支援機関につながった時期が遅かった」が20.6%（136人）、「妊婦健診がほぼ未受診だった」が17.0%（112人）であった。グループ2は、「飛び込み出産だった」が68.6%（59人）と最も多く、続いて「妊婦健診がほぼ未受診だった」が33.7%（29人）、「支援機関につながった時期が遅かった」が27.9%（24人）であった。グループ3は、「飛び込み出産だった」が62.9%（73人）と最も多く、続いて「妊婦健診がほぼ未受診だった」が55.2%（64人）、「支援機関につながった時期が遅かった」が42.2%（49人）であった。グループ4は、「連絡が付かないことがあった」が39.3%（33人）と最も多く、続いて「支援機関につながった時期が遅かった」が38.1%（32人）、「妊婦健診がほぼ未受診だった」が33.3%（28人）であった。

Q54 【SA】支援対象者の出産場所を教えてください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	病院	1,251	86.8	993	58	85	100	15		91.0	61.7	68.5	88.5	75.0
2	診療所	66	4.6	60	2	1	3	0		5.5	2.1	0.8	2.7	0.0
3	助産所・助産院	16	1.1	15	0	0	1	0		1.4	0.0	0.0	0.9	0.0
4	自宅（助産師等による分娩）	0	-	0	0	0	0	0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	自宅（墮落分娩等）	72	5.0	8	30	32	2	0		0.7	31.9	25.8	1.8	0.0
6	わからない	16	1.1	6	0	2	4	4		0.5	0.0	1.6	3.5	20.0
7	その他	21	1.5	9	4	4	3	1		0.8	4.3	3.2	2.7	5.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援対象者の出産場所については、グループ1は、「病院」が91.0%（993人）と最も多く、続いて「診療所」が5.5%（60人）、「助産所・助産院」が1.4%（15人）であった。グループ2は、「病院」が61.7%（58人）と最も多く、続いて「自宅（墮落分娩等）」が31.9%（30人）、「診療所」が2.1%（2人）であった。グループ3は、「病院」が68.5%（85人）と最も多く、続いて「自宅（墮落分娩等）」が25.8%（32人）、「わからない」が1.6%（2人）であった。グループ4は、「病院」が88.5%（100人）と最も多く、続いて

「わからない」が3.5%（4人）、「診療所」が2.7%（3人）であった。

Q55 【SA】支援対象者の出産3か月後のお子さんについて、養育場所を教えてください。

		N	%	G1 n	G2 n	G3 n	G4 n	わから ない n		G1 %	G2 %	G3 %	G4 %	わから ない %
1	実親が家庭で養育している	1,032	71.6	894	79	18	39	2		81.9	84.0	14.5	34.5	10.0
2	里親等が家庭で養育している	93	6.4	41	0	19	25	8		3.8	0.0	15.3	22.1	40.0
3	乳児院に入所している	132	9.2	55	7	63	7	0		5.0	7.4	50.8	6.2	0.0
4	児童養護施設等に入所している	8	0.6	3	0	3	1	1		0.3	0.0	2.4	0.9	5.0
5	一時保護中である	33	2.3	15	2	14	2	0		1.4	2.1	11.3	1.8	0.0
6	検討中である	1	0.1	1	0	0	0	0		0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
7	わからない	29	2.0	10	1	1	13	4		0.9	1.1	0.8	11.5	20.0
8	その他	114	7.9	72	5	6	26	5		6.6	5.3	4.8	23.0	25.0
	全体	1,442	100.0	1,091	94	124	113	20		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	%	100.0	-	75.7	6.5	8.6	7.8	1.4					

支援対象者の出産3か月後のお子さんの養育場所については、グループ1は、「実親が家庭で養育している」が81.9%（894人）と最も多く、続いて「乳児院に入所している」が5.0%（55人）、「里親等が家庭で養育している」が3.8%（41人）であった。グループ2は、「実親が家庭で養育している」が84.0%（79人）と最も多く、続いて「乳児院に入所している」が7.4%（7人）、「一時保護中である」が2.1%（2人）であった。グループ3は、「乳児院に入所している」が50.8%（63人）と最も多く、続いて「里親等が家庭で養育している」が15.3%（19人）、「実親が家庭で養育している」が14.5%（18人）であった。グループ4は、「実親が家庭で養育している」が34.5%（39人）と最も多く、続いて「里親等が家庭で養育している」が22.1%（25人）、「わからない」が11.5%（13人）であった。

4. 調査結果に基づく分析

(1) 目的：妊娠に葛藤を抱える妊産婦の背景や特性

妊娠に葛藤を抱える妊産婦の特性や家庭環境、周囲とのつながりなどの概観を捉えつつ、妊産婦の背景や特性について傾向分析を実施することで、効果的な支援に向けた示唆を得ることを目指す。

(ア) 各グループを特徴付ける背景や特性についての検討

本項では、次項においてクラスタリングによる分析の切り口として利用するため、各グループを特徴付けるような背景や特性について検討する。検討に当たっては、「2. 単純集計・クロス集計」で示したグループ別のクロス集計表の結果に加えて、各グループに該当するか否かのバイナリデータを目的変数とし、各設問への回答を説明変数とした決定木の結果を利用する。決定木を利用することで、背景や特性をもとに該当のグループか否かを分ける判断を可視化し、各グループを特徴付ける要因を複合的な視点で検討した。

検討した結果については、以下で示すとおりである。4 パターンの決定木の条件分岐に採用された設問やクロス集計表において各グループに特徴的な傾向が見られた設問を記載した。

妊婦自身の特性については、基本情報としてQ 3（年齢）・Q 6（職業）、経済状況としてQ 10（生活保護受給状況）・Q 11（生計の収入源）・Q 12（経済状況の課題）、家族構成としてQ 18（支援開始時の家族構成）とQ 19（支援開始時の同居人の情報）を採用した。

家庭環境・成育歴等については、出産・養育意向等としてQ 25（出産希望）・Q 26（養育希望）・Q 27（予期していない/計画していない妊娠）、支援の必要性としてQ 30（妊娠に不安を抱えていたか）・Q 31（支援の必要性を感じていたか）、精神疾患等の特性としてQ 34（精神科医・心療内科での治療等の状況）・Q 35（知的障害の特性）・Q 36（発達障害の特性）、成育環境としてQ 39（逆境体験）・Q 40（養育環境）を採用した。

周囲とのつながりの状況については、Q 42（生活（家事等）に関する協力者）・Q 44（妊娠以外の悩みに係る相談相手）・Q 46（家族・親族へ何でも打ち明けられるか）の3つを採用した。

支援者や支援機関とのつながり・経過等については、Q 50_1（利用している支援）・Q 53（支援が困難になるような状況）を採用した。

(イ) 各グループ内での妊産婦の特性ごとの分類結果

階層的クラスタリング分析を用いて、G 1～G 4のグループごとに支援対象者が似た傾向を持つ複数のサブグループに分けた。これらのサブグループの特徴を回答傾向から把握することで、効果的な支援に向けて示唆を得る。

グループごとの階層的クラスタリング分析の結果に基づき、サブグループごとの回答傾向をまとめた表を以下に示す。また、表をもとに、各サブグループの主要な特徴をまとめた。

G 1 のサブグループごとの回答傾向

質問	サブグループ1	サブグループ2	サブグループ3	サブグループ4	サブグループ5
Q3【支援開始時】支援対象者は10歳以上15未満でしたか	0.00%	5.69%	0.00%	0.65%	0.46%
Q3【支援開始時】支援対象者は15歳以上20未満でしたか	6.32%	55.28%	3.51%	19.48%	19.18%
Q3【支援開始時】支援対象者は20歳以上25未満でしたか	13.83%	26.02%	17.25%	29.22%	29.68%
Q3【支援開始時】支援対象者は25歳以上30未満でしたか	25.30%	8.94%	26.02%	24.03%	21.00%
Q3【支援開始時】支援対象者は30歳以上35未満でしたか	29.64%	1.63%	26.32%	11.69%	14.16%
Q3【支援開始時】支援対象者は35歳以上40未満でしたか	17.79%	2.44%	20.18%	12.99%	10.05%
Q3【支援開始時】支援対象者は40歳以上45未満でしたか	7.11%	0.00%	6.14%	1.95%	5.48%
Q3【支援開始時】支援対象者は45歳以上50未満でしたか	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q3【支援開始時】支援対象者は50歳以上55未満でしたか	0.00%	0.00%	0.58%	0.00%	0.00%
Q6【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧（）内に業種も記載してください。※業種の記載例：小売業、サービス業など*その他（自由記述：）	5.14%	0.81%	6.43%	7.14%	8.68%
Q6【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧（）内に業種も記載してください。※業種の記載例：小売業、サービス業など*学生	1.58%	41.46%	0.00%	4.55%	6.85%
Q6【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧（）内に業種も記載してください。※業種の記載例：小売業、サービス業など*正規（業種：）	28.06%	4.88%	8.19%	2.60%	13.24%
Q6【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧（）内に業種も記載してください。※業種の記載例：小売業、サービス業など*無職（学生ではない：）	34.39%	34.96%	61.99%	62.99%	33.33%
Q6【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧（）内に業種も記載してください。※業種の記載例：小売業、サービス業など*非正規（業種：）	30.83%	17.89%	23.39%	22.73%	37.90%
Q10【支援開始時】支援対象者の生活保護受給歴について教えてください*わからない	22.13%	9.76%	7.89%	3.25%	19.18%
Q10【支援開始時】支援対象者の生活保護受給歴について教えてください*受給中	4.74%	9.76%	14.33%	26.62%	5.02%
Q10【支援開始時】支援対象者の生活保護受給歴について教えてください*受給歴なし	67.59%	76.42%	69.01%	55.84%	69.86%
Q10【支援開始時】支援対象者の生活保護受給歴について教えてください*過去に生活保護を受けていた	5.53%	4.07%	8.77%	14.29%	5.94%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。*その他（自由記述：）	5.93%	8.94%	19.01%	31.17%	11.42%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。*わからない	3.16%	0.81%	1.46%	4.55%	5.02%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。*パートナーの収入で生計を立てている	29.25%	0.00%	43.27%	12.34%	14.16%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。*自分自身とパートナーの収入で生計を立てている（共働き等）	47.43%	0.81%	19.88%	6.49%	17.35%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。*自分自身の収入で生計を立てている	11.46%	4.07%	9.65%	16.88%	29.22%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。*親等からの支援を受けて生計を立てている	2.77%	85.37%	6.73%	28.57%	22.83%
Q12【支援開始時】支援対象者の経済状況について該当するものをお選びください。*わからない	24.11%	13.01%	4.97%	3.90%	15.98%
Q12【支援開始時】支援対象者の経済状況について該当するものをお選びください。*経済状況に課題がある（借金がある）	9.88%	10.57%	35.67%	36.36%	16.89%
Q12【支援開始時】支援対象者の経済状況について該当するものをお選びください。*経済状況に課題がある（借金はなし）	19.37%	44.72%	41.81%	54.55%	54.34%
Q12【支援開始時】支援対象者の経済状況について該当するものをお選びください。*経済状況に課題はない	46.64%	31.71%	17.54%	5.19%	12.79%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 配偶者・パートナー	84.58%	12.20%	81.58%	47.40%	43.38%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 子ども	70.36%	13.01%	74.56%	17.53%	24.20%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 実父	8.70%	56.10%	9.94%	25.97%	20.55%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 実母	15.42%	91.06%	23.98%	45.45%	41.10%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 兄弟姉妹	5.53%	76.42%	11.99%	38.31%	29.68%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 養父	0.79%	4.88%	0.58%	4.55%	1.83%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 養母	1.58%	0.81%	0.00%	0.65%	0.46%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 継父	1.19%	4.07%	0.88%	1.95%	4.11%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 継母	0.00%	0.00%	0.00%	1.30%	1.83%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 義父	7.11%	0.00%	8.77%	3.25%	3.65%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 義母	8.30%	0.81%	11.99%	3.25%	5.02%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 祖父	3.16%	13.01%	2.63%	5.84%	1.83%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 祖母	3.16%	21.95%	6.43%	9.74%	8.22%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 わからない	0.40%	0.00%	0.00%	0.65%	2.74%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 その他（自由記述：）	13.44%	6.50%	17.25%	25.32%	23.29%

Q19【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 配偶者・パートナー	84.58%	7.32%	79.53%	45.45%	40.18%
Q19【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 子ども	68.77%	12.20%	71.35%	12.34%	24.20%
Q19【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 実父	1.19%	51.22%	2.05%	14.29%	12.79%
Q19【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 実母	2.77%	84.55%	6.73%	24.68%	26.03%
Q19【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 兄弟姉妹	1.19%	70.73%	2.63%	24.03%	17.35%
Q19【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 養父	0.00%	5.69%	0.58%	1.95%	1.37%
Q19【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 養母	0.00%	0.81%	0.29%	0.65%	1.37%
Q19【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 継父	0.40%	3.25%	0.00%	0.00%	2.28%
Q19【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 継母	0.00%	0.00%	0.00%	0.65%	0.46%
Q19【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 義父	3.95%	0.00%	4.39%	3.90%	3.20%
Q19【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 義母	4.35%	0.00%	7.60%	3.25%	3.65%
Q19【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 祖父	2.37%	13.01%	0.29%	4.55%	2.28%
Q19【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 祖母	2.37%	18.70%	2.63%	5.84%	4.57%
Q19【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 友人	0.00%	0.81%	0.88%	3.25%	0.46%
Q19【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 わからない	0.40%	0.00%	0.88%	1.95%	1.37%
Q19【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 その他（自由記述：）	11.86%	9.76%	12.87%	29.22%	28.77%
Q25 支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。_わからない	5.14%	8.13%	2.63%	3.90%	8.22%
Q25 支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。_出産の意向は決まっていなかった	4.35%	7.32%	6.14%	11.69%	9.59%
Q25 支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。_出産を希望していた	87.35%	75.61%	85.09%	75.97%	73.52%
Q25 支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。_出産を希望していなかった	3.16%	8.94%	6.14%	8.44%	8.68%
Q26 支援開始時、支援対象者は、養育を希望していましたか。_わからない	4.74%	8.13%	1.75%	2.60%	4.57%
Q26 支援開始時、支援対象者は、養育を希望していましたか。_養育の意向は決まっていなかった	4.74%	13.01%	7.02%	16.23%	10.05%
Q26 支援開始時、支援対象者は、養育を希望していましたか。_養育を希望していた	88.54%	70.73%	86.55%	70.13%	69.86%
Q26 支援開始時、支援対象者は、養育を希望していましたか。_養育を希望していなかった	1.98%	8.13%	4.39%	11.04%	15.53%
Q27 支援対象者にとって、今回の妊娠は予期していない／計画していない妊娠でしたが。_わからない	24.51%	13.01%	13.16%	11.04%	15.53%
Q27 支援対象者にとって、今回の妊娠は予期していない／計画していない妊娠でしたが。_予期していた／計画していた妊娠であった	30.83%	0.00%	22.22%	5.19%	10.05%
Q27 支援対象者にとって、今回の妊娠は予期していない／計画していない妊娠でしたが。_予期していない／計画していない妊娠であった	44.27%	86.99%	64.33%	83.77%	73.06%
Q30 支援開始時、支援対象者は今回の妊娠において何らかの不安を抱えていましたか。_わからない	7.11%	8.94%	4.68%	7.14%	9.13%
Q30 支援開始時、支援対象者は今回の妊娠において何らかの不安を抱えていましたか。_不安は特に感じていなかった	41.50%	25.20%	29.24%	16.23%	17.35%
Q30 支援開始時、支援対象者は今回の妊娠において何らかの不安を抱えていましたか。_不安を感じていた	51.38%	65.85%	66.08%	76.62%	73.52%
Q31 支援開始時、支援対象者は自身の支援の必要性を感じていましたか。_どちらともいえない	26.88%	33.33%	23.98%	21.43%	25.11%
Q31 支援開始時、支援対象者は自身の支援の必要性を感じていましたか。_支援の必要性を感じていた	31.23%	39.02%	45.61%	56.49%	47.03%
Q31 支援開始時、支援対象者は自身の支援の必要性を感じていましたか。_支援の必要性を感じていなかった	41.90%	27.64%	30.41%	22.08%	27.85%
Q34 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。_わからない	8.70%	4.88%	5.56%	5.84%	15.07%
Q34 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。_通院・治療が必要だが、未受診である	3.16%	2.44%	13.45%	18.18%	7.31%
Q34 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。_通院・治療の必要はない	57.31%	67.48%	35.67%	22.08%	50.68%
Q34 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。_通院・治療の必要性について判断がつかない	4.35%	8.13%	11.70%	10.39%	10.50%
Q34 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。_通院・治療中である	26.48%	17.07%	33.63%	43.51%	16.44%
Q35 支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について教えてください。_わからない	20.55%	9.76%	16.08%	10.39%	23.74%
Q35 支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について教えてください。_知的障害（精神遅滞）の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）	5.53%	7.32%	23.10%	34.42%	8.68%
Q35 支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について教えてください。_知的障害（精神遅滞）の特性は見受けられない	71.54%	73.98%	45.91%	26.62%	60.73%
Q35 支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について教えてください。_知的障害（精神遅滞）の診断を受けている	2.37%	8.94%	14.91%	28.57%	6.85%
Q36 支援対象者の発達障害の特性について教えてください。_わからない	30.04%	18.70%	27.78%	22.08%	39.27%
Q36 支援対象者の発達障害の特性について教えてください。_発達障害の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）	11.07%	13.82%	29.82%	39.61%	7.76%
Q36 支援対象者の発達障害の特性について教えてください。_発達障害の特性は見受けられない	55.73%	62.60%	33.92%	23.38%	47.95%
Q36 支援対象者の発達障害の特性について教えてください。_発達障害の診断を受けている	3.16%	4.88%	8.48%	14.94%	5.02%

Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 身体的虐待		8.70%	7.32%	16.67%	35.71%	10.96%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 心理的虐待		11.07%	8.13%	20.47%	40.91%	10.05%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 性的虐待		1.19%	1.63%	1.75%	9.09%	1.83%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 ネグレクト		8.30%	5.69%	16.37%	41.56%	17.35%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 親の離婚・別居		15.42%	29.27%	33.63%	53.25%	29.68%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 親との死別		2.77%	0.81%	3.51%	7.14%	4.57%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 両親の間にDVがあった		1.98%	7.32%	5.26%	12.99%	3.65%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 家族のアルコール・薬物乱用		1.98%	0.81%	2.63%	8.44%	3.20%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 家族の精神疾患・自殺（未遂を含む）		4.35%	11.38%	7.60%	16.23%	5.48%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 家族の服役		1.19%	0.00%	0.58%	1.95%	1.37%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 親からの過干渉		1.98%	4.88%	6.73%	12.99%	4.57%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 学校や職場等でのいじめ・孤立・孤独		2.77%	11.38%	10.23%	22.73%	2.74%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 震災経験		0.00%	0.00%	0.00%	1.30%	0.91%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 経済困窮		2.37%	8.13%	14.04%	35.71%	9.59%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 わからない		56.13%	29.27%	35.09%	11.69%	41.10%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 その他（自由記述：）		5.14%	4.07%	7.60%	6.49%	9.13%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 幼少期における逆境体験はない		6.72%	15.45%	2.63%	1.30%	6.39%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。 実親		79.45%	97.56%	87.43%	79.22%	81.74%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。 里親		0.00%	0.00%	0.29%	0.00%	0.46%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。 養子縁組		0.40%	0.00%	0.88%	1.30%	0.46%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。 親族宅		2.77%	0.81%	3.22%	9.74%	4.11%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。 知人友人宅		0.00%	0.00%	0.29%	0.65%	0.46%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。 ファミリーホーム		0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。 乳児院		0.40%	0.81%	0.29%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。 児童養護施設		1.98%	0.81%	3.80%	11.04%	5.02%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。 児童心理治療施設		0.00%	0.00%	0.29%	0.65%	0.46%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。 児童自立支援施設		0.00%	0.00%	0.29%	1.30%	1.37%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。 母子生活支援施設		0.40%	0.00%	0.29%	1.95%	0.46%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。 自立援助ホーム		0.00%	0.00%	0.00%	0.65%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。 わからない		16.21%	0.00%	7.89%	1.30%	9.13%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。 その他（自由記述：）		1.58%	1.63%	1.17%	5.19%	2.28%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。 配偶者・パートナー		44.27%	15.45%	13.16%	4.55%	8.22%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。 子ども		4.35%	0.00%	1.46%	0.00%	0.46%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。 実父		7.51%	33.33%	2.34%	1.95%	8.22%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。 実母		25.30%	73.98%	9.65%	4.55%	22.37%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。 兄弟姉妹		5.14%	32.52%	4.09%	1.30%	6.39%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。 養父		0.40%	3.25%	0.00%	0.00%	0.91%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。 養母		0.79%	0.81%	0.00%	0.00%	1.37%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。 継父		0.00%	0.81%	0.29%	0.00%	0.46%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。 継母		0.00%	0.00%	0.29%	0.00%	0.00%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。 義父		5.53%	0.81%	3.22%	0.00%	0.91%

Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。 義母	7.91%	1.63%	5.56%	1.30%	1.83%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。 祖父	1.58%	7.32%	0.00%	0.00%	1.83%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。 祖母	1.58%	13.82%	1.46%	1.30%	2.74%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。 里親	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。 友人	3.56%	1.63%	0.88%	0.65%	1.83%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。 児童福祉施設の職員等	0.79%	0.00%	1.17%	0.00%	0.00%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。 近隣住民	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。 わからない	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.46%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 配偶者・パートナー	47.83%	19.51%	39.77%	17.53%	17.35%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 こども	1.58%	0.00%	2.05%	0.65%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 実父	6.32%	17.07%	4.09%	3.25%	6.39%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 実母	31.23%	58.54%	28.36%	16.88%	27.40%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 兄弟姉妹	9.88%	28.46%	13.45%	7.79%	11.87%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 養父	0.40%	0.81%	0.29%	0.00%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 養母	0.40%	0.00%	1.17%	0.00%	0.91%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 継父	0.00%	0.81%	0.29%	0.00%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 継母	0.40%	0.00%	0.00%	0.00%	0.46%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 義父	2.37%	0.81%	0.88%	0.00%	0.46%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 義母	3.16%	0.00%	3.51%	1.30%	0.46%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 祖父	0.00%	4.88%	0.29%	1.95%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 祖母	2.77%	8.13%	0.58%	2.60%	2.28%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 里親	0.00%	0.00%	0.00%	0.65%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 友人	15.81%	15.45%	13.16%	18.83%	24.66%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 児童福祉施設の職員等	2.37%	0.00%	7.60%	3.25%	1.37%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 近隣住民	1.19%	0.00%	0.29%	0.65%	0.91%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 支援対象者の職場関係者	2.77%	1.63%	1.46%	1.30%	2.28%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 役所などの行政の支援者	13.44%	9.76%	30.99%	25.32%	14.61%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 助産師・小児科医・産婦人科などの医療関係者	4.35%	5.69%	9.06%	9.09%	5.48%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 民間サービスの支援者	2.37%	0.00%	6.14%	2.60%	2.28%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 わからない	0.79%	3.25%	0.00%	0.65%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 その他（自由記述：）	1.98%	5.69%	6.73%	11.04%	3.20%
Q46 支援対象者は家族・親族（実母・実父・祖父母等）に何でも打ち明けることができますか。いい	23.72%	9.76%	43.27%	62.99%	34.70%
Q46 支援対象者は家族・親族（実母・実父・祖父母等）に何でも打ち明けることができますか。はい	33.60%	57.72%	23.39%	8.44%	25.57%
Q46 支援対象者は家族・親族（実母・実父・祖父母等）に何でも打ち明けることができますか。わからない	38.74%	32.52%	24.85%	15.58%	36.53%
Q46 支援対象者は家族・親族（実母・実父・祖父母等）に何でも打ち明けることができますか。相談できる家族・親族（実母・実父・祖父母等）はいない	3.95%	0.00%	8.48%	12.99%	3.20%

Q50_1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。相談支援（電話・メール等非対面型相談）	82.21%	86.99%	91.23%	88.96%	86.30%
Q50_1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）	54.94%	67.48%	75.15%	82.47%	76.26%
Q50_1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。通所型支援	5.93%	4.88%	3.80%	14.94%	2.28%
Q50_1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。入所型支援	2.37%	2.44%	4.68%	17.53%	3.65%
Q50_1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。訪問型支援	60.87%	42.28%	65.20%	75.97%	54.34%
Q50_1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。その他（自由記述：）	4.35%	3.25%	5.85%	3.90%	5.94%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。支援機関につながった時期が遅かった	2.77%	16.26%	9.36%	22.08%	19.63%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。妊婦健診がほぼ未受診だった	1.19%	9.76%	9.06%	20.78%	15.53%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。連絡が付かないことがあった	20.16%	26.83%	43.27%	53.25%	52.97%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。居場所が分からなくなることがあった	0.79%	1.63%	5.56%	20.78%	15.98%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。飛び込み出産だった	0.40%	0.00%	0.29%	1.95%	1.37%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。孤立出産（予期せぬ妊娠等のうち、医療による援助がない出産）だった	0.00%	0.81%	0.58%	0.65%	1.37%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。その他（自由記述：）	12.65%	13.01%	23.68%	27.92%	11.87%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。支援が困難になる状況はなかった	67.98%	49.59%	32.46%	16.23%	28.31%

G 1 のサブグループごとの主要な特徴

サブグループ	主な特徴
1 (n = 253)	20 代から 30 代の既婚者が主であり、経済的には配偶者・パートナーが生計の一部を支えているケースが多く、親族からの支援に依存する傾向が低いことが特徴的である。配偶者・パートナーや子どもと同居している割合が比較的高く、実母や兄弟姉妹との同居は少ない。また、妊娠に関しては計画的で不安も少ない傾向が見られる。
2 (n = 123)	未婚の若年層（特に 10 代後半）の対象者の割合が高く、学生のケースも多い。親等からの支援を受けて生計を立てており、実父母や兄弟姉妹と同居しているケースが多い。また、妊娠に関しては計画的でなかった傾向が見られる。
3 (n = 342)	20 代から 30 代の既婚者が主であり、経済的には親等からの経済支援が少なく、パートナーの収入に頼っているケースが多い。配偶者・パートナー、子どもと同居している傾向が見られる。
4 (n = 154)	10 代から 20 代を対象者が主であり、借金を含め、経済的課題が他のサブグループより多く、妊娠に関しての不安も大きい。また、知的障害の特性が見受けられる傾向にあり、診断を受けているケースが多い。幼少期の養育環境では、ネグレクトや心理的・身体的虐待、経済困窮、親の離婚・別居といった逆境体験等がある傾向にある。家族関係においては、家族・親族に相談できないことが多い。支援形態としては、訪問型支援の利用が他のサブグループと比較して多いが、連絡がつかない等の理由で支援が困難になったケースも一定数見受けられる。
5 (n = 219)	10 代から 20 代の未婚の対象者が主である。他のサブグループと比較し、生活保護の受給が少なく、自身の収入で生計を立てているケースが多いが、非正規雇用が多い傾向にある。過去の逆境体験については、「わからない」という回答が比較的多い。連絡がつかない等の理由で支援が困難になるケースもある。

G 2 のサブグループごとの回答傾向

質問	サブグループ1	サブグループ2	サブグループ3
Q3【支援開始時】支援対象者は10歳以上15未満でしたか	0.00%	0.00%	0.00%
Q3【支援開始時】支援対象者は15歳以上20未満でしたか	32.35%	0.00%	14.29%
Q3【支援開始時】支援対象者は20歳以上25未満でしたか	44.12%	17.95%	38.10%
Q3【支援開始時】支援対象者は25歳以上30未満でしたか	2.94%	25.64%	28.57%
Q3【支援開始時】支援対象者は30歳以上35未満でしたか	8.82%	20.51%	9.52%
Q3【支援開始時】支援対象者は35歳以上40未満でしたか	8.82%	25.64%	9.52%
Q3【支援開始時】支援対象者は40歳以上45未満でしたか	2.94%	10.26%	0.00%
Q3【支援開始時】支援対象者は45歳以上50未満でしたか	0.00%	0.00%	0.00%
Q3【支援開始時】支援対象者は50歳以上55未満でしたか	0.00%	0.00%	0.00%
Q6【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧（ ）内に業種も記載してください。※業種の記載例：小売業、サービス業など*その他（自由記述：）	11.76%	7.69%	4.76%
Q6【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧（ ）内に業種も記載してください。※業種の記載例：小売業、サービス業など*学生	26.47%	0.00%	14.29%
Q6【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧（ ）内に業種も記載してください。※業種の記載例：小売業、サービス業など*正規（業種：）	11.76%	28.21%	23.81%
Q6【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧（ ）内に業種も記載してください。※業種の記載例：小売業、サービス業など*無職（学生ではない：）	23.53%	25.64%	33.33%
Q6【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧（ ）内に業種も記載してください。※業種の記載例：小売業、サービス業など*非正規（業種：）	26.47%	38.46%	23.81%
Q10【支援開始時】支援対象者の生活保護受給歴について教えてください*わからない	20.59%	12.82%	0.00%
Q10【支援開始時】支援対象者の生活保護受給歴について教えてください*受給中	2.94%	10.26%	9.52%
Q10【支援開始時】支援対象者の生活保護受給歴について教えてください*受給歴なし	73.53%	69.23%	85.71%
Q10【支援開始時】支援対象者の生活保護受給歴について教えてください*過去に生活保護を受けていた	2.94%	7.69%	4.76%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。_その他（自由記述：）	2.94%	15.38%	0.00%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。_わからない	8.82%	5.13%	0.00%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。_パートナーの収入で生計を立てている	2.94%	12.82%	23.81%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。_自分自身とパートナーの収入で生計を立てている（共働き等）	0.00%	41.03%	38.10%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。_自分自身の収入で生計を立てている	8.82%	20.51%	23.81%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。_親等からの支援を受けて生計を立てている	76.47%	5.13%	14.29%
Q12【支援開始時】支援対象者の経済状況について該当するものをお選びください。*わからない	14.71%	17.95%	4.76%
Q12【支援開始時】支援対象者の経済状況について該当するものをお選びください。*経済状況に課題がある（借金がある）	11.76%	30.77%	9.52%
Q12【支援開始時】支援対象者の経済状況について該当するものをお選びください。*経済状況に課題がある（借金はない）	20.59%	35.90%	57.14%
Q12【支援開始時】支援対象者の経済状況について該当するものをお選びください。*経済状況に課題はない	52.94%	15.38%	28.57%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 配偶者・パートナー	5.88%	64.10%	80.95%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 子ども	38.24%	58.97%	71.43%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 実父	70.59%	10.26%	23.81%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 実母	91.18%	12.82%	33.33%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 兄弟姉妹	70.59%	17.95%	19.05%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 養父	0.00%	0.00%	4.76%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 養母	0.00%	0.00%	0.00%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 継父	2.94%	0.00%	4.76%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 継母	0.00%	0.00%	0.00%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 義父	0.00%	2.56%	9.52%

Q18 【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 義母	0.00%	2.56%	19.05%
Q18 【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 祖父	11.76%	0.00%	4.76%
Q18 【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 祖母	23.53%	2.56%	0.00%
Q18 【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 わからない	0.00%	2.56%	0.00%
Q18 【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 その他（自由記述：）	8.82%	23.08%	4.76%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 配偶者・パートナー	5.88%	66.67%	71.43%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 こども	41.18%	56.41%	71.43%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 実父	67.65%	5.13%	9.52%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 実母	79.41%	5.13%	14.29%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 兄弟姉妹	47.06%	10.26%	4.76%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 養父	0.00%	0.00%	0.00%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 養母	0.00%	0.00%	0.00%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 継父	2.94%	0.00%	4.76%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 継母	0.00%	0.00%	0.00%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 義父	0.00%	2.56%	0.00%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 義母	0.00%	5.13%	9.52%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 祖父	5.88%	0.00%	0.00%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 祖母	17.65%	0.00%	0.00%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 友人	0.00%	2.56%	0.00%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 わからない	0.00%	2.56%	0.00%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 その他（自由記述：）	8.82%	12.82%	9.52%
Q25 支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。_わからない	50.00%	41.03%	19.05%
Q25 支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。_出産の意向は決まっていなかった	29.41%	17.95%	9.52%
Q25 支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。_出産を希望していた	2.94%	30.77%	66.67%
Q25 支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。_出産を希望していなかった	17.65%	10.26%	4.76%
Q26 支援開始時、支援対象者は、養育を希望していましたか。_わからない	17.65%	17.95%	0.00%
Q26 支援開始時、支援対象者は、養育を希望していましたか。_養育の意向は決まっていなかった	26.47%	17.95%	9.52%
Q26 支援開始時、支援対象者は、養育を希望していましたか。_養育を希望していた	44.12%	64.10%	85.71%
Q26 支援開始時、支援対象者は、養育を希望していましたか。_養育を希望していなかった	11.76%	0.00%	4.76%
Q27 支援対象者にとって、今回の妊娠は予期していない／計画していない妊娠でしたか。_わからない	5.88%	10.26%	9.52%
Q27 支援対象者にとって、今回の妊娠は予期していない／計画していない妊娠でしたか。_予期していた／計画していた妊娠であった	0.00%	0.00%	38.10%
Q27 支援対象者にとって、今回の妊娠は予期していない／計画していない妊娠でしたか。_予期していない／計画していない妊娠であった	94.12%	87.18%	52.38%

Q30 支援開始時、支援対象者は今回の妊娠において何らかの不安を抱えていましたか。_わからない	50.00%	33.33%	33.33%
Q30 支援開始時、支援対象者は今回の妊娠において何らかの不安を抱えていましたか。_不安は特に感じていなかった	5.88%	15.38%	28.57%
Q30 支援開始時、支援対象者は今回の妊娠において何らかの不安を抱えていましたか。_不安を感じていた	44.12%	51.28%	38.10%
Q31 支援開始時、支援対象者は自身の支援の必要性を感じていましたか。_どちらともいえない	52.94%	30.77%	23.81%
Q31 支援開始時、支援対象者は自身の支援の必要性を感じていましたか。_支援の必要性を感じていた	17.65%	38.46%	42.86%
Q31 支援開始時、支援対象者は自身の支援の必要性を感じていましたか。_支援の必要性を感じていなかった	29.41%	30.77%	33.33%
Q34 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。*わからない	20.59%	5.13%	4.76%
Q34 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。*通院・治療が必要だが、未受診である	2.94%	2.56%	0.00%
Q34 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。*通院・治療の必要はない	55.88%	53.85%	80.95%
Q34 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。*通院・治療の必要性について判断がつかない	8.82%	20.51%	0.00%
Q34 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。*通院・治療中である	11.76%	17.95%	14.29%
Q35 支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について教えてください。_わからない	17.65%	15.38%	14.29%
Q35 支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について教えてください。_知的障害（精神遅滞）の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）	14.71%	25.64%	19.05%
Q35 支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について教えてください。_知的障害（精神遅滞）の特性は見受けられない	55.88%	56.41%	66.67%
Q35 支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について教えてください。_知的障害（精神遅滞）の診断を受けている	11.76%	2.56%	0.00%
Q36 支援対象者の発達障害の特性について教えてください。_わからない	35.29%	25.64%	19.05%
Q36 支援対象者の発達障害の特性について教えてください。_発達障害の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）	11.76%	41.03%	28.57%
Q36 支援対象者の発達障害の特性について教えてください。_発達障害の特性は見受けられない	47.06%	33.33%	52.38%
Q36 支援対象者の発達障害の特性について教えてください。_発達障害の診断を受けている	5.88%	0.00%	0.00%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 身体的虐待	2.94%	5.13%	4.76%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 心理的虐待	5.88%	2.56%	4.76%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 性的虐待	0.00%	2.56%	0.00%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 ネグレクト	0.00%	5.13%	14.29%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 親の離婚・別居	8.82%	20.51%	38.10%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 親との死別	0.00%	0.00%	0.00%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 両親の間にDVがあった	5.88%	2.56%	0.00%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 家族のアルコール・薬物乱用	0.00%	0.00%	4.76%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 家族の精神疾患・自殺（未遂を含む）	5.88%	2.56%	4.76%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 家族の服役	0.00%	0.00%	4.76%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 親からの過干渉	8.82%	2.56%	4.76%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 学校や職場等でのいじめ・孤立・孤独	2.94%	0.00%	4.76%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 震災経験	2.94%	2.56%	0.00%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 経済困窮	0.00%	2.56%	4.76%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 わからない	47.06%	56.41%	47.62%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 その他（自由記述：）	5.88%	7.69%	0.00%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 幼少期における逆境体験はない	17.65%	2.56%	0.00%

Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。実親	91.18%	84.62%	90.48%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。里親	2.94%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。養子縁組	2.94%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。親族宅	0.00%	7.69%	9.52%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。知人友人宅	0.00%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。ファミリーホーム	0.00%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。乳児院	0.00%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。児童養護施設	2.94%	2.56%	4.76%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。児童心理治療施設	0.00%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。児童自立支援施設	0.00%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。母子生活支援施設	0.00%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。自立援助ホーム	0.00%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。わからない	5.88%	7.69%	9.52%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。その他（自由記述：）	0.00%	0.00%	0.00%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。配偶者・パートナー	14.71%	25.64%	61.90%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。こども	0.00%	5.13%	4.76%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。実父	50.00%	2.56%	28.57%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。実母	79.41%	7.69%	42.86%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。兄弟姉妹	41.18%	2.56%	19.05%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。養父	2.94%	0.00%	0.00%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。養母	0.00%	0.00%	0.00%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。継父	2.94%	0.00%	4.76%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。継母	0.00%	0.00%	0.00%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。義父	0.00%	2.56%	4.76%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。義母	0.00%	5.13%	19.05%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。祖父	11.76%	0.00%	0.00%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。祖母	29.41%	0.00%	0.00%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。里親	0.00%	0.00%	0.00%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。友人	5.88%	2.56%	23.81%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。児童福祉施設の職員等	0.00%	0.00%	0.00%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。近隣住民	0.00%	0.00%	0.00%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。わからない	0.00%	0.00%	0.00%

Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。配偶者・パートナー	8.82%	30.77%	52.38%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。こども	0.00%	0.00%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。実父	20.59%	5.13%	28.57%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。実母	44.12%	20.51%	38.10%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。兄弟姉妹	23.53%	7.69%	23.81%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。養父	0.00%	0.00%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。養母	0.00%	0.00%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。継父	0.00%	0.00%	4.76%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。継母	0.00%	0.00%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。義父	0.00%	2.56%	4.76%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。義母	0.00%	2.56%	4.76%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。祖父	2.94%	0.00%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。祖母	11.76%	0.00%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。里親	0.00%	0.00%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。友人	14.71%	15.38%	23.81%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。児童福祉施設の職員等	0.00%	2.56%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。近隣住民	0.00%	0.00%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。支援対象者の職場関係者	0.00%	2.56%	4.76%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。役所などの行政の支援者	8.82%	12.82%	4.76%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。助産師・小児科医・産婦人科などの医療関係者	8.82%	5.13%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。民間サービスの支援者	0.00%	5.13%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。わからない	2.94%	0.00%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。その他（自由記述：）	0.00%	2.56%	14.29%
Q46 支援対象者は家族・親族（実母・実父・祖父母等）に何でも打ち明けることができますか。いいえ	17.65%	53.85%	9.52%
Q46 支援対象者は家族・親族（実母・実父・祖父母等）に何でも打ち明けることができますか。はい	44.12%	20.51%	33.33%
Q46 支援対象者は家族・親族（実母・実父・祖父母等）に何でも打ち明けることができますか。わからない	38.24%	17.95%	57.14%
Q46 支援対象者は家族・親族（実母・実父・祖父母等）に何でも打ち明けることができますか。相談できる家族・親族（実母・実父・祖父母等）はいない	0.00%	7.69%	0.00%
Q50_1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。相談支援（電話・メール等非対面型相談）	79.41%	82.05%	90.48%
Q50_1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）	61.76%	84.62%	47.62%
Q50_1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。通所型支援	5.88%	10.26%	0.00%
Q50_1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。入所型支援	2.94%	10.26%	19.05%
Q50_1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。訪問型支援	64.71%	53.85%	90.48%
Q50_1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。その他（自由記述：）	0.00%	5.13%	4.76%

Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。 支援機関につながった時期が遅かった		26.47%	35.90%	4.76%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。 妊婦健診がほぼ未受診だった		26.47%	48.72%	4.76%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。 連絡が付かないことがあった		5.88%	25.64%	14.29%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。 居場所が分からなくなることがあった		2.94%	5.13%	0.00%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。 飛び込み出産だった		67.65%	69.23%	42.86%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。 孤立出産（予期せぬ妊娠等のうち、医療による援助がない出産）だった		14.71%	23.08%	4.76%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。 その他（自由記述）		17.65%	20.51%	4.76%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。 支援が困難になる状況はなかった		2.94%	0.00%	33.33%

G 2 のサブグループごとの主要な特徴

サブグループ	主な特徴
1 (n = 34)	未婚の若年層（10 代後半～20 代前半）の対象者が主であり、学生のケースも多いのが特徴である。生活保護受給は極めて少なく、家族からの支援を受けて生計を立てており、経済状況に関する課題は少ない傾向にある。また、実父母や兄弟姉妹の家族と同居している傾向がある。他のサブグループと比較し、出産に関して「希望していなかった」「意向は決まっていなかった」「わからない」というケースが多く、予期せぬ妊娠の割合が高い。
2 (n = 39)	20 代～30 代の対象者が主であり、パートナーと共働きで生計を立てている傾向があるが、非正規雇用が多く、生活面でも親等の家族から援助を受けられない傾向にある。パートナーとは同居しているケースが多い。また、予期せぬ妊娠であった割合が高い。発達障害の診断は受けていないものの、発達障害の特性が見られる対象者が多い。また、家族に「何でも打ち明けることができるか」という質問に対してはいいえと回答する傾向が見られ、支援形態としては対面型も含め相談支援を利用するケースが多い。
3 (n = 21)	20 代前半の既婚者が多い。出産・養育を希望している割合が多く、妊娠が計画的であったケースが多い。また、親の離婚・別居等の逆境体験等を経験している傾向がある。支援形態としては、非対面型の相談支援や訪問型支援を利用するケースが多い。

G 3 のサブグループごとの回答傾向

質問	サブグループ1	サブグループ2	サブグループ3	サブグループ4
Q3【支援開始時】支援対象者は10歳以上15未満でしたか	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q3【支援開始時】支援対象者は15歳以上20未満でしたか	3.23%	3.23%	0.00%	26.47%
Q3【支援開始時】支援対象者は20歳以上25未満でしたか	45.16%	9.68%	57.14%	44.12%
Q3【支援開始時】支援対象者は25歳以上30未満でしたか	29.03%	38.71%	25.00%	17.65%
Q3【支援開始時】支援対象者は30歳以上35未満でしたか	12.90%	22.58%	7.14%	2.94%
Q3【支援開始時】支援対象者は35歳以上40未満でしたか	6.45%	16.13%	10.71%	2.94%
Q3【支援開始時】支援対象者は40歳以上45未満でしたか	3.23%	6.45%	0.00%	5.88%
Q3【支援開始時】支援対象者は45歳以上50未満でしたか	0.00%	3.23%	0.00%	0.00%
Q3【支援開始時】支援対象者は50歳以上55未満でしたか	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q6【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧（）内に業種も記載してください。※業種の記載例：小売業、サービス業など*その他（自由記述：）	9.68%	6.45%	25.00%	5.88%
Q6【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧（）内に業種も記載してください。※業種の記載例：小売業、サービス業など*学生	6.45%	3.23%	3.57%	32.35%
Q6【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧（）内に業種も記載してください。※業種の記載例：小売業、サービス業など*正規（業種：）	9.68%	9.68%	10.71%	17.65%
Q6【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧（）内に業種も記載してください。※業種の記載例：小売業、サービス業など*無職（学生ではない：）	29.03%	61.29%	25.00%	11.76%
Q6【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧（）内に業種も記載してください。※業種の記載例：小売業、サービス業など*非正規（業種：）	45.16%	19.35%	35.71%	32.35%
Q10【支援開始時】支援対象者の生活保護受給歴について教えてください*わからない	3.23%	16.13%	46.43%	0.00%
Q10【支援開始時】支援対象者の生活保護受給歴について教えてください*受給中	3.23%	19.35%	3.57%	0.00%
Q10【支援開始時】支援対象者の生活保護受給歴について教えてください*受給歴なし	87.10%	54.84%	50.00%	94.12%
Q10【支援開始時】支援対象者の生活保護受給歴について教えてください*過去に生活保護を受けていた	6.45%	9.68%	0.00%	5.88%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。*その他（自由記述：）	9.68%	22.58%	0.00%	0.00%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。*わからない	0.00%	0.00%	3.57%	5.88%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。*パートナーの収入で生計を立てている	19.35%	35.48%	3.57%	2.94%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。*自分自身とパートナーの収入で生計を立てている（共働き等）	16.13%	25.81%	17.86%	5.88%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。*自分自身の収入で生計を立てている	51.61%	6.45%	42.86%	26.47%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。*親等からの支援を受けて生計を立てている	3.23%	9.68%	32.14%	58.82%
Q12【支援開始時】支援対象者の経済状況について該当するものをお選びください。*わからない	6.45%	16.13%	50.00%	20.59%
Q12【支援開始時】支援対象者の経済状況について該当するものをお選びください。*経済状況に課題がある（借金がある）	22.58%	22.58%	7.14%	8.82%
Q12【支援開始時】支援対象者の経済状況について該当するものをお選びください。*経済状況に課題がある（借金はない）	61.29%	25.81%	25.00%	17.65%
Q12【支援開始時】支援対象者の経済状況について該当するものをお選びください。*経済状況に課題はない	9.68%	35.48%	17.86%	52.94%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 配偶者・パートナー	38.71%	74.19%	17.86%	14.71%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 子ども	6.45%	70.97%	10.71%	26.47%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 実父	35.48%	9.68%	10.71%	47.06%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 実母	48.39%	19.35%	53.57%	85.29%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 兄弟姉妹	35.48%	6.45%	21.43%	47.06%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 養父	3.23%	0.00%	0.00%	0.00%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 養母	0.00%	3.23%	0.00%	0.00%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 継父	6.45%	0.00%	3.57%	5.88%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 継母	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 義父	0.00%	6.45%	0.00%	0.00%

Q18 【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 義母	0.00%	16.13%	0.00%	0.00%
Q18 【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 祖父	0.00%	0.00%	0.00%	20.59%
Q18 【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 祖母	6.45%	0.00%	10.71%	29.41%
Q18 【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 わからない	3.23%	0.00%	3.57%	0.00%
Q18 【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 その他（自由記述：）	25.81%	6.45%	21.43%	14.71%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 配偶者・パートナー	48.39%	74.19%	25.00%	14.71%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 こども	6.45%	67.74%	7.14%	11.76%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 実父	3.23%	3.23%	3.57%	35.29%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 実母	0.00%	12.90%	32.14%	67.65%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 兄弟姉妹	0.00%	3.23%	7.14%	44.12%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 養父	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 養母	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 継父	0.00%	0.00%	0.00%	2.94%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 継母	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 養父	0.00%	9.68%	0.00%	0.00%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 義母	0.00%	16.13%	0.00%	0.00%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 祖父	0.00%	0.00%	0.00%	11.76%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 祖母	0.00%	0.00%	3.57%	20.59%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 友人	9.68%	0.00%	7.14%	0.00%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 わからない	6.45%	0.00%	3.57%	0.00%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 その他（自由記述：）	38.71%	9.68%	28.57%	14.71%
Q25 支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。_わからない	9.68%	35.48%	67.86%	29.41%
Q25 支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。_出産の意向は決まっていなかった	48.39%	9.68%	7.14%	17.65%
Q25 支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。_出産を希望していた	38.71%	51.61%	7.14%	14.71%
Q25 支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。_出産を希望していなかった	3.23%	3.23%	17.86%	38.24%
Q26 支援開始時、支援対象者は、養育を希望していましたか。_わからない	3.23%	9.68%	10.71%	0.00%
Q26 支援開始時、支援対象者は、養育を希望していましたか。_養育の意向は決まっていなかった	22.58%	12.90%	28.57%	5.88%
Q26 支援開始時、支援対象者は、養育を希望していましたか。_養育を希望していた	45.16%	61.29%	28.57%	44.12%
Q26 支援開始時、支援対象者は、養育を希望していましたか。_養育を希望していなかった	29.03%	16.13%	32.14%	50.00%
Q27 支援対象者にとって、今回の妊娠は予期していない／計画していない妊娠でしたか。_わからない	0.00%	29.03%	17.86%	2.94%
Q27 支援対象者にとって、今回の妊娠は予期していない／計画していない妊娠でしたか。_予期していた／計画していた妊娠であった	3.23%	9.68%	0.00%	0.00%
Q27 支援対象者にとって、今回の妊娠は予期していない／計画していない妊娠でしたか。_予期していない／計画していない妊娠であった	96.77%	61.29%	82.14%	97.06%
Q30 支援開始時、支援対象者は今回の妊娠において何らかの不安を抱えていましたか。_わからない	32.26%	19.35%	46.43%	38.24%
Q30 支援開始時、支援対象者は今回の妊娠において何らかの不安を抱えていましたか。_不安は特に感じていなかった	19.35%	9.68%	10.71%	20.59%
Q30 支援開始時、支援対象者は今回の妊娠において何らかの不安を抱えていましたか。_不安を感じていた	48.39%	70.97%	42.86%	41.18%
Q31 支援開始時、支援対象者は自身の支援の必要性を感じていましたか。_どちらともいえない	29.03%	22.58%	75.00%	20.59%
Q31 支援開始時、支援対象者は自身の支援の必要性を感じていましたか。_支援の必要性を感じていた	48.39%	67.74%	10.71%	55.88%
Q31 支援開始時、支援対象者は自身の支援の必要性を感じていましたか。_支援の必要性を感じていなかった	22.58%	9.68%	14.29%	23.53%
Q34 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。*わからない	9.68%	9.68%	25.00%	2.94%
Q34 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。*通院・治療が必要だが、未受診である	12.90%	9.68%	3.57%	5.88%
Q34 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。*通院・治療の必要はない	38.71%	38.71%	32.14%	76.47%
Q34 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。*通院・治療の必要性について判断がつかない	22.58%	16.13%	28.57%	2.94%
Q34 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。*通院・治療中である	16.13%	25.81%	10.71%	11.76%

Q35 支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について教えてください。わからない	16.13%	19.35%	25.00%	5.88%
Q35 支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について教えてください。知的障害（精神遅滞）の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）	22.58%	29.03%	10.71%	2.94%
Q35 支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について教えてください。知的障害（精神遅滞）の特性は見受けられない	61.29%	48.39%	53.57%	91.18%
Q35 支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について教えてください。知的障害（精神遅滞）の診断を受けている	0.00%	3.23%	10.71%	0.00%
Q36 支援対象者の発達障害の特性について教えてください。わからない	12.90%	25.81%	64.29%	8.82%
Q36 支援対象者の発達障害の特性について教えてください。発達障害の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）	16.13%	38.71%	3.57%	11.76%
Q36 支援対象者の発達障害の特性について教えてください。発達障害の特性は見受けられない	67.74%	35.48%	32.14%	79.41%
Q36 支援対象者の発達障害の特性について教えてください。発達障害の診断を受けている	3.23%	0.00%	0.00%	0.00%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものすべてをお選びください。身体的虐待	6.45%	19.35%	7.14%	2.94%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものすべてをお選びください。心理的虐待	19.35%	29.03%	7.14%	2.94%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものすべてをお選びください。性的虐待	3.23%	6.45%	7.14%	0.00%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものすべてをお選びください。ネグレクト	12.90%	16.13%	0.00%	11.76%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものすべてをお選びください。親の離婚・別居	41.94%	29.03%	32.14%	17.65%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものすべてをお選びください。親との死別	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものすべてをお選びください。両親の間にDVがあった	9.68%	19.35%	3.57%	0.00%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものすべてをお選びください。家族のアルコール・薬物乱用	3.23%	0.00%	0.00%	0.00%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものすべてをお選びください。家族の精神疾患・自殺（未遂を含む）	6.45%	0.00%	7.14%	5.88%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものすべてをお選びください。家族の服役	3.23%	0.00%	0.00%	0.00%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものすべてをお選びください。親からの過干渉	12.90%	0.00%	0.00%	5.88%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものすべてをお選びください。学校や職場等でのいじめ・孤立・孤独	19.35%	29.03%	14.29%	2.94%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものすべてをお選びください。震災経験	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものすべてをお選びください。経済困窮	0.00%	25.81%	0.00%	2.94%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものすべてをお選びください。わからない	12.90%	25.81%	50.00%	17.65%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものすべてをお選びください。その他（自由記述）	9.68%	0.00%	10.71%	0.00%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものすべてをお選びください。幼少期における逆境体験はない	12.90%	12.90%	3.57%	44.12%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。実親	87.10%	93.55%	78.57%	91.18%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。里親	0.00%	0.00%	3.57%	2.94%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。養子縁組	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。親族宅	9.68%	0.00%	10.71%	2.94%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。知人友人宅	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。ファミリーホーム	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。乳児院	0.00%	6.45%	3.57%	2.94%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。児童養護施設	3.23%	0.00%	7.14%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。児童心理治療施設	3.23%	0.00%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。児童自立支援施設	6.45%	0.00%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。母子生活支援施設	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。自立援助ホーム	3.23%	0.00%	3.57%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。わからない	3.23%	3.23%	7.14%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。その他（自由記述）	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

82

Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 祖父	0.00%	0.00%	0.00%	5.88%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 祖母	0.00%	0.00%	0.00%	8.82%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 里親	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 友人	9.68%	9.68%	3.57%	17.65%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 児童福祉施設の職員等	3.23%	0.00%	0.00%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 近隣住民	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 支援対象者の職場関係者	0.00%	6.45%	0.00%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 役所などの行政の支援者	3.23%	22.58%	0.00%	2.94%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 助産師・小児科医・産婦人科などの医療関係者	0.00%	16.13%	0.00%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 民間サービスの支援者	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 わからない	0.00%	0.00%	3.57%	0.00%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 その他（自由記述：）	9.68%	9.68%	0.00%	0.00%
Q46 支援対象者は家族・親族（実母・実父・祖父母等）に何でも打ち明けることができますか。いいえ	74.19%	58.06%	42.86%	38.24%
Q46 支援対象者は家族・親族（実母・実父・祖父母等）に何でも打ち明けることができますか。はい	9.68%	16.13%	14.29%	26.47%
Q46 支援対象者は家族・親族（実母・実父・祖父母等）に何でも打ち明けることができますか。わからない	12.90%	19.35%	42.86%	32.35%
Q46 支援対象者は家族・親族（実母・実父・祖父母等）に何でも打ち明けることができますか。相談できる家族・親族（実母・実父・祖父母等）はいない	3.23%	6.45%	0.00%	2.94%
Q50.1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。相談支援（電話・メール等非対面型相談）	64.52%	54.84%	7.14%	67.65%
Q50.1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）	77.42%	77.42%	53.57%	76.47%
Q50.1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。通所型支援	6.45%	12.90%	3.57%	23.53%
Q50.1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。入所型支援	19.35%	12.90%	21.43%	29.41%
Q50.1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。訪問型支援	22.58%	32.26%	0.00%	35.29%
Q50.1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。その他（自由記述：）	6.45%	6.45%	21.43%	14.71%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。支援機関につながった時期が遅かった	51.61%	38.71%	25.00%	41.18%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。妊婦健診がほぼ未受診だった	61.29%	54.84%	39.29%	50.00%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。連絡が付かないことがあった	38.71%	19.35%	42.86%	11.76%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。居場所が分からなくなることがあった	12.90%	12.90%	14.29%	5.88%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。飛び込み出産だった	77.42%	35.48%	60.71%	61.76%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。孤立出産（予期せぬ妊娠等のうち、医療による援助がない出産）だった	9.68%	38.71%	32.14%	17.65%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。その他（自由記述：）	3.23%	19.35%	7.14%	0.00%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。支援が困難になる状況はなかった	0.00%	9.68%	0.00%	14.71%

G 3 のサブグループごとの主要な特徴

サブグループ	主な特徴
1 (n = 31)	20 代の対象者が主である。自分自身の収入で生計を立てているケースが最も多いものの、非正規雇用の割合が高く、家族からの援助も少なく、経済状況に課題がある傾向にある。出産の意向は決まっておらず、予期せぬ妊娠であった傾向がある。親の離婚・別居等の逆境体験等も一定数見受けられ、家族や親族に「何でも打ち明けることができるか」という質問に対してはいいえと回答する傾向が見られる。
2 (n = 31)	25 歳～40 歳の既婚者が主である。共働きのケースも見られるものの、無職の割合が高く、同居しているパートナーの収入で生計を立てているケースが多い。生活保護の受給も一定数見られる。出産は希望していた傾向がある。知的障害及び発達障害の特性が見受けられる対象者が比較的多く、精神科・心療内科で治療中のケースも一定数見られる。身体的・心理的虐待、経済困窮などの逆境体験等のある対象者も多い。相談支援を利用することが多い。
3 (n = 28)	20 代前半の未婚の対象者が多い。経済状況や生活保護受給歴等については、「わからない」という回答が多い。実母等の家族との同居が一定数見られる。出産の希望は「わからない」という回答が多く、発達障害の有無についても「わからない」という回答が多い。
4 (n = 34)	10 代後半から 20 代前半の未婚の若年層が主であり、学生が一定数見られる。実父母や兄弟姉妹、祖母等の家族から十分な協力を得ている傾向がある。出産も養育も希望しておらず、予期せぬ妊娠であった傾向がある。

G 4 のサブグループごとの回答傾向

質問	サブグループ1	サブグループ2	サブグループ3	サブグループ4
Q3【支援開始時】支援対象者は10歳以上15未満でしたか	0.00%	0.00%	0.00%	1.64%
Q3【支援開始時】支援対象者は15歳以上20未満でしたか	21.43%	13.04%	26.67%	26.23%
Q3【支援開始時】支援対象者は20歳以上25未満でしたか	28.57%	34.78%	33.33%	39.34%
Q3【支援開始時】支援対象者は25歳以上30未満でしたか	7.14%	21.74%	40.00%	14.75%
Q3【支援開始時】支援対象者は30歳以上35未満でしたか	14.29%	13.04%	0.00%	3.28%
Q3【支援開始時】支援対象者は35歳以上40未満でしたか	7.14%	13.04%	0.00%	11.48%
Q3【支援開始時】支援対象者は40歳以上45未満でしたか	21.43%	4.35%	0.00%	3.28%
Q3【支援開始時】支援対象者は45歳以上50未満でしたか	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q3【支援開始時】支援対象者は50歳以上55未満でしたか	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q6【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧（ ）内に業種も記載してください。※業種の記載例：小売業、サービス業など *その他（自由記述：）	28.57%	4.35%	13.33%	6.56%
Q6【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧（ ）内に業種も記載してください。※業種の記載例：小売業、サービス業など *学生	0.00%	0.00%	33.33%	4.92%
Q6【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧（ ）内に業種も記載してください。※業種の記載例：小売業、サービス業など *正規（業種：）	0.00%	4.35%	20.00%	8.20%
Q6【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧（ ）内に業種も記載してください。※業種の記載例：小売業、サービス業など *無職（学生ではない：）	57.14%	78.26%	6.67%	49.18%
Q6【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧（ ）内に業種も記載してください。※業種の記載例：小売業、サービス業など *非正規（業種：）	14.29%	13.04%	26.67%	31.15%
Q10【支援開始時】支援対象者の生活保護受給歴について教えてください *わからない	35.71%	4.35%	13.33%	16.39%
Q10【支援開始時】支援対象者の生活保護受給歴について教えてください *受給中	0.00%	47.83%	0.00%	8.20%
Q10【支援開始時】支援対象者の生活保護受給歴について教えてください *受給歴なし	64.29%	34.78%	86.67%	70.49%
Q10【支援開始時】支援対象者の生活保護受給歴について教えてください *過去に生活保護を受けていた	0.00%	13.04%	0.00%	4.92%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。_その他（自由記述：）	7.14%	30.43%	0.00%	18.03%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。_わからない	14.29%	8.70%	0.00%	4.92%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。_パートナーの収入で生計を立てている	42.86%	21.74%	0.00%	11.48%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。_自分自身とパートナーの収入で生計を立てている（共働き等）	21.43%	0.00%	6.67%	3.28%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。_自分自身の収入で生計を立てている	0.00%	30.43%	60.00%	37.70%
Q11【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。_親等からの支援を受けて生計を立てている	14.29%	8.70%	33.33%	24.59%
Q12【支援開始時】支援対象者の経済状況について該当するものをお選びください。_わからない	50.00%	0.00%	6.67%	6.56%
Q12【支援開始時】支援対象者の経済状況について該当するものをお選びください。*経済状況に課題がある（借金がある）	0.00%	52.17%	0.00%	22.95%
Q12【支援開始時】支援対象者の経済状況について該当するものをお選びください。*経済状況に課題がある（借金はない）	14.29%	43.48%	40.00%	67.21%
Q12【支援開始時】支援対象者の経済状況について該当するものをお選びください。*経済状況に課題はない	35.71%	4.35%	53.33%	3.28%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 配偶者・パートナー	78.57%	26.09%	0.00%	9.84%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 こども	50.00%	56.52%	6.67%	8.20%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 実父	7.14%	17.39%	46.67%	47.54%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 実母	7.14%	34.78%	73.33%	70.49%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 兄弟姉妹	0.00%	34.78%	40.00%	68.85%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 養父	0.00%	0.00%	13.33%	1.64%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 養母	0.00%	0.00%	6.67%	0.00%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 継父	0.00%	0.00%	0.00%	6.56%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 継母	0.00%	0.00%	0.00%	1.64%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 義父	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 義母	7.14%	0.00%	0.00%	0.00%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 祖父	0.00%	4.35%	0.00%	9.84%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 祖母	0.00%	13.04%	0.00%	18.03%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 わからない	14.29%	0.00%	6.67%	9.84%
Q18【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 その他（自由記述：）	14.29%	26.09%	6.67%	4.92%

Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 配偶者・パートナー	85.71%	21.74%	6.67%	21.31%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 こと	50.00%	52.17%	6.67%	4.92%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 実父	0.00%	4.35%	13.33%	14.75%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 実母	0.00%	17.39%	26.67%	22.95%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 兄弟姉妹	0.00%	13.04%	6.67%	19.67%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 養父	0.00%	0.00%	6.67%	0.00%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 養母	0.00%	0.00%	6.67%	0.00%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 継父	0.00%	0.00%	0.00%	3.28%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 継母	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 義父	0.00%	0.00%	0.00%	1.64%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 義母	0.00%	0.00%	0.00%	1.64%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 祖父	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 祖母	0.00%	0.00%	0.00%	1.64%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 友人	0.00%	0.00%	0.00%	9.84%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 わからない	7.14%	0.00%	0.00%	9.84%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 その他（自由記述：）	14.29%	30.43%	53.33%	31.15%
Q25 支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。わからない	7.14%	21.74%	6.67%	6.56%
Q25 支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。_出産の意向は決まっていなかった	14.29%	13.04%	0.00%	13.11%
Q25 支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。_出産を希望していた	71.43%	60.87%	53.33%	45.90%
Q25 支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。_出産を希望していなかった	7.14%	4.35%	40.00%	34.43%
Q26 支援開始時、支援対象者は、養育を希望していましたか。わからない	14.29%	4.35%	0.00%	4.92%
Q26 支援開始時、支援対象者は、養育を希望していましたか。_養育の意向は決まっていなかった	7.14%	13.04%	6.67%	26.23%
Q26 支援開始時、支援対象者は、養育を希望していましたか。_養育を希望していた	71.43%	82.61%	26.67%	36.07%
Q26 支援開始時、支援対象者は、養育を希望していましたか。_養育を希望していなかった	7.14%	0.00%	66.67%	32.79%
Q27 支援対象者にとって、今回の妊娠は予期していない／計画していない妊娠でしたか。わからない	50.00%	4.35%	0.00%	4.92%
Q27 支援対象者にとって、今回の妊娠は予期していない／計画していない妊娠でしたか。_予期していた／計画していた妊娠であった	14.29%	13.04%	0.00%	1.64%
Q27 支援対象者にとって、今回の妊娠は予期していない／計画していない妊娠でしたか。_予期していない／計画していない妊娠であった	35.71%	82.61%	100.00%	93.44%
Q30 支援開始時、支援対象者は今回の妊娠において何らかの不安を抱えていましたか。わからない	14.29%	21.74%	0.00%	0.00%
Q30 支援開始時、支援対象者は今回の妊娠において何らかの不安を抱えていましたか。_不安は特に感じていなかった	7.14%	13.04%	13.33%	1.64%
Q30 支援開始時、支援対象者は今回の妊娠において何らかの不安を抱えていましたか。_不安を感じていた	78.57%	65.22%	86.67%	98.36%
Q31 支援開始時、支援対象者は自身の支援の必要性を感じていましたか。_どちらともいえない	7.14%	8.70%	6.67%	3.28%
Q31 支援開始時、支援対象者は自身の支援の必要性を感じていましたか。_支援の必要性を感じていた	85.71%	86.96%	93.33%	88.52%
Q31 支援開始時、支援対象者は自身の支援の必要性を感じていましたか。_支援の必要性を感じていなかった	7.14%	4.35%	0.00%	8.20%
Q34 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。*わからない	50.00%	4.35%	0.00%	22.95%
Q34 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。*通院・治療が必要だが、未受診である	7.14%	17.39%	0.00%	14.75%
Q34 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。*通院・治療の必要はない	14.29%	30.43%	80.00%	31.15%
Q34 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。*通院・治療の必要性について判断がつかない	0.00%	8.70%	0.00%	16.39%
Q34 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。*通院・治療中である	28.57%	39.13%	20.00%	14.75%
Q35 支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について教えてください。_わからない	50.00%	8.70%	0.00%	22.95%
Q35 支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について教えてください。_知的障害（精神遅滞）の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）	0.00%	8.70%	6.67%	18.03%
Q35 支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について教えてください。_知的障害（精神遅滞）の特性は見受けられない	50.00%	39.13%	93.33%	57.38%
Q35 支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について教えてください。_知的障害（精神遅滞）の診断を受けている	0.00%	43.48%	0.00%	1.64%
Q36 支援対象者の発達障害の特性について教えてください。_わからない	57.14%	8.70%	0.00%	32.79%
Q36 支援対象者の発達障害の特性について教えてください。_発達障害の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）	0.00%	17.39%	6.67%	34.43%
Q36 支援対象者の発達障害の特性について教えてください。_発達障害の特性は見受けられない	35.71%	52.17%	86.67%	27.87%
Q36 支援対象者の発達障害の特性について教えてください。_発達障害の診断を受けている	7.14%	21.74%	6.67%	4.92%

Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。身体的虐待	0.00%	30.43%	13.33%	29.51%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。心理的虐待	0.00%	34.78%	6.67%	36.07%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。性的虐待	0.00%	17.39%	0.00%	3.28%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。ネグレクト	0.00%	17.39%	6.67%	40.98%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。親の離婚・別居	7.14%	43.48%	20.00%	50.82%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。親との死別	0.00%	0.00%	0.00%	4.92%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。両親の間にDVがあった	0.00%	13.04%	0.00%	11.48%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。家族のアルコール・薬物乱用	0.00%	4.35%	0.00%	8.20%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。家族の精神疾患・自殺（未遂を含む）	0.00%	21.74%	6.67%	11.48%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。家族の服役	0.00%	4.35%	0.00%	0.00%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。親からの過干渉	0.00%	4.35%	0.00%	14.75%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。学校や職場等でのいじめ・孤立・孤独	0.00%	13.04%	0.00%	16.39%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。震災経験	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。経済困窮	0.00%	26.09%	0.00%	24.59%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。わからない	78.57%	21.74%	33.33%	19.67%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。その他（自由記述：)	14.29%	8.70%	6.67%	9.84%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。幼少期における逆境体験はない	0.00%	0.00%	40.00%	3.28%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。実親	35.71%	60.87%	93.33%	86.89%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。里親	0.00%	0.00%	6.67%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。養子縁組	0.00%	4.35%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。親族宅	7.14%	4.35%	0.00%	11.48%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。知人友人宅	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。ファミリーホーム	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。乳児院	0.00%	4.35%	0.00%	1.64%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。児童養護施設	0.00%	21.74%	0.00%	6.56%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。児童心理治療施設	0.00%	0.00%	0.00%	1.64%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。児童自立支援施設	0.00%	8.70%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。母子生活支援施設	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。自立援助ホーム	0.00%	4.35%	0.00%	3.28%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。わからない	57.14%	0.00%	0.00%	6.56%
Q40 支援対象者の主な養育環境について教えてください。その他（自由記述：)	0.00%	13.04%	0.00%	1.64%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。配偶者・パートナー	50.00%	0.00%	6.67%	3.28%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。こども	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。実父	14.29%	0.00%	13.33%	3.28%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。実母	14.29%	8.70%	20.00%	9.84%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。兄弟姉妹	0.00%	4.35%	6.67%	1.64%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。養父	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。養母	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。継父	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。継母	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。義父	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

88

Q46 支援対象者は家族・親族（実母・実父・祖父母等）に何でも打ち明けることができますか。_いいえ	0.00%	65.22%	53.33%	63.93%
Q46 支援対象者は家族・親族（実母・実父・祖父母等）に何でも打ち明けることができますか。_はい	14.29%	13.04%	33.33%	9.84%
Q46 支援対象者は家族・親族（実母・実父・祖父母等）に何でも打ち明けることができますか。_わからない	85.71%	17.39%	6.67%	9.84%
Q46 支援対象者は家族・親族（実母・実父・祖父母等）に何でも打ち明けることができますか。_相談できる家族・親族（実母・実父・祖父母等）はいない	0.00%	4.35%	6.67%	16.39%
Q50_1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。相談支援（電話・メール等非対面型相談）	71.43%	34.78%	60.00%	95.08%
Q50_1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）	35.71%	60.87%	73.33%	81.97%
Q50_1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。通所型支援	0.00%	0.00%	0.00%	3.28%
Q50_1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。入所型支援	0.00%	78.26%	13.33%	32.79%
Q50_1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。訪問型支援	21.43%	26.09%	6.67%	24.59%
Q50_1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。その他（自由記述：）	28.57%	0.00%	26.67%	9.84%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。支援機関につながった時期が遅かった	7.14%	17.39%	13.33%	40.98%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。妊婦健診がほぼ未受診だった	14.29%	4.35%	6.67%	39.34%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。連絡が付かないことがあった	7.14%	21.74%	0.00%	44.26%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。居場所が分からなくなることがあった	0.00%	13.04%	0.00%	18.03%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。飛び込み出産だった	0.00%	13.04%	6.67%	1.64%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。孤立出産（予期せぬ妊娠等のうち、医療による援助がない出産）だった	0.00%	4.35%	0.00%	4.92%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。その他（自由記述：）	28.57%	26.09%	60.00%	24.59%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。支援が困難になる状況はなかった	57.14%	34.78%	33.33%	13.11%

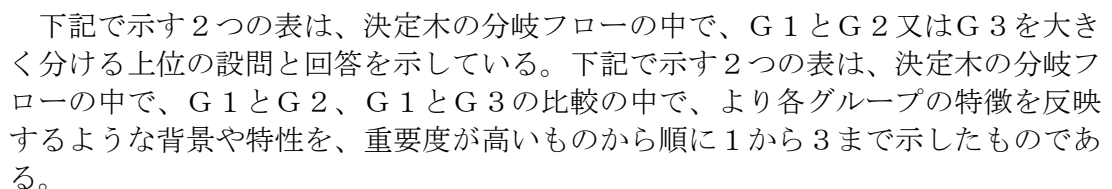
G 4 のサブグループごとの主要な特徴

サブグループ	主な特徴
1 (n = 14)	10 代後半から 20 代前半の既婚者が多く、配偶者・パートナーの収入で生計を立てているケースが多い。配偶者・パートナー、こどもと同居している傾向がある。出産・養育を希望していたケースが比較的多い。知的障害・発達障害の特性や逆境体験等の有無に関しては「わからない」という回答が多い。
2 (n = 23)	20 代未婚の対象者が多い。無職の対象者が多く、生活保護を受給している割合が高く、親等からの支援も少ないなど経済的課題がある。こどもと同居しており、出産・養育を希望していたケースが多い。また、発達障害の診断を受けている対象者が多い。支援形態としては、入所型支援の利用をしているケースが多い。
3 (n = 15)	10 代後半から 30 代までの対象者が主であるが、学生の割合が高い。自分自身又は親等からの支援により生計を立てており、経済的課題は少ないものの、出産・養育を希望していないケース、支援の必要性を感じていたケースが多い。学生が多く、家族・親族に悩みを相談できる傾向がある。
4 (n = 61)	10 代後半から 20 代前半の未婚の対象者が主である。無職・非正規雇用の割合が高く、経済的に課題がある傾向にある。発達障害の特性が見受けられるケースや、ネグレクトや親の離婚・別居などの逆境体験等のある対象者が多い。支援形態としては、相談支援の利用割合が極めて多いが、支援が困難になる状況（妊婦健診がほぼ未受診だった、連絡が付かないことがあった、等）も多く見受けられる。

(ア) 支援につながっていない人に特徴的な背景や特性

①支援につながるものが困難であった背景や特性についての複合的な検討

決定木の分岐フローの例



G 1 と G 2 を分類する決定木の分岐フロー上位かつG 1 と G 2 を分ける質問

分岐の階層	質問	回答	グループ
1	Q25 支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。	出産を希望していた	G1
		上記以外	G2
2	Q47 支援対象者が支援を受けるにあたって、〔最初に〕接点をもった機関を1つお選びください。※貴機関につながったきっかけは以降の設問でお伺いします。	市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳	G1
		上記以外	G2
3	Q30 支援開始時、支援対象者は今回の妊娠において何らかの不安を抱えていましたか。	不安を感じていた	G1
		上記以外	G2

G 1 と G 3 を分類する決定木の分岐フロー上位かつG 1 と G 3 を分ける質問

分岐の階層	質問	回答	グループ
1	Q25 支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。	出産を希望していた	G1
		上記以外	G3
2	Q26 支援開始時、支援対象者は、養育を希望していましたか。	養育を希望していた	G1
		上記以外	G3
2	Q47 支援対象者が支援を受けるにあたって、〔最初に〕接点をもった機関を1つお選びください。※貴機関につながったきっかけは以降の設問でお伺いします。	市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む）	G1
		上記以外	G3
3	Q36 支援対象者の発達障害の特性について教えてください。	発達障害の特性は見受けられない	G3
		上記以外	G1

2つの決定木において共通していることは、G 1 を特徴付ける要因として、「Q 25 支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。」という支援対象者の出産の希望に関する質問があるということである。また、G 1 と G 2 の決定木では、分岐の中に「Q30 支援開始時、支援対象者は今回の妊娠において何らかの不安を抱えていましたか。」という精神的な状態に関する質問も含まれている。このことから、出産や養育を希望し、かつ妊娠に不安を感じている妊婦が早期に支援機関につながる傾向にあり、特定妊婦として妊娠期間中から支援につながっている可能性が示唆された。

また、2つの決定木の結果に共通して、「最初に接点をもった機関」に関する質問が含まれている。これは、支援につながらなかった産婦の多くが、飛び込み出産や墜落分娩などで医療機関につながる一方で、G 1 は母子健康手帳の交付を受けているケースが多いため、最初に医療機関ではなく市区町村の所管する保健センター等の関係機関を利用している、という傾向が条件分岐として表れていると考えられる。

さらに、G 1 と G 3 の決定木では、分岐の中に「Q30 支援対象者の発達障害の特

性について教えてください」という項目があり、さらにG3を特徴付ける要因として「発達障害の特性が見受けられない」という項目があるが、この項目がどのようにG3を特徴付けているかは十分な検討が必要である。

■ G2・G3周囲との関係性や心理的孤立感について（ヒアリングより）

妊娠に関する相談について、支援対象者が必ずしも家庭内で相談できる状況ではないことがある。妊娠について家族に相談できない背景には、配偶者・パートナーや家族との関係に課題があることが挙げられる。そのため、配偶者・パートナーや家族に相談できず、一人で抱えてしまうことがある。また、支援対象者が家族に迷惑をかけてしまうと思ひ相談を躊躇することや、支援対象者自身が親から干渉されることを望まない場合もある。

②支援につながっていない人の背景や特性における市区町村と児童相談所のケース比較

支援につながっていない人に該当するG2とG3を比較することにより、市区町村につながり出産したこどもを家庭で養育した人と、出産後に児童相談所につながり、こどもが一時保護、施設入所、里親等委託に至った人との間での、背景や特性の差異について検討する。

ここでは、G2とG3の全ての質問と回答に対し、カイ二乗検定を用いた二群比較を行い、有意差が認められた項目に着目することにより両者の違いをより詳細に捉えることを目的とする。

G2とG3の比較から、家族構成や支援の利用状況等において有意差が見られた。G2では、生活（家事等）に関する協力者のうち、配偶者・パートナー、実母、友人においてG3より高い傾向にあった。また、G3は「家族・親族（実母・実父・祖父母等）に何でも打ち明けることができますか」に対して半数以上が「いいえ」と回答しており、約16%が学校や職場等でのいじめ・孤立・孤独などの逆境体験等があり、社会的に孤立している側面が見られた。さらに支援の利用状況においても差が見られ、G2では相談支援や訪問型支援の利用率がG3より高く、G3では半数が妊婦健診未受診であり、医療機関や支援機関との接点が少ないまま出産に至っている状況が見られた。

G 2 と G 3 のカイ二乗検定により有意と判断された質問（一部抜粋）

質問	G2の左記の質問に該当すると回答した産婦の割合	G3の左記の質問に該当すると回答した産婦の割合
Q18 【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等 こと	54.26%	29.03%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 こと	54.26%	23.39%
Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例：パートナーの連れ子がいる、施設に入所している等 実父	28.72%	12.10%
Q26 支援開始時、支援対象者は、養育を希望していましたか。_養育を希望していなかった	5.32%	32.26%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 学校や職場等でのいじめ・孤立・孤独	2.13%	16.13%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 わからない	51.06%	25.81%
Q39 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。 幼少期における逆境体験はない	7.45%	19.35%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。 配偶者・パートナー	29.79%	11.29%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。 実母	41.49%	25.00%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。 友人	8.51%	0.81%
Q44 支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。 兄弟姉妹	17.02%	4.84%
Q46 支援対象者は家族・親族（実母・実父・祖父母等）に何でも打ち明けることができますか。_いいえ	30.85%	53.23%
Q46 支援対象者は家族・親族（実母・実父・祖父母等）に何でも打ち明けることができますか。_はい	31.91%	16.94%
Q50.1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。 相談支援（電話・メール等非対面型相談）	82.98%	50.00%
Q50.1 支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。 訪問型支援	65.96%	23.39%
Q53 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。 妊婦健診がほぼ未受診だった	30.85%	51.61%

（イ）支援につながった人とつながっていない人との間の背景・特性・支援内容の差異

支援につながった人とつながっていない人との間には、①支援対象者の背景・特性（年齢や家庭環境等）②支援内容に差異があると考えられるため、両者間の差異を把握するとともに、その差異をもたらす要因についても明らかにする。

① G 1 と G 2 の比較

G 1 と G 2 は市区町村につながっているという点では共通しているが、特定妊婦か妊娠期間中に把握できなかった産婦か、という点で違いがある。この2グループの差異を見るとともに、その要因について検討した。

下記の表は、G 1 と G 2 の間で、カイ二乗検定により有意と判断された質問の一部を示している。

G 1 の多くは、出産及び養育の意思を持つ一方で、妊娠に対して不安を抱えている傾向が見られる。G 1 の産婦は無職である割合がG 2 より高く、経済状況や家庭環境に課題のある割合も高い。また、生活（家事等）に関する協力者の有無を比較すると、友人・実母・実父・兄弟姉妹の項目において、G 1 よりもG 2 は協力を得られる割合が高い傾向が見られた。さらに、生活（家事・育児・その他生活に関する相談）に関しても、「協力者がおり、十分な協力が得られる」と回答した割合がG 1 よりもG 2 の方が高い。G 1 の妊婦は、出産と養育の希望を持ちながらも、経済状況や家庭環境に課題があり、妊娠に対する不安を感じている。そのため、支援機関と早期に接触し、継続的な支援を受けることで生活の安定を図る傾向があると考えられる。一方、G 2 の産婦は家庭内や友人などから一定のサポートを受けられるものの、妊婦健診の受診率が低く、支援機関につながれないまま出産を迎えるケースが多い傾向にあることが分かった。

■ G 1について（ヒアリングより）

支援対象者が、何も支援を受けずに人工妊娠中絶の可能な時期を過ぎてしまった、あるいはすでに妊娠後期に入ってしまったというような、出産が間近に迫った状況の中で、にんしんSOS相談窓口の相談ツールの使用や相談窓口の利用を通じて支援につながる場合がある。

■ G 2について（ヒアリングより）

支援対象者自身は妊娠していることを認めないが、周囲が何らかの形で気がついた際は、その場で医療機関の受診につなげることが難しい状況もある。また、支援対象者自身が妊娠を自覚していない場合もあり、妊婦の体形を覆い隠すような服装をしている場合には、周囲も気づくことができないことがあり、支援につなげることが難しい。

G 1とG 2のカイ二乗検定により有意と判断された質問（一部抜粋）

質問	G1で左記の質問に該当すると回答した産婦の割合	G2で左記の質問に該当すると回答した産婦の割合
Q2_1 特定妊婦と判断した理由について、あてはまるものをすべてお選びください。経済状況に課題がある	55.36%	28.72%
Q2_1 特定妊婦と判断した理由について、あてはまるものをすべてお選びください。家庭環境に課題がある	64.34%	32.98%
Q2_1 特定妊婦と判断した理由について、あてはまるものをすべてお選びください。妊婦健診未受診である	13.20%	60.64%
Q2_2 特定妊婦への支援が必要と判断した理由についてあてはまるものをすべてお選びください。経済状況に課題がある	54.81%	32.98%
Q2_2 特定妊婦への支援が必要と判断した理由についてあてはまるものをすべてお選びください。家庭環境に課題がある	65.99%	35.11%
Q6【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧（ ）内に業種も記載してください。※業種の記載例：小売業、サービス業など*無職（学生ではない）	46.93%	26.60%
Q25 支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。_出産を希望していた	80.93%	28.72%
Q26 支援開始時、支援対象者は、養育を希望していましたか。_養育を希望していた	79.56%	61.70%
Q30 支援開始時、支援対象者は今回の妊娠において何らかの不安を抱えていましたか。_不安を感じていた	65.63%	45.74%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。友人	1.74%	8.51%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。実母	22.36%	41.49%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。実父	8.16%	25.53%
Q42 支援対象者の生活（家事等）に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。兄弟姉妹	7.61%	20.21%
Q41 支援対象者の生活（家事・育児・その他生活に関する相談）に関する協力者はいますか。_協力者がおり、十分な協力が得られる	33.09%	60.64%
Q49_3 貴機関での支援開始後、支援対象者に対して出産時までの継続的な支援の実現のために、〔貴機関から〕連携を依頼した支援機関があれば、該当するものをすべてお選びください。他機関との連携はしていない	3.57%	29.79%

(3) サブ目的2：支援機関の連携の在り方の把握

支援対象者への支援の全体像を把握しながら、より効果的な支援を検討するために、支援機関の間での連携について、どのような経緯で調査回答機関の支援に至り、またどの支援機関と連携していくのか、支援の現状を見える化する。

本調査では、支援対象者が支援を受けるにあたって、最初に接点を持った機関は本調査のQ47、支援対象者が回答機関につながったルートは本調査のQ49_1、回答機関は基礎調査のSQ1、支援対象者が調査回答機関につながった後の関係機関との連携状況は本調査のQ49_3の回答結果をもとに、検討を行った。

(ア) 支援対象者が調査回答機関につながるまでのルートのグループ間比較

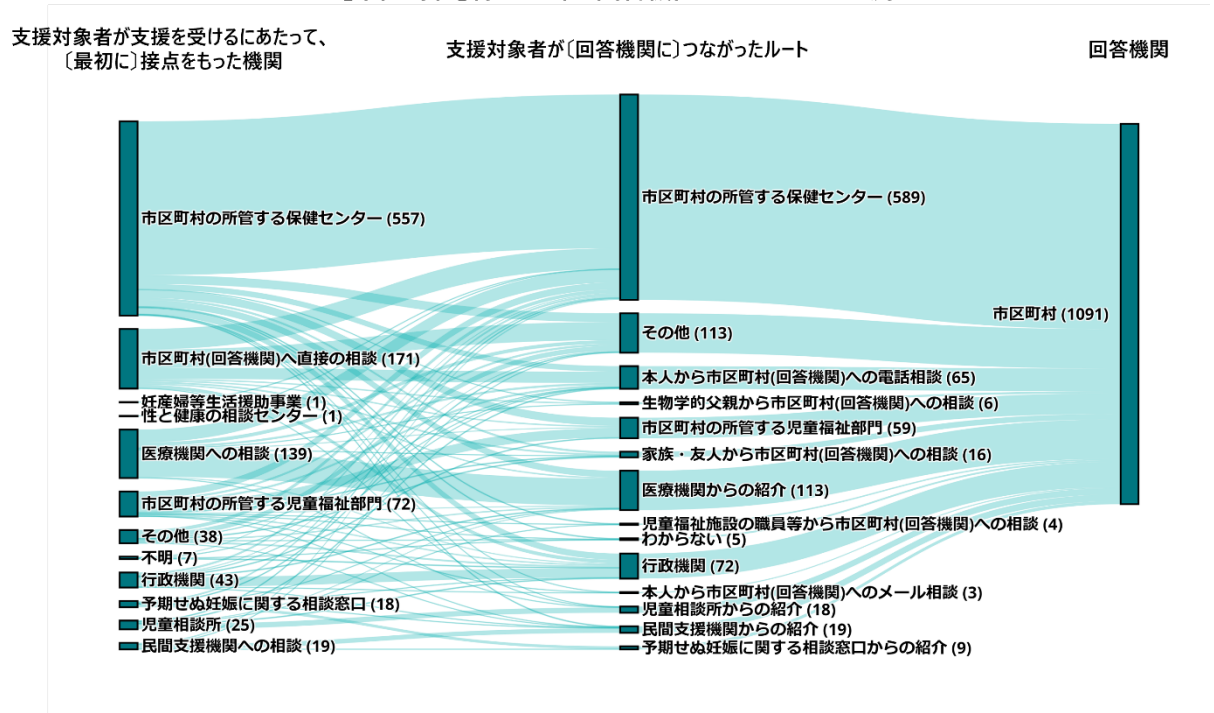
支援対象者と最初に接点を持った支援機関から、どのように調査回答機関につながるのかを把握する。

グループ：G1

支援機関：市区町村

支援対象者：特定妊婦

【市区町村】特定妊婦が回答機関につながるまでの流れ



G1の支援対象者は、G2やG3（妊娠期間中に把握できなかった産婦）と比較すると、医療機関への相談が少ないことが特徴である。G1の支援対象者の約半数は、はじめに市区町村の所管する保健センターと接点を持ち、その大部分は直接保健センターを通じて、一部は医療機関からの紹介や行政機関との接点を経て、最終的に市区町村につながっている。

■ G1 支援機関へのつながり（ヒアリングより）

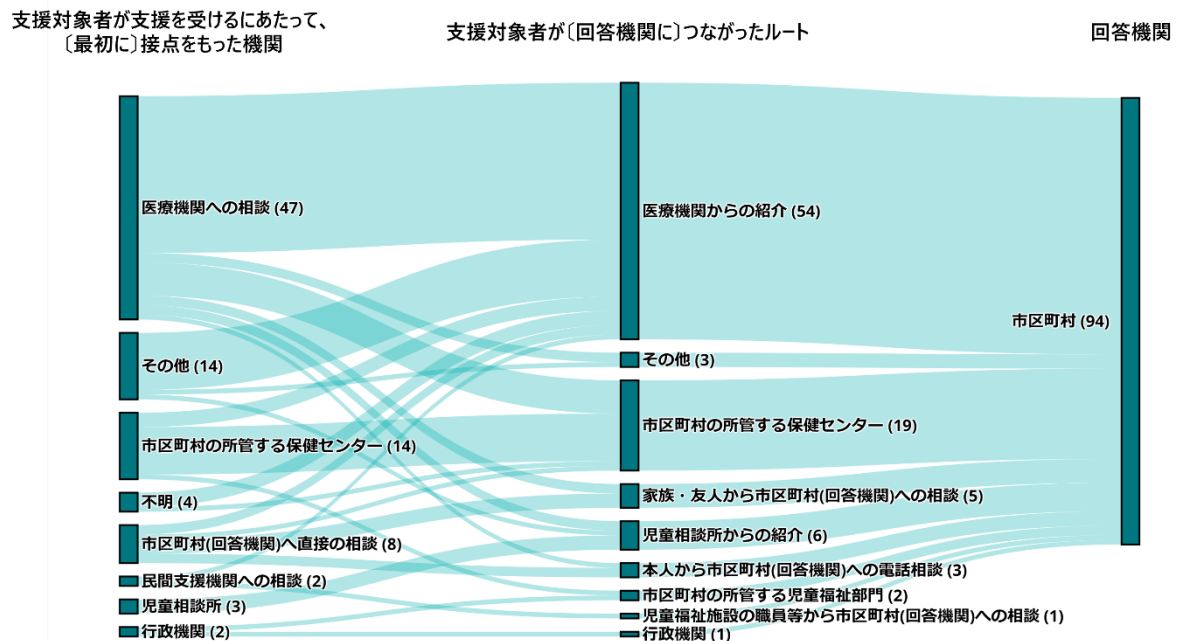
妊婦は母子健康手帳交付のために市区町村の所管する保健センター等の窓口に来所する。その際、アンケートを用いた情報収集のほか、保健師等による面接で支援が必要な状況ではないかアセスメントをしている。特定妊婦と判断された場合、「安全な出産」にたどり着けるよう、適宜関係機関と連携しながら継続的な支援が実施される。出産後は、「安心安全な育児」ができるよう支援が継続される。

グループ：G 2

支援機関：市区町村

支援対象者：妊娠期間中に把握できなかった産婦

【市区町村】妊娠期間中に把握できなかった産婦が回答機関につながるまでの流れ



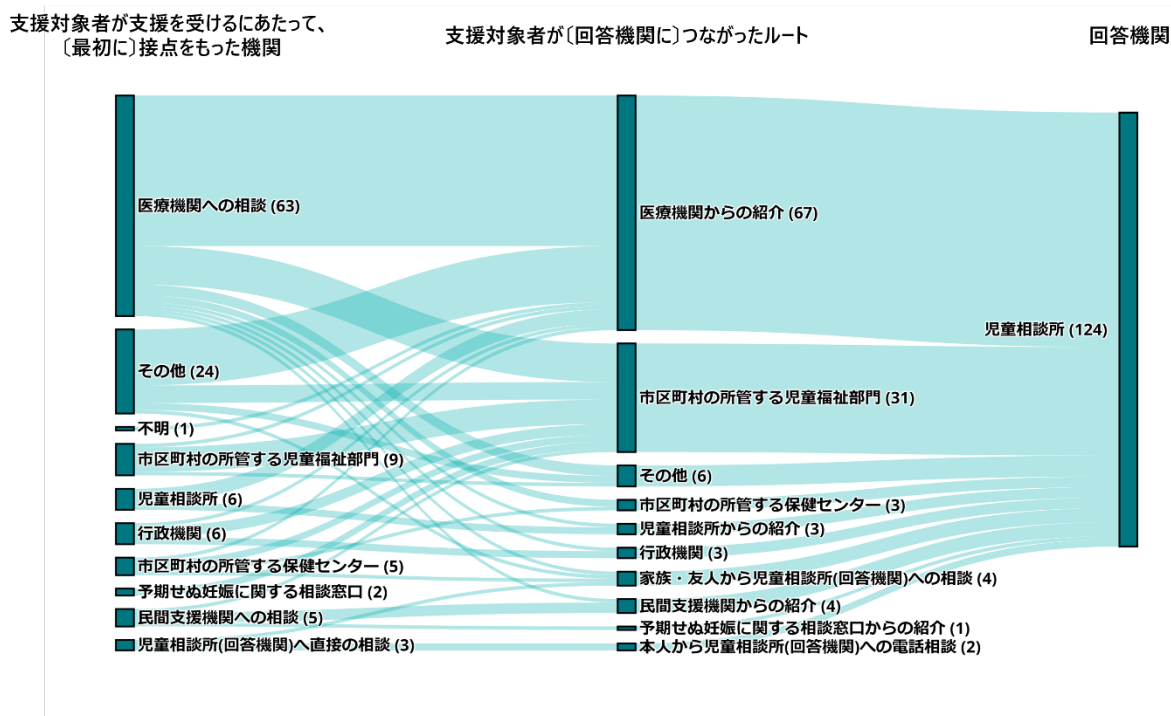
G 2の支援対象者は、支援の必要性を妊娠期間中に把握できなかった産婦であり、その半数の支援対象者が病院等の医療機関に直接相談をしていることがG 1と異なる特徴である。また、その大部分は直接医療機関を通じて、一部は市区町村の所管する保健センターや児童相談所との接点を経て、最終的に市区町村につながっていることが分かる。

グループ：G 3

支援機関：児童相談所

支援対象者：妊娠期間中に把握できなかった産婦

【児童相談所】妊娠期間中に把握できなかった産婦が回答機関につながるまでの流れ



G 3の支援対象者もG 2と同様に、半数が医療機関に直接相談をしているため、出産時に医療機関に相談したことで初めて支援につながっていることが推察できる。また、その過半数は直接医療機関を通じて、一部は市区町村の所管する児童福祉部門や保健センターとの接点を経て、最終的に児童相談所につながっている。

■ G 3 支援機関へのつながり（ヒアリングより）

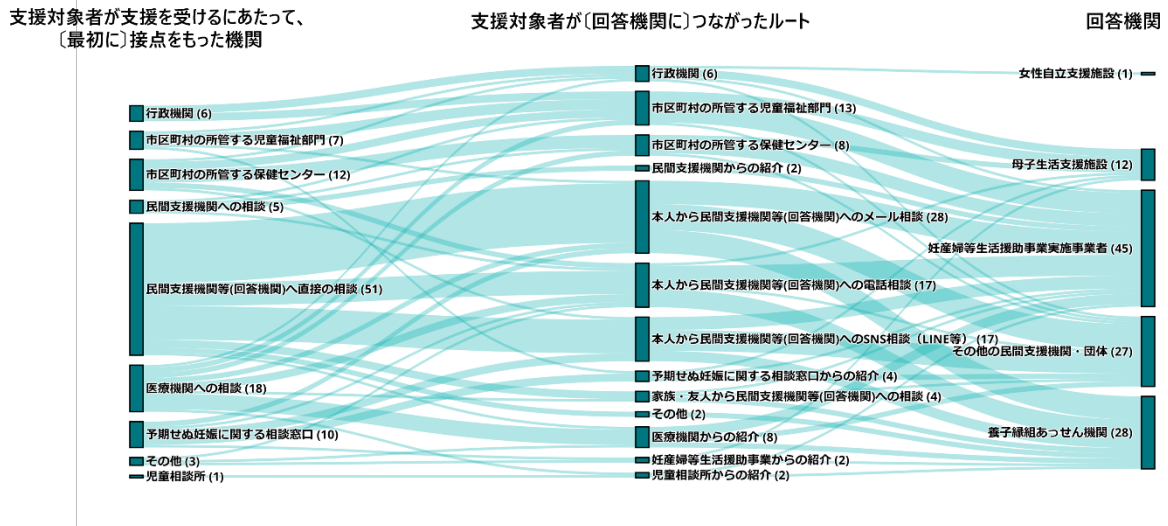
妊娠期間中に把握できなかった産婦について、児童相談所に対応するのは、飛び込み出産、妊婦健診未受診、自宅での墜落分娩といったケースである。未婚状態で、かつパートナーとの相手との間での妊娠出産、若しくは相手（生物学的父親）が誰か特定できない方も一定数おり、一人で悩んだ末、人工妊娠中絶が可能な時期を過ぎ、出産に至っているケースが多いと考えられる。

グループ：G 4

支援機関：民間支援機関等

支援対象者：支援開始当時回答機関が特定妊婦と把握していなかった人

【民間支援機関等】回答機関が特定妊婦と把握しなかった産婦が回答機関につながるまでの流れ



G 4の支援対象者は、G 1、G 2、G 3と比較し、その半数近くがメールや電話、SNS等での相談を通じて直接各支援機関につながっており、医療機関や市区町村の所管する保健センター等の他機関の経路が比較的小さいことが特徴である。中には、医療機関への相談及び当該機関からの紹介を受けて各支援機関につながるケースや、市区町村の所管する保健センター、予期せぬ妊娠に関する相談窓口に接点を持った後、相談を通じて各支援機関へつながるケース等も見受けられる。

■ G 4 支援機関へのつながり（ヒアリングより）

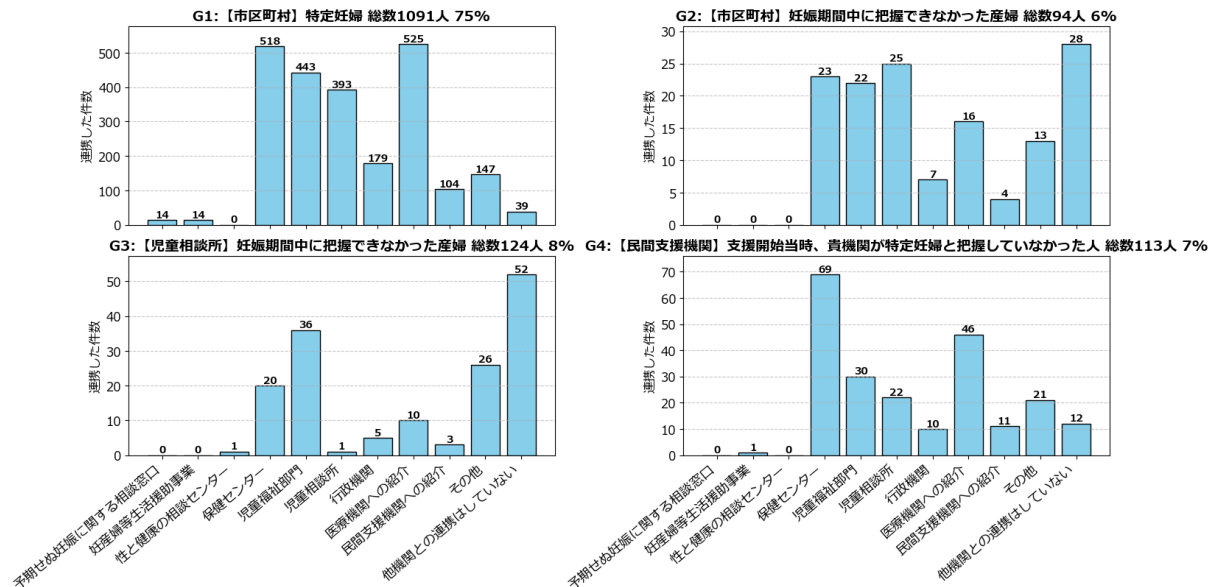
民間支援機関へのつながりにおいて、本人からの相談の場合、メール、電話、SNS等で相談につながっている。にんしんSOS相談窓口では、その特性から妊娠に関する相談から相談が開始されるが、支援対象者の状況を把握する中で、家族関係や経済状況に関しても課題があることが分かることもある。

民間支援機関の相談窓口は、SNSでの情報発信をしていることもあり、本人が相談窓口について知ることによって直接相談連絡につながる場合もあるが、SNS上で以前に相談支援を利用した同じような境遇をもつ人が、当事者に相談するよう勧めることでつながるケースもある。

(イ) 支援対象者が調査回答機関につながった後の関係機関間の連携状況

支援対象者が調査回答機関につながった後の関係機関間での連携状況をグループ別に把握する。

調査回答機関のグループごとの連携先



グループ：G 1

支援機関：市区町村

支援対象者：特定妊婦

G 1の支援対象者は、他グループと比較して各種関係機関との連携が多いことが特徴である。その大部分は医療機関又は市区町村の所管する保健センターであり、それぞれ当該支援対象者の約半数を占めている。続いて、市区町村の所管する児童福祉部門や児童相談所、行政機関等への連携も一定数見られ、他グループと比較して幅広い関係機関につながっていることが分かる。

■ G 1 関係機関間の連携（ヒアリングより）

特定妊婦の支援において、要対協で情報共有を行い関係機関間の連携がなされている。特に産科医療機関との連携が重要である。民間支援機関からの紹介で市区町村につながるケースもある。

グループ：G 2

支援機関：市区町村

支援対象者：妊娠期間中に把握できなかった産婦

支援の必要性を妊娠期間中に把握できなかった産婦であるG 2の支援対象者は、G 1と比較し他機関と連携している割合が約70%と少ない。しかし、他機関へ連携した場合の連携先は、G 3と比較すると多い。特に、児童相談所、市区町村の所管する児童福祉部門や保健センターが主な連携先であり、合わせて全体の連携数の60%以上を占めている。

グループ：G 3

支援機関：児童相談所

支援対象者：妊娠期間中に把握できなかった産婦

G 3の支援対象者は、他機関と連携している割合が約60%と他グループと比較して最も少ない。児童相談所からの連携ということもあり、主な連携先は市区町村の所管する児童福祉部門であり、市区町村の所管する保健センターや医療機関など他の連携先より多くなっている。

グループ：G 4

支援機関：民間支援機関

支援対象者：支援開始当時回答機関が特定妊婦と把握していなかった人

G 4の支援対象者については、市区町村の所管する保健センターへの連携が他グループと比較すると多い。続いて、医療機関への連携が多い。

■ G 4 支援機関間の連携（ヒアリングより）

市区町村の所管する保健センターを非常に頼りにしており、保健師との顔の見える関係性を意識的に構築している。また、関係機関からの紹介でにんしんSOS相談窓口がその地域で当該窓口につながる場合もある。支援対象者本人が行政とのつながりを拒否している等により直接行政とつながることが難しい場合は、民間支援機関が「ハブ」の役割を果たし、行政とつながれるようにしている。支援対象者にとって民間支援機関の支援者は、近所の人のような身近な存在として認識されやすいことが、行政よりも相談しやすい要因の一つと考えられる。

（４）サブ目的３：特定妊婦以外の特性・背景の把握

民間支援機関をきっかけとして、行政の支援につながり特定妊婦として支援を受けた人がいる一方で、そのような支援にはつながらなかった人も一定数存在すると考えられる。民間支援機関につながったものの特定妊婦として行政の支援にはつながらなかった支援対象者の特性を明らかにしつつ、行政の支援につながり特定妊婦として支援を受けた人との差異を踏まえて、行政におけるより効果的な支援の在り方について、今後につながるような示唆を得ることを目的とする。

本調査では、行政の支援につながった人を、G 1 に該当する支援対象者において、本調査のQ47 の最初に接点を持った機関で、「予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）」「妊産婦等生活援助事業（「予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）」を除く）」「民間支援機関への相談」を選択した人と定義した。また、行政の支援につながり特定妊婦として支援を受けなかった人を、G 4 に該当する支援対象者において、本調査のQ47 で「貴機関へ直接の相談」を選択し、本調査のQ49_3 の回答結果に『行政機関』を含まない人と定義した。『行政機関』とみなす支援機関については、Q49_3 の選択肢のうち、「行政機関」のほか、「市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む）」「市区町村の所管する児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会調整機関、こども家庭センター子ども家庭総合支援拠点を含む）」「児童相談所」「その他（自由記述）」と定義した。

上記の定義に基づき、行政の支援につながり特定妊婦として支援を受けた人、民間支援機関につながったものの特定妊婦として行政の支援にはつながらなかった人をそれぞれカウントした。行政の支援につながり特定妊婦として支援を受けた人は、76 人だった。民間支援機関につながったものの特定妊婦として行政の支援にはつながらなかった人については、最初に接点を持った機関が調査回答機関である民間支援機関の人は 51 人おり、そのうち、『行政機関』を含まない人は 11 人であった。

以上の結果より、民間支援機関につながったが特定妊婦として行政の支援にはつながらなかった人の存在は確認できたものの、分析に当たって十分なサンプル数が集まらず明確な示唆を得ることができなかった。

(5) サブ目的4：本調査研究の目的・サブ目的1～3の結果を踏まえた詳細検討

本調査研究の目的である、妊娠に葛藤を抱える妊産婦の背景や特性について、さらに考察を深めるために、上記目的・サブ目的1～3の結果をもとに、以下の項目についてクロス集計及びカイ二乗検定を行った。なお、p 値が 0.05 より小さい場合を $p < 0.05$ 、p 値が 0.01 より小さい場合を $p < 0.01$ 、p 値が 0.001 より小さい場合を $p < 0.001$ とし、p 値が有意水準 5 % を下回った場合を統計的に優位と判断した。また、残差分析では、残差が 1.96 を超える場合は有意に多いとし、-1.96 未満であれば有意に少ないと判断した。その結果を下記に示す。

(ア) G 1 と G 2 + G 3 の比較

① 支援開始時の支援対象者の同居人について

「Q1【支援開始時】支援対象者の状態」において、G 1 と G 2 + G 3 を併せて状態像の違いを把握するためにカイ二乗検定を行った。

「Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。」の項目との関連性についてカイ二乗検定を行った結果、G 1 と G 2 + G 3 の間に有意な差が認められた ($\chi^2 = 36.391$, $df = 5$, $p = 0.001$)。なお、同居人の構成による違いを検討するために、(7) サブ目的4における分析のみ Q19 の選択肢をもとに、支援対象者の同居人の構成を以下のとおり 6 つに分類して分析を行った。① 単身 (選択肢 1～16 に当てはまらない)、② こどもと同居 (選択肢 2 のみ)、③すでに措置されたこどもがいる (選択肢 16 のうち「措置されたこどもがいる」と回答があった + 選択肢 1～14)、④ 親族との同居 (こどもも含む) (選択肢 2 + 3～13) ⑤ 配偶者・パートナーとの同居 (こどもも含む) (選択肢 1 + 2 (選択肢 3～13 の選択なし)) ⑥ その他 (①～⑤以外) の 6 つに分類して分析を行った。

上記 6 つの分類ごとに、G 1 と G 2 + G 3 のカイ二乗検定を行った結果、G 1 では G 2 + G 3 と比較して「⑤ 配偶者・パートナーとの同居」(残差 = 4.3) の割合が有意に高く、G 2 + G 3 では、G 1 と比較して、「④ 親族との同居」(残差 = 5.1) の割合が有意に高いことが明らかになった。

	G 1		G 2 + G 3		合計		P
	n	%	n	%	n	%	
① 単身	80	7.30%	24	11.00%	104	8.00%	***
② こどもと同居	74	6.80%	9	4.10%	83	6.30%	
③すでに措置されたこどもがいる(パートナー又は親族との同居も含む)	41	3.80%	3	1.40%	44	3.40%	
④ 親族との同居 (こどもも含む)	245	22.50%	85	39.00%	330	25.20%	
⑤ 配偶者・パートナーとの同居 (こどもも含む)	627	57.50%	91	41.70%	718	54.90%	
⑥ その他	23	2.10%	6	2.80%	29	2.20%	
計	1090	100.0%	218	100.0%	1308	100.0%	

*** $p < 0.001$, ** $p < 0.01$, * $p < 0.05$

注) ■ は有意に高いことを示す。

②支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について

「Q35 支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について教えてください。」の項目との関連性についてカイ二乗検定を行った結果、G 1 と G 2 + G 3 の間に有意な差が認められた ($\chi^2=9.566$, $df=1$, $p=0.01$)。また、「知的障害（精神遅滞）の診断を受けている」と「知的障害（精神遅滞）の特性があると見受けられる（診断は受けていない）」ごとに G 1 と G 2 + G 3 のカイ二乗検定を行った結果、G 1 では「知的障害（精神遅滞）の診断を受けている」（残差=2.2）の割合が有意に高く、G 2 + G 3 では「知的障害（精神遅滞）の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）」（残差=3.1）の割合が有意に高いことが明らかになった。

	G 1		G 2 + G 3		合計		P
	n	%	n	%	n	%	
知的障害（精神遅滞）の診断を受けている	127	42.2%	9	18.8%	136	39.0%	***
知的障害（精神遅滞）の特性があると見受けられる（診断は受けていない）	174	57.8%	39	81.3%	213	61.0%	
計	301	100.0%	48	100.0%	349	100.0%	

*** $p < 0.001$, ** $p < 0.01$, * $p < 0.05$

注) ■ は有意に高いことを示す。

③支援対象者の発達障害の特性について

「Q36 支援対象者の発達障害の特性について教えてください。」の項目との関連性についてカイ二乗検定を行った結果、G 1 と G 2 + G 3 の間に有意な差が認められた ($\chi^2=9.463$, $df=1$, $p=0.001$)。また、「発達障害の診断を受けている」と「発達障害の特性があると見受けられる（診断は受けていない）」ごとに G 1 と G 2 + G 3 のカイ二乗検定を行った結果、G 1 では「発達障害の診断を受けている」（残差=3.1）の割合が有意に多く、G 2 + G 3 では「発達障害の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）」（残差=3.1）の割合が有意に多いことが明らかになった。

	G 1		G 2 + G 3		合計		P
	n	%	n	%	n	%	
発達障害の診断を受けている	84	28.0%	5	8.8%	89	24.9%	***
発達障害の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）	216	72.0%	52	91.2%	268	75.1%	
計	300	100.0%	57	100.0%	357	100.0%	

*** $p < 0.001$, ** $p < 0.01$, * $p < 0.05$

注) ■ は有意に高いことを示す。

(イ) 支援対象者の「支援開始時の同居人」と「不安」「支援の必要性」の関係性

①支援対象者の「支援開始時の同居人」と、「不安」の関係性について

「Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。」と「Q30 支援開始時、支援対象者は今回の妊娠において何らかの不安を抱えていましたか。」との関連性についてカイ二乗検定を行った結果、「不安は特に感じていなかった」と「不安を感じていた」の間に有意な差が認められた ($\chi^2=30.204$, $df=5$, $p=0.001$)。

また、6つの分類ごとに「不安は特に感じていなかった」と「不安を感じていた」のカイ二乗検定を行った結果、「不安は特に感じていなかった」では、「⑤配偶者・パートナーとの同居（こどもも含む）」(残差=3.3)と「②こどもと同居」(残差=2.4)の割合が有意に多く、「不安を感じていた」では、「④親族との同居（こどもも含む）」(残差=3.7)と「①単身」(残差=3.0)の割合が有意に高いことが明らかになった。

	不安は特に感じていなかった		不安を感じていた		合計		P
	n	%	n	%	n	%	
① 単身	21	6.20%	111	11.90%	132	10.30%	***
②こどもと同居	33	9.70%	55	5.90%	88	6.90%	
③すでに措置されたこどもがいる(パートナー又は親族との同居も含む)	12	3.50%	25	2.70%	37	2.90%	
④ 親 族 と の 同 居 (こどもも含む)	59	17.30%	257	27.50%	316	24.70%	
⑤ 配偶者・パートナーとの同居 (こどもも含む)	208	61.00%	474	50.60%	682	53.40%	
⑥ その他	8	2.30%	14	1.50%	22	1.70%	
計	341	100.0%	936	100.0%	1308	100.0%	

*** $p < 0.001$, ** $p < 0.01$, * $p < 0.05$

注) ■ は有意に高いことを示す。

②支援対象者の「支援開始時の同居人」と「支援の必要性」の関連性について

「Q19 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。」と「Q31 支援開始時、支援対象者は自身の支援の必要性を感じていましたか。」の関連性を検討するために、全ケースから「支援の必要性を感じていた」と「支援の必要性を感じていなかった」の項目に該当する回答を抽出し、カイ二乗検定を行った結果、有意な差が認められた ($\chi^2=25.789$, $df=5$, $p=0.001$)。なお、Q19の選択肢については、①単身、②こどもと同居、③すでに措置されたこどもがいる(パートナー又は親族との同居も含む)、④親族との同居(こどもも含む)、⑤配偶者・パートナーとの同居(こどもも含む)、⑥その他の6つに分類して分析を行った。

また、6つの分類ごとに「支援の必要性を感じていた」と「支援の必要性を感じていなかった」のカイ二乗検定を行った結果、「支援の必要性を感じていた」では、「①単身」(残差=3.9)の割合が有意に多く、「支援の必要性を感じていなかった」では、「⑤配偶者・パートナーとの同居(こどもも含む)」(残差=3.6)の割合が有意に高いことが明らかになった。

	支援の必要性を感じていた		支援の必要性を感じていなかった		合計		P
	n	%	n	%	n	%	
① 単身	92	13.60%	24	6.00%	116	10.80%	***
② 子どもと同居	35	5.20%	31	7.80%	66	6.20%	
③ すでに措置された子どもがいる(パートナー又は親族との同居も含む)	21	3.10%	11	2.80%	32	3.00%	
④ 親族との同居(子どもも含む)	180	26.60%	86	21.70%	266	24.80%	
⑤ 配偶者・パートナーとの同居(子どもも含む)	329	48.70%	238	59.90%	567	52.80%	
⑥ その他	19	2.80%	7	1.80%	26	2.40%	
	676	100.0%	397	100.0%	1073	100.0%	

*** $p < 0.001$, ** $p < 0.01$, * $p < 0.05$

注) ■ は有意に高いことを示す。

(ウ) 支援対象者の感じる「支援の必要性」について

① 支援対象者の「不安」と「支援の必要性」の関連性について

「Q30 支援開始時、支援対象者は今回の妊娠において何らかの不安を抱えていましたか。」と「Q31 支援開始時、支援対象者は自身の支援の必要性を感じていましたか。」の関連性を検討するために、Q30 で「不安は特に感じていなかった」と「不安を感じていた」に回答したケースを対象に「支援の必要性を感じていた」と「支援の必要性を感じていなかった」のカイ二乗検定を行った結果、有意な差が認められた ($\chi^2=271.993$, $df=1$, $p=0.001$)。

また、「不安は特に感じていなかった」と「不安を感じていた」ごとに「支援の必要性を感じていた」と「支援の必要性を感じていなかった」についてカイ二乗検定を行った。その結果、「支援の必要性を感じていた」と回答した群では「不安を感じていた」(残差=16.5)の割合が有意に高く、「支援の必要性を感じていなかった」と回答した群では「不安を感じていなかった」(残差=16.5)の割合が有意に高いことが明らかになった。

	支援の必要性を感じていた		支援の必要性を感じていなかった		合計		P
	n	%	n	%	n	%	
不安は特に感じていなかった	67	10.6%	215	59.7%	282	28.4%	***
不安を感じていた	565	89.4%	145	40.3%	710	71.6%	
	632	100.0%	360	100.0%	992 ^{注2)}	100.0%	

*** $p < 0.001$, ** $p < 0.01$, * $p < 0.05$

注1) ■は有意に高いことを示す。

注2) 合計 $n=992$ は全 1442 ケースのうち「不安に感じていなかった」と「不安に感じていた」を選択したケースのみを対象とした数である。

②支援対象者の「精神科・心療内科での治療や通院状況」と「支援の必要性」の関連性について

「Q31 支援開始時、支援対象者は自身の支援の必要性を感じていましたか。」と「Q34 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。」の関連性を検討するために、「支援の必要性を感じていた」と「支援の必要性を感じていなかった」のカイ二乗検定を行った結果、有意な差が認められた ($\chi^2=14.215$, $df=1$, $p=0.001$)。

また、「通院・治療が必要だが、未受診である」と「通院・治療中である」ごとに「支援の必要性を感じていた」と「支援の必要性を感じていなかった」についてカイ二乗検定を行った。その結果、「支援の必要性を感じていた」と回答した群では「通院・治療中である」(残差=3.8)の割合が有意に高く、「支援の必要性を感じていなかった」と回答した群では「通院・治療が必要だが、未受診である」(残差=3.8)の割合が有意に高いことが明らかになった。

	支援の必要性を感じていた		支援の必要性を感じていなかった		合計		P
	n	%	n	%	n	%	
通院・治療が必要だが、未受診である	54	21.1%	38	41.8%	92	26.5%	***
通院・治療中である	202	78.9%	53	58.2%	255	73.5%	
	256	100.0%	91	100.0%	347	100.0	

*** $p < 0.001$, ** $p < 0.01$, * $p < 0.05$

注1) ■は有意に高いことを示す。

③支援対象者の「知的障害（精神遅滞）の特性」と「支援の必要性」の関連性について

「Q31 支援開始時、支援対象者は自身の支援の必要性を感じていましたか。」と「Q35 支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について教えてください。」の関連性を検討するために、「支援の必要性を感じていた」と「支援の必要性を感じていなかった」のカイ二乗検定を行った結果、有意な差が認められた ($\chi^2=4.922$, $df=1$, $p=0.05$)。

また、「知的障害（精神遅滞）の診断を受けている」と「知的障害（精神遅滞）の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）」ごとに、「支援の必要性を感じていた」と「支援の必要性を感じていなかった」についてカイ二乗検定を行った結果、「支援の必要性を感じていた」（残差＝2.2）と回答した群では「知的障害（精神遅滞）の診断を受けている」の割合が有意に高く、「支援の必要性を感じていなかった」（残差＝2.2）と回答した群では、「知的障害（精神遅滞）の特性があると見受けられる（診断は受けていない）」の割合が有意に高いことが明らかになった。

	支援の必要性を感じていた		支援の必要性を感じていなかった		合計		<i>P</i>
	n	%	n	%	n	%	
知的障害（精神遅滞）の診断を受けている	80	43.0%	31	29.8%	111	38.3%	*
知的障害（精神遅滞）の特性があると見受けられる（診断は受けていない）	106	57.0%	73	70.2%	179	61.7%	
	186	100.0%	104	100.0%	290	100.0%	

*** $p < 0.001$, ** $p < 0.01$, * $p < 0.05$

注1) ■■■ は有意に高いことを示す。

第3章 考察

本調査研究では、妊娠に葛藤を抱える妊産婦の背景や特性を捉えて、妊産婦それぞれに応じた効果的な支援の方法について示唆を得ることを目的に、以下の4つのサブ目的を設けて調査研究を行った。

サブ目的1	支援につながっていない人の傾向の把握
- 支援につながっていない人は、孤立出産に至るリスクが高いと思われるため、そのような状態に至る背景を明らかにする。 - 支援につながっていない人と支援につながった人との間には、①対象者の背景・属性（年齢や家庭環境等）及び②支援内容に差異があると考えられ、両者間の違いをもたらす理由を明らかにする。	
サブ目的2	支援機関の連携の在り方の把握
- 支援対象者への支援の全体像を把握しながら、より効果的な支援を検討するために、支援機関の間での連携について、どこから連携がきて、またどこに連携をつないでいくのかを見える化する。 - 民間支援機関から行政の支援へつながる場合と、行政の支援へつながらない場合があり、それぞれの場合について、特性を明らかにする。	
サブ目的3	特定妊婦以外の特性・背景の把握
特定妊婦以外で出産する人（行政の支援につながらずに出産する人）もいる。その理由を明らかにする。	
サブ目的4	本調査研究の目的・サブ目的1～3の結果を踏まえた詳細検討
目的・サブ目的1～3の結果をもとに、支援対象者への理解を深めるために、分析の観点として挙げた項目を対象に、項目間での傾向を明らかにする。	

アンケート調査では、1,442の支援対象者の情報を得ることができた。なお、配布数に対する本調査回答機関の割合は、市区町村 31.7%、児童相談所 26.9%、その他民間支援機関等については、女性自立支援施設 4.3%、母子生活支援施設 6.1%、妊産婦等生活援助事業実施事業者 43.5%、養子縁組民間あっせん機関 45.5%、にんしんSOS相談窓口 36.4%であった。また、支援対象者に係る有効回答数の内訳は、市区町村が 84.1%（1,186件）で最も多く、次に児童相談所が 8.9%（125件）であった。その他民間支援機関等においては、女性自立支援施設は3件、母子生活支援施設は18件、妊産婦等生活援助実施事業者は45件、養子縁組民間あっせん機関は33件、にんしんSOS相談窓口は32件であった。

アンケート調査の集計・統計分析では、支援対象者の背景・特性を捉えるために支援機関及び支援対象者を以下の4つのグループに分けて分析を行った。グループ1とグループ4は妊娠期間中に「支援につながった人のグループ」、グループ2と3は、妊娠期間中に「支援につながっていない人のグループ」と整理している。なお、集計・分析は各グループで背景・特徴が異なるため、グループごとに結果を示した。グループ1が1,091件、グループ2が94件、グループ3が124件、グループ4が113件であった。

そのため、本調査研究の分析結果は、支援機関ごとの支援対象者の有効回答数にばらつきがあることを念頭に置く必要がある。

グループ	支援機関・支援対象者
グループ 1 : G 1	市区町村 特定妊婦
グループ 2 : G 2	市区町村 妊娠期間中に把握できなかった産婦のうち、出産したこどもを家庭で養育している人
グループ 3 : G 3	児童相談所 妊娠期間中に把握できなかった産婦のうち、出産したこどもが一時保護、施設入所、里親等委託に至った人
グループ 4 : G 4	その他民間支援機関等 民間支援機関等につながった妊産婦のうち、支援開始当時、民間支援機関等として特定妊婦と把握していなかった人

分析に当たって、まず、支援対象者の背景と属性の傾向を捉えた。階層的クラスタリング分析を用いて、G 1～G 4のグループごとに、支援対象者が似た傾向を持つサブグループに細分化したところ、支援につながっていない人のG 2とG 3の中でも傾向が分かれていることが明らかになり、G 2は大きく3つのサブグループに大別され、G 3は4つのサブグループに大別された。G 2及びG 3のサブグループごとの主要な特徴は、それぞれ以下のとおりである。

G 2のサブグループごとの主要な特徴

サブグループ	主な特徴
1 (n = 34)	未婚の若年層（10代後半～20代前半）の対象者が主であり、学生のケースも多いのが特徴である。生活保護受給は極めて少なく、家族からの支援を受けて生計を立てており、経済状況に関する課題は少ない傾向にある。また、実父母や兄弟姉妹の家族と同居している傾向がある。他のサブグループと比較し、出産に関して「希望していなかった」「意向は決まっていなかった」「わからない」というケースが多く、予期せぬ妊娠の割合が高い。
2 (n = 39)	20代～30代を対象者が主であり、パートナーと共働きで生計を立てている傾向があるが、非正規雇用が多く、生活面でも親等の家族から援助を受けられない傾向にある。パートナーとは同居しているケースが多い。また、予期せぬ妊娠であった割合が高い。発達障害の診断は受けていないものの、発達障害の特性が見られる対象者が多い。また、家族に「何でも打ち明けることができるか」という質問に対していいえと回答する傾向があり、支援形態としては対面型も含め相談支援を利用するケースが多い。
3 (n = 21)	20代前半の既婚者が多い。出産・養育を希望している割合が多く、妊娠が計画的であったケースが多い。また、親の離婚・別居等の逆境体験等を経験している傾向がある。支援形態としては、非対面型の相談支援や訪問型支援を利用するケースが多い。

G 3のサブグループごとの主要な特徴

サブグループ	主な特徴
1 (n = 31)	20 代の対象者が主である。自分自身の収入で生計を立てているケースが最も多いものの、非正規雇用の割合が高く、家族からの援助も少なく、経済状況に課題がある傾向にある。出産の意向は決まっておらず、予期せぬ妊娠であった傾向がある。親の離婚・別居等の逆境体験等も一定数見受けられ、家族や親族に「何でも打ち明けることができるか」という質問に対してはいいえと回答する傾向が見られる。
2 (n = 31)	25 歳～40 歳の既婚者が主である。共働きのケースも見られるものの、無職の割合が高く、同居しているパートナーの収入で生計を立てているケースが多い。生活保護の受給も一定数見られる。出産を希望していた傾向がある。知的障害及び発達障害の特性が見受けられる対象者が比較的多く、精神科・心療内科で治療中のケースも一定数見られる。身体的・心理的虐待、経済困窮などの逆境体験等のある対象者も多い。相談支援を利用することが多い。
3 (n = 28)	20 代前半の未婚の対象者が多い。経済状況や生活保護受給歴等については、「わからない」という回答が多い。実母等の家族との同居が一定数見られる。出産の希望は「わからない」という回答が多く、発達障害の有無についても「わからない」という回答が多い。
4 (n = 34)	10 代後半から 20 代前半の未婚の若年層が主であり、学生が一定数見られる。実父母や兄弟姉妹、祖母等の家族から十分な協力を得ている傾向がある。出産も養育も希望しておらず、予期せぬ妊娠であった傾向がある。

サブ目的 1 では、支援につながっていない人に特徴的な背景や特性を整理するため、支援につながった人（G 1）とつながっていない人（G 2 若しくは G 3）を分ける特徴的な背景や特性について、決定木分析、カイ二乗検定による分析を行った。

その結果、G 1 は出産や養育を希望し、かつ妊娠に不安を感じている妊婦が多い傾向にあることが分かった。早期に支援機関につながり、特定妊婦として妊娠期間中から支援を受けているものと考えられる。

さらに、支援につながっていない人に該当する G 2 と G 3 の 2 グループを比較することで、出産後、市区町村につながり出産したこどもを家庭で養育している人と児童相談所につながりこどもが一時保護、施設入所、里親等委託に至った人との間での、背景や特性の差異について捉えた。

その結果、家族構成や支援の利用状況等において有意差が見られた。G 2 では、生活（家事等）に関する協力者のうち、配偶者・パートナー、実母、友人において G 3 より高い傾向にあった。また、G 3 は家族・親族に対して何でも打ち明けることができない割合が半数以上であり、約 16% に学校や職場等でのいじめ・孤立・孤独などの逆境体験等があったことからするなど、社会的に孤立している側面が見られた。さらに、支援の利用状況においても差が見られ、G 2 では相談支援や訪問型支援の利用率が G 3 より高く、G 3 では半数が妊婦健診未受診であり、医療機関や支援機関との接点が少ないまま出産に至っている状況が見られた。

また、支援につながった人とつながっていない人との間には、①支援対象者の背景・特性（年齢や家庭環境等）②支援内容に差異があると考えられるため、両者間の差異を把握するとともに、その差異をもたらす要因について明らかにした。

カイ二乗検定の結果、G 1 の多くは、出産と養育の意思を持つ一方で、妊娠に対して不安

を抱えている傾向が見られ、G 2と比較して経済状況や家庭環境に課題のある割合が高かった。そのため、支援機関と早期に接触し、継続的な支援を受けることで生活の安定を図る傾向があると考えられる。一方、G 2の産婦は家庭内や友人などから一定のサポートを受けられるものの、妊婦健診の受診率が低く、支援機関につながらないまま出産を迎えるケースが多い傾向にあることが分かった。

サブ目的2では、支援機関者の支援に至るまでの過程と他機関との連携状況について整理した。支援機関の間での連携について、どのような経緯で調査回答機関の支援に至り、またどの支援機関と連携していくのか、支援の現状を見える化した。支援につながらなかった人に属するG 2とG 3の結果に着目すると、G 2は、約半数の支援対象者が病院等の医療機関に直接相談をしており、その大部分は医療機関を通じて、一部は市区町村の所管する保健センターや児童相談所との接点を経て、最終的に市区町村につながっていることが分かった。G 3は、G 2と同様に約半数が医療機関に直接相談をしており、その過半数は医療機関を通じて、一部は市区町村の所管する児童福祉部門や保健センターとの接点を経て、最終的に児童相談所につながっていた。支援機関同士での連携状況については、G 2は、他機関への連携が約70%とG 1と比較し少なかった。他機関へ連携した場合の連携先は、G 3と比較すると多く、特に、児童相談所、市区町村の所管する児童福祉部門や保健センターが主な連携先であり、合わせて全体の連携数の60%以上を占めていた。G 3は、他機関と連携がなされている割合が約60%と他のグループと比較して最も少なく、主な連携先は市区町村の所管する児童福祉部門であり、市区町村の所管する保健センターや医療機関など他の連携先より多くなっていた。

サブ目的3では、特定妊婦以外の特性・背景の把握をするため、民間支援機関につながったものの特定妊婦として行政の支援にはつながらなかった支援対象者の特性を明らかにしつつ、行政の支援につながり特定妊婦として支援を受けた人との差異を検討することを試みた。民間支援機関につながったものの特定妊婦として行政の支援にはつながらなかった事例は8件確認できたものの、分析に当たって十分なサンプル数ではないため、明確な示唆を得ることができなかった。

サブ目的4では、本調査研究の目的である、妊娠に葛藤を抱える妊産婦の背景や特性について、さらに考察を深めるために、上記目的・サブ目的1～3の結果をもとに検討を行った。第1に、G 1とG 2+G 3の比較として、支援対象者の支援開始時の同居人について、①単身、②こどもと同居、③すでに措置されたこどもがいる、④親族との同居（こどもも含む）、⑤配偶者・パートナーとの同居（こどもも含む）、⑥その他に分類しカイ二乗分析を行ったところ、④親族との同居（こどもも含む）では、G 1がG 2+G 3に比べて割合が優位に高く、⑤配偶者・パートナーとの同居（こどもも含む）では、G 2+G 3がG 1に比べて割合が優位に高かった。次に、支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性についてカイ二乗分析を行ったところ、「知的障害（精神遅滞）の診断を受けている」ではG 1がG 2+G 3に比べて割合が有意に高く、「知的障害（精神遅滞）の特性があると見受けられる（診断は受けていない）」ではG 2+G 3がG 1に比べて割合が有意に高かった。さらに、支援対象者の発達障害の特性についてカイ二乗分析を行った結果、「発達障害の診断を受けている」ではG 1がG 2+G 3に比べて割合が有意に高く、「発達障害の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明）」ではG 2+G 3がG 1に比べて割合が有意に高かった。

これらの結果は、親族と同居していても妊娠期間中に支援機関が把握できないまま出産に至る場合があり、その背景には診断を受けていないものの知的障害（精神遅滞）や「発達障害」の特性が見受けられる場合が多いことを示しており、「知的障害（精神遅滞）」や「発達障害」診断を受けていなくても特性は見受けられる場合、家族を含め支援につながれるような支援の在り方を検討していく必要性が示唆された。

第2に、支援対象者の「支援開始時の同居人」と「不安」「支援の必要性」の関係性を考察するため、G1～G4全てを対象に、支援開始時の同居人と支援対象者の抱える不安の有無、支援開始時の同居人と支援対象者の感じる支援の必要性の有無についてそれぞれカイ二乗分析により比較したところ、支援対象者が配偶者・パートナーやこどもも同居している場合は不安も支援の必要性も感じていなかった割合が有意に高く、単身の場合は不安も支援の必要性も感じている割合が有意に高いこと、また親族との同居（こどもも含む）では不安を感じている割合が有意に多いことが分かり、単身や配偶者・パートナーがおらず親族と同居（こどもも含む）している場合の不安を低減することができると支援の在り方を検討する必要性が示唆された。

第3に、支援対象者の「不安」と「支援の必要性」の関係性について示唆を得るため、支援対象者の不安と支援の必要性の有無、支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性と支援の必要性の有無についてそれぞれカイ二乗分析により比較したところ、支援対象者が不安を感じていれば支援の必要性を感じる割合が高く、不安を感じていなければ支援の必要性を感じる割合が低いこと、また、支援対象者が知的障害（精神遅滞）の診断を受けていると支援の必要性を感じる割合が高く、知的障害（精神遅滞）の特性があると見受けられる（診断は受けていない）場合は、支援の必要性を感じてなかった割合が高いことが分かった。

これらの結果から、不安を感じていなかった場合は支援の必要性も感じない割合が高く、知的障害（精神遅滞）の特性があると見受けられる（診断は受けていない）場合は、支援の必要性を感じない傾向にあることが分かり、診断は受けていないものの知的障害（精神遅滞）の特性がある場合には、自ら支援を求めることが難しい可能性が示唆され、支援につながるような支援の在り方を検討する必要性が示唆された。

参考資料

- ・アンケート調査票

【参考資料】
調査票見本

予期せぬ妊娠等による支援が必要な妊産婦の効果的な支援プロセス等に関する調査研究 アンケート調査質問項目一覧

基礎調査は、貴機関の基本情報をお伺いする設問となります。

本調査は、各支援機関において支援した予期せぬ妊娠等により支援が必要な妊産婦等に関してご回答ください。

貴機関で支援した支援対象者（ケース）を最大10ケースまでご回答ください。

ご回答いただく支援対象者（ケース）については下記をご参照ください。

※なお、ご回答を中断している状況で調査期間が終了となった場合、ご回答いただいた設問までを回答完了とさせていただきます。予めご容赦頂きたいとお願いたします。

■本調査でご回答いただきたい支援対象者

2023年9月1日～2024年8月31日までに出産された支援対象者で、以下の支援機関別にご回答いただきたい支援対象者（ケース）に該当する人

<支援機関別にご回答いただきたい支援対象者（ケース）>

市区町村のご担当者（以下2つの対象から最大10ケースご回答ください）

- ・特定妊婦（妊娠中に市区町村でアセスメントを行い、特定妊婦と判断された人）
- ・妊娠期間中に把握できなかった産婦（出産したことを家庭で養育している人）

児童相談所のご担当者（以下の対象について最大10ケースご回答ください。）

- ・妊娠期間中に把握できなかった産婦（予期せぬ妊娠等のうち、支援機関のどこにもつながりまま出産）で、出産したことが一時保護、施設入所、里親等委託になった人

民間支援機関（女性自立支援施設、母子生活支援施設、養子縁組あっせん機関、NPO法人等）のご担当者（以下の対象について最大10ケースご回答ください）

- ・支援開始当時、貴機関が特定妊婦と把握していなかった人

<回答方法>

- SA：単回答
- MA：複数回答
- FA：自由記述
- NUM：数字入力

■基礎調査

回答者:全員

貴機関について教えてください。

SQ1 SA あなたが回答する機関（以下、「貴機関」という）をお選びください。
※同一法人で2つ以上の機関がある場合（例、母子生活支援施設と妊産婦等生活援助事業所等）は、このアンケートを機関ごとに回答してください。

- ☐1 市区町村
☐2 児童相談所
☐3 女性自立支援施設
☐4 母子生活支援施設
☐5 妊産婦等生活援助事業実施事業者
☐6 養子縁組あつせん機関
☐7 その他の民間支援機関・団体（主な支援種別： ）

回答者:市区町村、児童相談所及び妊産婦等生活援助事業所以外の回答者 (SQ1=3,4,6,7)

SQ2 SA 貴機関では、妊産婦等生活援助事業を実施していますか。

- ☐1 実施している
☐2 実施していない

回答者:市区町村、児童相談所以外の回答者 (SQ1=3,4,5,6,7)

SQ3 SA 貴機関の経営主体の形態について該当するものをお選びください。

- ☐1 都道府県・市区町村
☐2 営利法人（株式会社、合同会社等）
☐3 特定非営利活動法人
☐4 社会福祉法人（社会福祉協議会）
☐5 社会福祉法人（社会福祉協議会以外）
☐6 社団法人・財団法人
☐7 その他（ ）

回答者:市区町村以外 (SQ=2,3,4,5,6,7)

SQ4 FA 貴機関の名称を教えてください。

回答者:全員

SQ5 NUM 貴機関の所在地の郵便番号を教えてください。

郵便番号

回答者:全員

SQ6 SA 貴機関の所在地を教えてください。

都道府県

- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1 北海道 | 13 東京都 | 25 滋賀県 | 37 香川県 |
| 2 青森県 | 14 神奈川県 | 26 京都府 | 38 愛媛県 |
| 3 岩手県 | 15 新潟県 | 27 大阪府 | 39 高知県 |
| 4 宮城県 | 16 富山県 | 28 兵庫県 | 40 福岡県 |
| 5 秋田県 | 17 石川県 | 29 奈良県 | 41 佐賀県 |
| 6 山形県 | 18 福井県 | 30 和歌山県 | 42 長崎県 |
| 7 福島県 | 19 山梨県 | 31 鳥取県 | 43 熊本県 |
| 8 茨城県 | 20 長野県 | 32 島根県 | 44 大分県 |
| 9 栃木県 | 21 岐阜県 | 33 岡山県 | 45 宮崎県 |
| 10 群馬県 | 22 静岡県 | 34 広島県 | 46 鹿児島県 |
| 11 埼玉県 | 23 愛知県 | 35 山口県 | 47 沖縄県 |
| 12 千葉県 | 24 三重県 | 36 徳島県 | |

回答者:全員

SQ7 FA 貴機関が所属している市区町村名を教えてください。

回答者:市区町村、児童相談所のみ (SQ1=1,2)

SQ8 NUM 貴機関が所属している自治体の自治体コード（6ケタコード）を教えてください。
自治体コードは「全国地方公共団体コード」（総務省）の団体コードになります。
参考URL: https://www.soumu.go.jp/main_content/000925834.pdf

自治体コード

回答者:市区町村、児童相談所のみ (SQ1=1,2)

SQ9 FA あなたの所属部門名を教えてください。※局・部・課名までご記入ください。

回答者:市区町村のみ回答 (SQ1=1を選択した人)

貴機関が所属している自治体での特定妊婦の状況を教えてください。

SQ10 NUM 貴機関が所属している自治体のR3年度からR6年度までの特定妊婦数を教えてください。
※R3年度からR5年度は、各年度の4月1日～3月31日の期間に要保護児童対策地域協議会（以下、「要対協」という。）に登録された実人数をご回答ください。
※R6年度は、4月1日～10月31日の期間に要保護児童対策地域協議会に登録された実人数をご回答ください。
※不明の場合は、999999と入力してください。

SQ10_1	R3年度		人
SQ10_2	R4年度		人
SQ10_3	R5年度		人
SQ10_4	R6年度		人

回答者:市区町村、児童相談所以外の回答者 (SQ1=3～7を選択した人)

貴機関の支援対象者の状況を教えてください。

SQ11 NUM 貴機関のR4年度からR5年度の過去2年間の支援実績の中から、支援対象者が妊娠期から産後1年までの期間に支援した人について、支援者対象者数の実人数を教えてください。
そのうち、特定妊婦に該当する支援対象者数の実人数をお聞かせください。
※年をまたぐ同一支援者は「1人」として回答ください。
※不明の場合は、999999と入力してください。

SQ11_1	支援対象者数の実人数の合計数		人
SQ11_2	支援対象者のうち、特定妊婦の実人数		人

■本調査

これから先は貴機関において支援した予期せぬ妊娠等により支援が必要な妊産婦等に関してご回答ください。

貴機関で支援したケースを最大10ケースまでご回答ください。

ご回答いただくケースの対象期間、ケースの詳細については下記をご参照ください。

※なお、ご回答を中断している状況で調査期間が終了となった場合、ご回答いただいた設問までを回答完了とさせていただきます。予めご容赦頂きたくお願いいたします。

■調査対象

2023年9月1日～2024年8月31日までに出産された支援対象者で、以下の支援機関別にご回答いただきたい支援対象者（ケース）に該当する人

■ご回答いただきたいケース

市区町村の方（以下2つの対象から最大10ケースご回答ください）

- ・特定妊婦（妊娠中に市区町村でアセスメントを行い、特定妊婦と判断された人）
- ・妊娠期間中に把握できなかった産婦（出産したことを家庭で養育している人）

児童相談所の方（以下の対象について最大10ケースご回答ください。）

・妊娠期間中に把握できなかった産婦（予期せぬ妊娠等のうち、支援機関のどこにもつながらないまま出産）で、出産したことが一時保護、施設入所、里親等委託になった人

民間支援機関（女性自立支援施設、母子生活支援施設、養子縁組あっせん機関、NPO法人等）の方（以下の対象について最大10ケースご回答ください）

・支援開始当時、貴機関が特定妊婦と把握していなかった人

回答者:全員

支援対象となる妊産婦の基礎的な情報についてお伺いします。
【支援開始時】の支援対象者の状況について教えてください。

Q1 SA 以降の設問は、2023年9月1日から2024年8月31日までに出産した妊産婦で、貴機関で支援した対象者（以下、「支援対象者」という）1名について回答してください。
【支援開始時】支援対象者の状態に該当するものを1つお選びください。

- ☐ 01 市区町村 特定妊婦
- ☐ 02 市区町村 妊娠期間中に把握できなかった産婦（予期せぬ妊娠等のうち、支援機関のどこにもつながらないまま出産）で、出産したことを支援対象者もしくは家族が養育している人
- ☐ 03 【児童相談所】妊娠期間中に把握できなかった産婦（予期せぬ妊娠等のうち、支援機関のどこにもつながらないまま出産）で、出産したことが一時保護、施設入所、里親等委託になった人
- ☐ 04 【民間支援機関】支援開始当時、貴機関が特定妊婦と把握していなかった人
- ☐ 05 わからない
- ☐ 06 当該期間中に支援対象者となる妊産婦の対応はなかった

*選択肢6を選んだ場合は、こちらで回答終了となります

回答者:市区町村のみ(基礎調査SQ1=1と回答した人のみ)

Q2_1 MA 特定妊婦と判断した理由について、あてはまるものをすべてお選びください。

- ☐ 01 18歳未満の若年妊娠である
- ☐ 02 障がいがあるまたは障がい疑われる
- ☐ 03 妊娠届出週数が22週以降である
- ☐ 04 妊婦健診未受診である
- ☐ 05 妊娠の受け止めが否定的である（出産または養育に対し否定的な感情を持っている）
- ☐ 06 性的虐待または性被害による妊娠である
- ☐ 07 配偶者・パートナーとの関係性に課題がある
- ☐ 08 配偶者・パートナー以外の生物学的父親との関係性に課題がある
- ☐ 09 家庭環境に課題がある
- ☐ 10 経済状況に課題がある
- ☐ 11 居所及び住所が不定である
- ☐ 12 その他（自由記述： ）

回答者:市区町村のみ(基礎調査SQ1=1と回答した人のみ)

Q2_2 MA 特定妊婦への支援が必要と判断した理由についてあてはまるものをすべてお選びください。

- ☐ 01 18歳未満の若年妊娠である
- ☐ 02 障がいがあるまたは障がい疑われる
- ☐ 03 妊娠届出週数が22週以降である
- ☐ 04 妊婦健診未受診である
- ☐ 05 妊娠の受け止めが否定的である（出産または養育に対し否定的な感情を持っている）
- ☐ 06 性的虐待または性被害による妊娠である
- ☐ 07 配偶者・パートナーとの関係性に課題がある
- ☐ 08 配偶者・パートナー以外の生物学的父親との関係性に課題がある
- ☐ 09 家庭環境に課題がある
- ☐ 10 経済状況に課題がある
- ☐ 11 居所及び住所が不定である
- ☐ 12 その他（自由記述： ）

回答者:全員

Q3 SA 【支援開始時】支援対象者の年齢を教えてください。

- ☐ 01 ()歳
- ☐ 02 詳細不明(代)
- ☐ 03 わからない

回答者:全員

Q4 SA 【支援開始時】支援対象者の妊娠状況を教えてください。
※病院の診断がない場合、本人申告でも問題ありません。

- ☐ 01 妊娠中()週目
- ☐ 02 妊娠中(詳細不明)
- ☐ 03 出産後
- ☐ 04 わからない

回答者:全員

Q5 SA 【支援開始時】支援対象者の妊娠中または出産したことは何人目のお子さんですか。

- ☐ 01 ()人目
- ☐ 02 わからない

回答者:全員

Q6 SA 【支援開始時】支援対象者の職業を教えてください。わかる場合は括弧()内に業種も記載してください。
※業種の記載例:小売業、サービス業など

- ☐ 01 正規(業種:)
- ☐ 02 非正規(業種:)
- ☐ 03 無職(学生ではない)
- ☐ 04 学生
- ☐ 05 その他(自由記述:)

回答者:Q6=4を選択した人のみ表示

Q7_1 SA 【支援開始時】支援対象者が学生を選択した方にお聞きます。支援開始時の所属としてあてはまるものをお選びください。

- ☐1 小学校
- ☐2 小学校(特別支援学級所属)
- ☐3 特別支援学校の小学部
- ☐4 中学校
- ☐5 中学校(特別支援学級所属)
- ☐6 特別支援学校の中等部
- ☐7 高等学校
- ☐8 特別支援学校の高等部
- ☐9 専門学校
- ☐10 高等専修学校
- ☐11 高等専門学校
- ☐12 短期大学
- ☐13 大学
- ☐14 大学院
- ☐15 わからない
- ☐16 その他(自由記述:)

回答者:Q6=4を選択した人のみ表示

Q7_2 SA 【支援開始時】支援対象者の支援開始時の登校状況としてあてはまるものをお選びください。

- ☐1 登校中
- ☐2 不登校、不登校気味
- ☐3 わからない

回答者:全員

Q8_1 SA 【支援開始時】支援対象者の最終学歴(現在通学中・休学中、中退を含む)としてあてはまるものをお選びください。

- ☐1 小学校
- ☐2 小学校(特別支援学級所属)
- ☐3 特別支援学校の小学部
- ☐4 中学校
- ☐5 中学校(特別支援学級所属)
- ☐6 特別支援学校の中等部
- ☐7 高等学校
- ☐8 特別支援学校の高等部
- ☐9 専門学校
- ☐10 高等専修学校
- ☐11 高等専門学校
- ☐12 短期大学
- ☐13 大学
- ☐14 大学院
- ☐15 わからない
- ☐16 その他(自由記述:)

回答者:Q8_1=7~14,16を選択した人のみ表示(高等学校以上の学校)

Q8_2 SA 【支援開始時】支援対象者の最終学歴の教育課程をお選びください。

- ☐1 全日制課程
- ☐2 定時制課程
- ☐3 通信制課程
- ☐4 わからない

回答者:全員

Q8_3 SA 【支援開始時】支援対象者の最終学歴としてあてはまるものをお選びください。

- ☐1 卒業
- ☐2 中退
- ☐3 休学中
- ☐4 通学中
- ☐5 わからない

回答者:全員

Q9 SA 【支援開始時】支援対象者の婚姻関係について教えてください。
※事実婚…婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にあること。

- ☐1 既婚(初婚)
- ☐2 既婚(再婚)
- ☐3 既婚(詳細不明)
- ☐4 事実婚
- ☐5 未婚
- ☐6 死別・離婚
- ☐7 その他(自由記述:)

回答者:全員

Q10 SA 【支援開始時】支援対象者の生活保護受給歴について教えてください。

- ☐1 受給中
- ☐2 過去に生活保護を受けていた
- ☐3 受給歴なし
- ☐4 わからない
- ☐5 その他(自由記述:)

回答者:全員

Q11 SA 【支援開始時】支援対象者の生計の収入源について該当するものをお選びください。

- ☐1 自分自身の収入で生計を立てている
- ☐2 パートナーの収入で生計を立てている
- ☐3 自分自身とパートナーの収入で生計を立てている(共働き等)
- ☐4 親等からの支援を受けて生計を立てている
- ☐5 わからない
- ☐6 その他(自由記述:)

回答者:全員

Q12 SA 【支援開始時】支援対象者の経済状況について該当するものをお選びください。

- ☐1 経済状況に課題がある(借金がある)
- ☐2 経済状況に課題がある(借金はない)
- ☐3 借金があるが、経済状況に課題はない
- ☐4 経済状況に課題はない
- ☐5 わからない
- ☐6 その他(自由記述:)

回答者:生活保護受給者以外(Q10=2-5を選択した人)のみ表示

Q13 SA 【支援開始時】支援対象者の医療保険証の所持状況について該当するものをお選びください。

- ☐1 医療保険証をもっていた
☐2 医療保険証をもっていなかった
☐3 わからない

回答者:全員

Q14 SA 【支援開始時】支援対象者の住まいについて教えてください。

- ☐1 定まった住居がある
☐2 住居が定まっていない
☐3 わからない
☐4 その他(自由記述:)

回答者:定まった住居がある人のみ回答(Q14=1)

Q15 SA 【支援開始時】前問で「定まった住居がある」を選択した方にお聞きます。支援対象者が住んでいた場所について教えてください。

- ☐1 自宅
☐2 学生寮・社員寮等
☐3 パートナーの家
☐4 親族、友人等の家
☐5 母子生活支援施設、シェルター等
☐6 その他(自由記述:)

回答者:定まった住居がない人のみ回答(Q14=2)

Q16 SA 【支援開始時】前問で「住居が定まっていない」を選択した方にお聞きます。支援対象者はどのように生活していましたか。

- ☐1 自宅、寮等住居があるが、頻繁に転居を繰り返している
☐2 特定の住居(自宅・寮等)があるが、パートナー・友人の家等を転々としている
☐3 特定の住居(自宅・寮等)がなく、パートナー・友人の家等を転々としている
☐4 複数のパートナー宅を転々としている
☐5 ホテル・ネットカフェ等へ宿泊している
☐6 その他(自由記述:)

回答者:全員

Q17 SA 【支援開始時】支援対象者の住民票について教えてください。

- ☐1 支援対象者の居所の自治体に住民票がある
☐2 支援対象者の居所の自治体に住民票がない
☐3 わからない
☐4 その他(自由記述:)

回答者:全員

Q18 MA 【支援開始時】支援対象者の家族構成を教えてください。
※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例:パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等

- ☐1 配偶者・パートナー
☐2 こども
☐3 実父
☐4 実母
☐5 兄弟姉妹
☐6 養父
☐7 養母
☐8 継父
☐9 継母
☐10 義父
☐11 義母
☐12 祖父
☐13 祖母
☐14 わからない
☐15 その他(自由記述:)

回答者:全員

Q19 MA 【支援開始時】支援対象者の同居人を教えてください。
※特別な背景がある場合はその他に記載してください。例:パートナーの連れ子がいる等、施設に入所している等

- ☐1 配偶者・パートナー
☐2 こども
☐3 実父
☐4 実母
☐5 兄弟姉妹
☐6 養父
☐7 養母
☐8 継父
☐9 継母
☐10 義父
☐11 義母
☐12 祖父
☐13 祖母
☐14 友人
☐15 わからない
☐16 その他(自由記述:)

回答者:全員

Q20 SA 【支援開始時】支援対象者は性被害を受けたことがありますか。
※親からの性的虐待はここでは除いてお答えください。

- ☐1 はい
☐2 いいえ
☐3 わからない

回答者:全員

Q21_I SA 【支援開始時】支援対象者の国籍を教えてください。

- ☐1 日本
☐2 日本以外(国名:)
☐3 わからない

回答者:外国籍の場合のみ回答(Q21_1=2)

Q2 I_2 SA 【支援開始時】支援対象者が日本以外の国籍を選択した方にお聞きします。支援対象者の在留資格を教えてください。

- 1 永住者
○2 技能実習
○3 技術・人文知識・国際業務
○4 留学
○5 特別永住者
○6 家族滞在
○7 わからない
○8 その他(自由記述:)

回答者:外国籍の場合のみ回答(Q21_1=2)

Q2I_3 SA 【支援開始時】支援対象者の日本語の会話能力について教えてください。

- 1 日本人とほぼ同様に会話と読み書きができる
○2 読み書きはできないが、会話は十分理解できる
○3 少し日本語がわかる(挨拶や簡単な受け答えはできる)
○4 全然日本語がわからない
○5 その他(自由記述:)

回答者:全員

支援対象者自身の特徴や成育歴、支援開始時の状況についてお伺いします。

Q22 SA 支援対象者の今回の妊娠における胎児等の生物学的父親となる相手について教えてください。

- 1 支援対象者が胎児の生物学的父親となる相手が誰か理解している
○2 支援対象者が胎児の生物学的父親となる相手が特定できていない(複数候補いる)
○3 わからない
○4 その他(自由記述:)

回答者:全員

Q23 SA 支援対象者と胎児等の生物学的父親となる相手との出会いの状況について教えてください。

- 1 字校(同級生 等)
○2 職場(同僚 等)
○3 上記以外の知人・友人
○4 路上や飲食店等(ナンパ)
○5 SNSやインターネット
○6 接待飲食店(キャバクラ等)・風俗店
○7 家庭内における性被害
○8 売春
○9 わからない
○10 その他(自由記述:)

回答者: 全員

Q24 SA 支援対象者と胎児の生物学的父親となる相手との関係について教えてください。

- 1 支配的関係性(支援対象者がパートナーのコントロール下にある状況 例:DV 等)にある
○2 支配的関係性はない
○3 わからない
○4 その他(自由記述:)

回答者:全員

Q25 SA 支援開始時、支援対象者は、出産を希望していましたか。

- 1 出産を希望していた
○2 出産を希望していなかった
○3 出産の意向は決まっていなかった
○4 わからない

回答者: 全員

Q26 SA 支援開始時、支援対象者は、養育を希望していましたか。

- 1 養育を希望していた
○2 養育を希望していなかった
○3 養育の意向は決まっていなかった
○4 わからない

回答者: 全員

Q27 SA 支援対象者にとって、今回の妊娠は予期していない/計画していない妊娠でしたか。

- 1 予期していない/計画していない妊娠であった
○2 予期していた/計画していた妊娠であった
○3 わからない

回答者: 予期していない/計画していない妊娠の人 (Q27=1 or 3)

Q28 SA 支援対象者に「妊娠に至るプロセスに関する知識や避妊の知識」があれば、あなたの所属する機関で支援が必要な状態になることを防げたと思いますか。

- 1 そう思う
○2 そう思わない
○3 わからない

回答者: 予期していない/計画していない妊娠の人 (Q27=1 or 3)

Q29 SA 支援対象者が人権に関する意識(性行為や妊娠、出産に関連する同意の尊重、選択の自由)を認識する機会があれば、貴機関で支援が必要な状態になることを防げたと思いますか。

- 1 そう思う
○2 そう思わない
○3 わからない

回答者: 全員

Q30 SA 支援開始時、支援対象者は今回の妊娠において何らかの不安を抱えていましたか。

- 1 不安を感じていた
○2 不安は特に感じていなかった
○3 わからない

回答者: 全員

Q3 | SA 支援開始時、支援対象者は自身の支援の必要性を感じていましたか。

- 1 支援の必要性を感じていた
○2 支援の必要性を感じていなかった
○3 どちらともいえない

回答者: 全員	
Q32	SA 支援開始時、支援対象者は自立（経済的・生活的）に向けた取り組みをする意欲はありましたか。
	☐ 1 自立（経済的・生活的）の意欲が高い ☐ 2 自立（経済的・生活的）の意欲が低い ☐ 3 どちらともいえない ☐ 4 その他（自由記述： ）
回答者: 全員	
Q33	SA 支援対象者に経済面での計画性がみられましたか。
	☐ 1 計画性がみられる ☐ 2 計画性が欠如している ☐ 3 わからない
回答者: 全員	
Q34	SA 貴機関で支援期間中の支援対象者の精神科・心療内科での治療や通院状況について教えてください。
	☐ 1 通院・治療中である ☐ 2 通院・治療が必要だが、未受診である ☐ 3 通院・治療の必要性について判断がつかない ☐ 4 通院・治療の必要はない ☐ 5 わからない ☐ 6 その他（自由記述： ）
回答者: 全員	
Q35	SA 支援対象者の知的障害（精神遅滞）の特性について教えてください。
	☐ 1 知的障害（精神遅滞）の診断を受けている ☐ 2 知的障害（精神遅滞）の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明） ☐ 3 知的障害（精神遅滞）の特性は見受けられない ☐ 4 わからない
回答者: 全員	
Q36	SA 支援対象者の発達障害の特性について教えてください。
	☐ 1 発達障害の診断を受けている ☐ 2 発達障害の特性があると見受けられる（診断は受けていない・不明） ☐ 3 発達障害の特性は見受けられない ☐ 4 わからない
回答者: 全員	
Q37	MA 支援対象者の日常生活の状況について教えてください。傾向がみられたものをすべてお選びください。
	☐ 1 時間を守れない、約束を忘れがちである ☐ 2 落ち着きがない ☐ 3 申請書の記入時、誤字・脱字・文字の大きさが著しくちがうことや、未記入などがある ☐ 4 同時に複数の情報を処理することが困難である ☐ 5 相手の話の内容がつかめず、うまく伝えることができない ☐ 6 複雑な言葉を使ったり、理解することができない ☐ 7 コミュニケーションをとることがむずかしい（一方的に話をしたり、言われた言葉を繰り返すなど） ☐ 8 事実と異なる言動（虚偽、ごまかし等）がしばしばある ☐ 9 他の人との関わりをもつことが苦手である（人を避けるなど） ☐ 10 時間や場所などにこだわりを持ち、変更を嫌う ☐ 11 片づけるのが苦手である ☐ 12 入浴や着替えなど清潔を保つことが苦手である ☐ 13 不安が強く、日常生活に支障をきたす ☐ 14 意欲が低下し、こどもの面倒をみることができない ☐ 15 わからない ☐ 16 その他の傾向（自由記述： ） ☐ 17 あてはまるものはない
回答者: 全員	
Q38	MA 依存症の傾向がみられたものをすべてお選びください。
	☐ 1 違法薬物依存（大麻・覚せい剤等） ☐ 2 合法薬物依存（アルコール・処方薬・ニコチン等） ☐ 3 行為依存（ギャンブル、セックス等） ☐ 4 人間関係依存（恋愛依存、共依存、不特定多数の相手等） ☐ 5 わからない ☐ 6 その他（自由記述： ） ☐ 7 依存症の傾向は見受けられない
回答者: 全員	
Q39	MA 支援対象者の幼少期における養育環境において、逆境体験等と思われるものはありましたか。該当するものをすべてお選びください。
	☐ 1 身体的虐待 ☐ 2 心理的虐待 ☐ 3 性的虐待 ☐ 4 ネグレクト ☐ 5 親の離婚・別居 ☐ 6 親との死別 ☐ 7 両親の間にDVがあった ☐ 8 家族のアルコール・薬物乱用 ☐ 9 家族の精神疾患・自殺（未遂を含む） ☐ 10 家族の服役 ☐ 11 親からの過干渉 ☐ 12 学校や職場等でのいじめ・孤立・孤独 ☐ 13 震災経験 ☐ 14 経済困窮 ☐ 15 わからない ☐ 16 その他（自由記述： ） ☐ 17 幼少期における逆境体験はない

回答者:全員

Q40

MA

支援対象者の主な養育環境について教えてください。

☐1
 実親

☐2
 里親

☐3
 養子縁組

☐4
 親族宅

☐5
 知人友人宅

☐6
 ファミリーホーム

☐7
 乳児院

☐8
 児童養護施設

☐9
 児童心理治療施設

☐10
 児童自立支援施設

☐11
 母子生活支援施設

☐12
 自立援助ホーム

☐13
 わからない

☐14
 その他(自由記述:)

回答者:全員

支援開始時点の支援対象者に関する周囲とのつながりの状況についてお伺いします。

Q41

SA

支援対象者の生活(家事・育児・その他生活に関する相談)に関する協力者はいますか。

☐1
 協力者があり、十分な協力が得られる

☐2
 協力者はいるが、十分な協力は得られない

☐3
 協力者はいない

☐4
 わからない

回答者:協力者がいる人のみ(Q41=1)

Q42

MA

支援対象者の生活(家事等)に関する協力者について、該当するものをすべてお選びください。

※金銭的な支援のみの協力者は含めずにお答えください。

☐1
 配偶者・パートナー

☐2
 こども

☐3
 実父

☐4
 実母

☐5
 兄弟姉妹

☐6
 養父

☐7
 養母

☐8
 継父

☐9
 継母

☐10
 義父

☐11
 義母

☐12
 祖父

☐13
 祖母

☐14
 里親

☐15
 友人

☐16
 児童福祉施設の職員等

☐17
 近隣住民

☐18
 わからない

☐19
 その他(自由記述:)

回答者:全員

Q43

SA

支援対象者の周囲で、支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる人はいますか。

「いいえ」の場合、支援者からみて相談できる人がいるにもかかわらず、支援対象者が援助希求行動をできていないことが要因であると思いますか。

☐1
 はい

☐2
 いいえ(支援対象者が援助希求行動ができていない)

☐3
 いいえ(そもそも周囲に援助希求の対象となる人がいない)

☐4
 わからない

回答者:妊娠以外の相談をできる人がいる人のみ(Q43=1)

Q44

MA

支援対象者が妊娠以外の悩みを相談できる相手についてすべて選択ください。

※貴機関で、支援対象者が支援につながったタイミングでの相談できる方をお選びください。

☐1
 配偶者・パートナー

☐2
 こども

☐3
 実父

☐4
 実母

☐5
 兄弟姉妹

☐6
 養父

☐7
 養母

☐8
 継父

☐9
 継母

☐10
 義父

☐11
 義母

☐12
 祖父

☐13
 祖母

☐14
 里親

☐15
 友人

☐16
 児童福祉施設の職員等

☐17
 近隣住民

☐18
 支援対象者の職場関係者

☐19
 役所などの行政の支援者

☐20
 助産師・小児科医・産婦人科などの医療関係者

☐21
 民間サービスの支援者

☐22
 わからない

☐23
 その他(自由記述:)

回答者:全員

Q45

SA

支援対象者は配偶者またはパートナーに何でも打ち明けることができますか。

☐1
 はい

☐2
 いいえ

☐3
 相談できる配偶者・パートナーはいない

☐4
 わからない

回答者:全員

Q46

SA

支援対象者は家族・親族(実母・実父・祖父母等)に何でも打ち明けることができますか。

☐1
 はい

☐2
 いいえ

☐3
 相談できる家族・親族(実母・実父・祖父母等)はいない

☐4
 わからない

120

回答者:全員	
支援対象者が利用している/利用していた支援についてお伺いします。	
Q47	SA
支援対象者が支援を受けるにあたって、〔最初に〕接点をもった機関を1つお選びください。 ※貴機関につながったきっかけは以降の設定でお伺いします。	
☐1 貴機関へ直接の相談 ☐2 予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど） ☐3 妊産婦等生活援助事業（「予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）」の場合を除く） ☐4 性と健康の相談センター ☐5 市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む） ☐6 市区町村の所管する児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会調整機関、こども家庭センター子ども家庭総合支援拠点を含む） ☐7 児童相談所 ☐8 行政機関（自由記述： ） ☐9 医療機関への相談 ☐10 民間支援機関への相談（施設名： ） ☐11 わからない・不明 ☐12 その他（自由記述： ）	
回答者:全員	
Q48_1	MA
支援対象者が最初に〔貴機関・行政・支援団体など〕に相談等つながりを持つに至ったきっかけをすべてお選びください。 ※病院や行政が所定のやり取りの中でアセスメントを行いリスクを察知した場合や、虐待の通告により把握した場合は「母子健康手帳交付や妊婦健診等の所定の流れの中で病院、行政などが把握（本人から積極的な相談があったわけではない）」を選択ください。 その他支援対象者からの別途の相談等がきっかけとなった場合は該当する選択肢をお選びください。	
☐1 妊娠したことが不安になり相談 ☐2 出産に関する不安があり相談 ☐3 経済的困窮に陥ったことにより相談 ☐4 住居に困ってしまって相談 ☐5 パートナー（子の父）との離別、連絡がつかないなどの背景があり相談 ☐6 出産直前等にやむを得ずつながった（飛び込み出産含む） ☐7 子育てに不安を感じ相談 ☐8 虐待への不安を感じ相談（虐待をしてしまう可能性を感じ相談） ☐9 周囲の人に勧められて相談（本人は特に不安を感じることもなく、相談したいと思っていた） ☐10 母子健康手帳交付や妊婦健診等の所定の流れの中で病院、行政などが把握（本人から積極的な相談があったわけではない） ☐11 その他（自由記述： ）	
回答者:全員	
Q48_2	SA
支援対象者が〔貴機関・行政・支援団体など〕に相談等つながりを持った時期について教えてください。	
☐1 妊娠初期（13週6日まで） ☐2 妊娠中期（14週0日～27週6日まで） ☐3 妊娠後期（28週以降） ☐4 出産後 ☐5 わからない	
回答者:全員	
Q49_1	SA
支援対象者が〔貴機関に〕つながったルートについてお選びください。	
☐1 本人から貴機関への電話相談 ☐2 本人から貴機関へのメール相談 ☐3 本人から貴機関へのSNS相談（LINE等） ☐4 今回の妊娠における胎児等の生物学的父親から貴機関への相談 ☐5 家族・友人から貴機関への相談 ☐6 里親から貴機関への相談 ☐7 児童福祉施設の職員等から貴機関への相談 ☐8 予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）からの紹介 ☐9 妊産婦等生活援助事業（予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）を除く）からの紹介 ☐10 性と健康の相談センターからの紹介 ☐11 市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む） ☐12 市区町村の所管する児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会調整機関、こども家庭センター子ども家庭総合支援拠点を含む） ☐13 児童相談所からの紹介 ☐14 行政機関（自由記述： ） ☐15 医療機関からの紹介 ☐16 民間支援機関からの紹介（施設名： ） ☐17 わからない ☐18 その他（自由記述： ）	
回答者:Q49_1で5～13,15を選択した人のみ表示	
Q49_2	FA
貴機関を紹介された関連機関の正式名称を教えてください。	
回答者:全員	
Q49_3	MA
貴機関での支援開始後、支援対象者に対して出産時までの継続的な支援の実現のために、〔貴機関から〕連携を依頼した支援機関があれば、該当するものをすべてお選びください。	
☐1 予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）への紹介 ☐2 妊産婦等生活援助事業（「予期せぬ妊娠に関する相談窓口（にんしんSOSなど）」への紹介」の場合を除く）への紹介 ☐3 性と健康の相談センターへの紹介 ☐4 市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む） ☐5 市区町村の所管する児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会調整機関、こども家庭センター子ども家庭総合支援拠点を含む） ☐6 児童相談所 ☐7 行政機関（自由記述： ） ☐8 医療機関への紹介 ☐9 民間支援機関への紹介（施設名称： ） ☐10 その他（自由記述： ） ☐11 他機関との連携はしていない	
回答者:全員	
Q50_1	MA
支援対象者が利用している（利用した）支援をすべてお選びください。 ※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。	
☐1 相談支援（電話・メール等非対面型相談） ☐2 相談支援（支援員・施設などでの対面型相談） ☐3 通所型支援 ☐4 入所型支援 ☐5 訪問型支援 ☐6 その他（自由記述： ）	

回答者:全員
Q50_2 MA 前問で回答した支援について、支援対象者が利用している（利用した）支援の利用時期をすべてお選びください。
※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。

- ☐1 妊娠判明前（妊娠への不安等）
- ☐2 妊娠判明時（妊娠検査薬等で自身で気づいた時）
- ☐3 妊娠判明時（医療機関受診時）
- ☐4 妊娠初期（13週6日まで）
- ☐5 妊娠中期（14週0日～27週6日まで）
- ☐6 妊娠後期（28週以降）
- ☐7 産後直後～3か月未満
- ☐8 産後3か月～半年未満
- ☐9 産後半年以上～1年未満
- ☐10 産後1年以上
- ☐11 時期についてはわからない・不明
- ☐12 その他（自由記述： ）

回答者:全員
Q51 SAMT 支援対象者が利用している（利用した）それぞれの支援について、利用頻度をご記入ください。
※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。

		ほとんど毎日	週に3回以上	週に3回未満、週に1回以上	週に1回未満、月に1回以上	月に1回未満
		1	2	3	4	5
Q51_1	相談支援（電話・メール等非対面型支援）	→	○	○	○	○
Q51_2	相談支援（支援員・施設などでの対面型支援）	→	○	○	○	○
Q51_3	通所型支援	→	○	○	○	○
Q51_4	入所型支援	→	○	○	○	○
Q51_5	訪問型支援	→	○	○	○	○
Q51_6	その他	→	○	○	○	○

回答者:全員
Q52 MAMT 支援対象者が利用している（利用した）支援について、利用した機関をすべてお選びください。
※貴機関で受けた支援や、貴機関で把握している範囲でお答えください。

	Q52_1	Q52_2	Q52_3	Q52_4	Q52_5	Q52_6	Q52_7	Q52_8	Q52_9	Q52_10	Q52_11	Q52_12
	貴機関	予期せぬ妊娠に関する相談窓口（1にんしんSOSなど）	妊産婦等生活援助事業（「予期せぬ妊娠に関する相談窓口（1にんしんSOSなど）」の場合を除く）	性と健康の相談センター	市区町村の所管する保健センター（子育て世代包括支援センターや母子手帳の所管部署を含む）	市区町村の所管する児童福祉部門（要保護児童対策地域協議会調整機関、こども家庭センター子ども家庭総合支援拠点を含む）	児童相談所（※指置を含む）	行政機関（その他）	医療機関	民間支援施設	ボランティア活動（地域の活動等）	その他
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
1	相談支援（電話・メール等非対面型相談）	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2	相談支援（支援員・施設などでの対面型相談）	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3	通所型支援	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4	入所型支援	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
5	訪問型支援	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
6	その他	FA	FA	FA	FA	FA	FA	FA	FA	FA	FA	FA

回答者:全員
Q53 MA 支援対象者について、支援が困難になるような状況があったか、あてはまるものをすべて教えてください。

- ☐1 支援機関につながった時期が遅かった
- ☐2 妊婦健診がほぼ未受診だった
- ☐3 連絡がつかないことがあった
- ☐4 居場所が分からなくなることがあった
- ☐5 飛び込み出産だった
- ☐6 孤立出産（予期せぬ妊娠等のうち、医療による援助がない出産）だった
- ☐7 その他（自由記述： ）
- ☐8 支援が困難になる状況はなかった

回答者:全員
Q54 SA 支援対象者の出産場所を教えてください。

- ☐01 病院
- ☐02 診療所
- ☐03 助産所・助産院
- ☐04 自宅（助産師等による分娩）
- ☐05 自宅（墜落分娩等）
- ☐06 わからない
- ☐07 その他（自由記述： ）

回答者:全員
Q55 SA 支援対象者の出産3か月後のお子さんについて、養育場所を教えてください。

- ☐01 実親が家庭で養育している
- ☐02 里親等が家庭で養育している
- ☐03 乳児院に入所している
- ☐04 児童養護施設等に入所している
- ☐05 一時保護中である
- ☐06 検討中である
- ☐06 わからない
- ☐07 その他（自由記述： ）

以上でアンケートは終了です。回答にご協力いただき誠にありがとうございます。

免責事項

デロイト トーマツ グループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッド及びデロイトネットワークのメンバーであるデロイト トーマツ合同会社並びにそのグループ法人（有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイト トーマツ税理士法人、DT 弁護士法人及びデロイト トーマツ コーポレート ソリューション合同会社を含む）の総称です。デロイト トーマツ グループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスクアドバイザー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、税務、法務等を提供しています。また、国内約 30 都市以上に 1 万 5 千名を超える専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト（www.deloitte.com/jp）をご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、デロイト トウシュ トーマツ リミテッド（“DTTL”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファーム及びそれらの関係法人（総称して“デロイトネットワーク”）のひとつまたは複数を指します。DTTL（または“Deloitte Global”）並びに各メンバーファーム及び関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。DTTL 及び DTTL の各メンバーファーム並びに関係法人は、自らの作為及び不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為及び不作為について責任を負うものではありません。DTTL はクライアントへのサービス提供を行いません。詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドは DTTL のメンバーファームであり、保証有限責任会社です。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバー及びそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィックにおける 100 を超える都市（オークランド、バンコク、北京、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー、リスクアドバイザー、税務、法務等に関連する最先端のサービスを、Fortune Global 500®の約 9 割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促し、より豊かな経済、公正な社会、持続可能な世界の実現に向けて自ら率先して取り組むことを通じて、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来 175 年余りの歴史を有し、150 を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters”をパーパス（存在理由）として標榜するデロイトの約 345,000 名のプロフェッショナルの活動の詳細については、（www.deloitte.com）をご覧ください。

